

貫き走り、又北方に高原二三あり、然れども其高度甚しからず、澤地は非常に多く、國內到る處として之を見ざるはなし。

(海岸線) 北方海岸は北氷洋に沿うて、白海を周り、バランガー(Varanger)の入江に走る。概して甚だ低く、且濕潤なり。バルチックの海岸亦頗る低く、黒海の沿岸も同じく然りとす。唯高加索山脈のクリミア(Crimea)南部を走る處頗る峻險にして、又絶景なりとす。

(山嶽及び高原) 南方に高加索山脈あり、其最高の點をエルブルツ(一萬八千五百七十呎)と爲す。歐洲第一の高山なり。東方に在りては、ウラル大山脈あり、バルダイ(Valdai)高原は、北氷洋及び裏海間に於て、分水界の最高部なり。

(平原) 魯西亞は、實に一大平原と見るを得べし、但し少しく之を區別せんに、最北に於て「タンドラ」あり、次に北方魯西亞低原あり、次に北方魯西亞高原あり、更に「ステップ」を稱する砂原あり、遙か南方に於て裏海の低窪あり。

(河川) 魯西亞に於ては、河川頗る多く、特に其長さこと、及び其屈曲大なることを以て有名なり。河川及び運河に由りて、裏海アゾフ海或は黒海等より、白海或はバル

チック海に至ることを得べし、今其河名を擧ぐれば、北氷洋に注ぐものをペツチョラ(Petchora)メーザン(Mezen)ドゥーナ(Duina)及びオネガ(Onega)と爲し、バルチック海に注ぐものをネヴァ(Neva)ドゥナ(Duna)ニーメン(Niemen)及びビュスチョラ(Vistula)と爲し、黒海に注ぐものをニースター(Dniester)ニーパー(Dniaper)及びドン(Don)裏海に注ぐものをボルガ(Volga)及びウラルの諸川とす。此中ボルガニーパー及びドンの三河は、最も重要なものなり、東南に於ける諸川は、皆海に達するまでに、陸地の吸収する處となる。

(魯國河川の性質) 魯西亞に於る交通は、主として此等の河川に由るものにして、一國の狀態産業を發達せしめたるもの、實に河川の方なり、然れども地圖上のみにては未だ其全豹を窺ふを得ず、蓋し此等の諸川は皆利不利を有するなり。

利益

- 一、諸川皆長流なり。
- 二、迂回風曲し、其最も大なるものは、運河に由りて、海洋或は其他の諸川と相連絡す。

不利益

- 一、諸川皆水量多からず。
- 二、冬時氷結し、夏時乾涸す、或るものは急流の爲に舟航に不便なり。

三、緩流にして、概ね其水源にまで至るを得べし。

四、濠河甚に多く、國の中央より耕作地を貫流す。

五、南に流るゝ河川は、氷先づ下部より溶解す。

三、大抵は只春潮の際舟航し得るのみ。

四、皆内地海に注ぎ、或るものは北氷洋に注ぐ。

五、北流する河川は、其氷先づ上部より溶解し、隨て水河口に溢る。

(湖水) 魯西亞の西北部は、歐洲に於て最も大なる湖水を有す、ラドガ(Ladoga)ラマガ(Onga)ペーバス(Peips)及びイルメン(Ilsen)等是なり、芬蘭は湖沼高原とも稱すべく、而して其湖沼は概ね互に相連絡せり、其最大なるものをサイマ(Saima)湖と爲す。

(氣候) 魯西亞は緯度廿七度間に跨り、一方北氷洋に臨み、他方亞細亞に接するが如き大國なるにも拘らず、全國の氣候殆ど均一なりとす。全平原濶然として、北方の寒風及び南方の暖風を受け、中間一帯之を遮るべき山脈なし、されば寒暑の差異甚しく、雨量少しとす。

(植物) 魯西亞の北方は、即ち、タンドラにして、廣さ數千方哩に亘り、其間蘚苔及び灌木の外樹草の發生を見ず、サモエド人(Samojedes)之に住す。其南方は即ち森林地方にして、松柏及び樺等鬱々として到る處に昌へ、材木樹脂等を産出す。森林地方の南方は、即ち農業地方にして、大麥小麥裸麥大麻亞麻等善く生長す。黒海の近傍及びクリミヤの南部に至りては、玉蜀黍及び葡萄多しとす。

(黒土) 黒土(Black Land)とは魯西亞の中央を謂ふものにして、魯西亞の富は主として此に在り。此黒土は、カーパシヤン連山とウラル山脈の間に擴がり、殆ど國の三分一即ち凡そ二億四千万、エークルを合ひ、其土壤の黒さより、此名あり。黒土は腐敗せる植物より成り、深さ三呎より廿呎に至る、穀類は七十年間肥料なくして此地に生長せり。

(動物) 歐洲の野獸と稱すべきものは、大抵魯西亞に住せり。白熊は氷結せる大洋に漂泊し、柔毛獸は北方に多し、其他熊狼大野猫狐等は芬蘭の高原に多く、赤熊野猪鹿及び牛は森林に棲み、狼は全國至る處に在り。

(礦物) 金鐵及び銅頗る多く、重に中央ウラル山の東斜面に在り、魯西亞は、又白金



場市亞西魯
(トツロゴブノ)

百九十四

を産すること世界第一なり。鐵の産所頗る廣く、極東に於て磁石鐵の四大礦山あり、又モスコウ(Moscow)の近傍ドネツ(Done)地方及びウラル山に於ける炭田は、頗る多量の石炭を含有す、然れども未だ十分採掘せられず。

(農業) 人民の職業は、主として農業に在り、其耕地僅に百分の廿一に過ぎざるも、人民の九割餘は此業に従事せり、故に魯西亞は合衆國に次で全世界第一の穀物生産國なりとす。

(其他の産業) 製造業、牧畜

として振はず、漁業、獵業、牧畜業は稍盛なり、魯西亞の漁業場は、歐州に於て收利最も多く、裏海に於けるもの、殊に諸河口の如きは、大に然りとす、魯西亞は又家畜に富むこと、歐州第一なり、就中馬を多しとす。

(商業) 魯西亞の富源は、主として其森林、黒土、礦山及漁業場に在り、小麦は重なる輸出品にして、全輸出の二分の一より多し、材木、亞麻及び羊毛、之に次ぐ、輸入の主要なるものを粗生木、綿茶及び鉄と爲す、然れども魯西亞の商業は、重に内地のなり、(天都府) 魯西亞の人口八千八百万の中都府に住するもの、其九割即ち一千万人とす、從て此國には大都府少く、人口十万以上の都府十一あり、其内七十五万以上のもの二あり、セントピーターズブルグ(St. Petersburg) 及びモスコウ(Moscow) 是なり、其他の大都府を擧ぐれば、ワルソー(Warsaw)、リガ(Riga)、ラヂッサ(Odessa)、カザン(Kazan)、キーン(Kiev)、サラトフ(Saratoff) 等なり、尙人口五万以上のもの廿二あり。

首府セントピーターズブルグ(人口百万ハ、ネマ(Neva)河に臨み、千七百三年彼得大帝の建設せし所に在る。府の廣さ四十方哩にして、宮殿官廳宏麗を極む。ウのチアスキプロムベクト(Nevski Prospekt) は歐州最大の街路にして、長さ三哩なり。近年船舶を入るゝに足るべ

百九十五

運河の開かれしより、此府は又海港となり、外國貿易の一半は此にて行はるゝに至れり。以前にはクロンスタット (Gronstadt) 實に此府の海港たりしなり。此府には一大學あり、又帝國圖書館は、一百万巻以上の書籍を蔵せり。

(海港)

セントピーターズブルグは、バルチックに於ける最大港にして、又此國の最大港なり。之に次ぐものをオデッサと爲し、リガ又之に次ぐ。裏海に於て重要なものをアストラカシ (Astrakhan) と爲す。アーカンゼル (Archangel) は、此國最古の港なり。又海軍兵器製造所の主要なるものを擧ぐれば、バルチックに於てはニコレーフ (Nikolai) 及びクロンスタット (Gronstadt) あり、黒海に於てはセバストポール及びバツーム (Batumi) あり。

(水路及び陸路)

魯西亞に於て舟航すべき水路、殆ど二萬四千哩あり、其中四百哩は運河あり。陸路は到る處大抵悪くして、旅客行人に不便を與ふると辭からず。國中實に砂石甚だしく、黒土地方の如きは數百哩間殆ど石の隻影なく、雨天の節は一貨車を挽くに六馬を要する有様なりと云ふ。

(鐵道電信及び郵便)

魯國の鐵道一萬七千哩あり、鐵道交通に關しては、全世

界第四に位す。モスコフ之が中心にして、五大線之に集まる。又電信線の長さ九萬哩あり、毎年遞送の書簡は殆ど二億通にして、一人に付三通弱なりとす。

(人口) 人口八千八百萬あり、平均一方哩四十二人に當る。黒地は人口最も稠密の區にして、一方哩百人の割合なり。

(區劃) 歐羅巴魯西亞は六十九の行政區に分る、其最も重要なものを擧ぐれば左の如し。

一、大魯西亞	モスコフ	ニジニノブゴロッド (Nizni-Novgorod)	アーカンゼル
二、東魯西亞	アストラカシ	サラトフ	カザン
三、バルチック諸州	セントピーターズブルグ	リガ	ペルム (Perm)
四、南魯西亞	タテツサ	カーソン (Kieron)	タガノフ (Taganog)
五、西魯西亞	ワルソー	ザンネナ (Zinna)	
六、芬蘭	ヘルシンヅフ	フィンネ (Helsingfors)	アホ (Aho)

(性質) 魯人は、スラボニク (Slavonic) 種に屬す、農夫は勤勉にして、音樂歌舞を好み、淡泊にして信切なり、禮讓を行ひ、頗る高尚の風あり、然れども汚穢にして、大酒の僻あるは厭ふべしとす。

(政体) 政体は君主専制なり、但し芬蘭は魯帝を戴き、立憲政治を行へり。
(宗教及び教育) 國教は希臘教にして、魯帝之が首長たり、此國には大學八あり、中學頗る多く、農學校、礦山學校、商業學校、其他の専門學校亦多し、然れども小學校に於ては、就學兒童の數二百萬に過ぎず。

讀書執筆を能くするものは全人民の一割二分のみ。

(陸海軍) 魯國は歐洲に於て最も強大なる陸軍を有するものにして、平時軍卒七十五萬あり、戰時殆ど二百五十萬に及ぶ、海軍はバルチック海、黒海及び裏海艦隊より成る甲鐵艦四十五あり、内バルチックに在るもの三十なり、其他水雷艇亦頗る多し。

バルカン半島(BALKAN PENINSULA)

(位置) バルカン半島は歐洲の南部三半島中最東に在るものなり、三面海を繞らし、北方はセーヴ(Save)河及びタニーン(Danube)河を以て界を限る、南方に至るに従ひ、

愈半島の性質を表はし、終に其西南に於て、無數の島嶼を現出す。

一、此半島は印度支那と相比するを得べし、印度支那は南方に至るに隨ひ、愈半島の性質を現し、終に、無數の島嶼を現出する。

二、北半部は三半島を合有す、(一)コンスタンチノール(Constantinople)の半島、(二)ガリポリ(Gallipoli)の狭長なる半島、(三)ナキメニサス(Naclicice)の半島。

三、南半部は、更に狭長にして、眞に半島中の半島なりとす之を分ちて三と爲す。(一)北希臘(二)中央希臘(三)南希臘。

(海岸線) 陸地長く海中に突出し、海水深く、陸地に侵入し、海岸線の出入頗る多きもの、これ此半島の外状なり、次に掲ぐるものは、最も有名なる灣及び岬なり。

- 一、灣 東方多島海より始めて、順次に之を列舉せんに、サロス(Saros)サルファニア(Oreani)サロニキ(Soloniki)ボロ(Yolo)キークナ(Aegina)コリント(Corinth)パトラス(Patras)アリア(Ara)二、岬
- コロニナ(Colonna)マタパン(Matapan)リンギエッタ(Lingetta)

(地勢) 全國殆んど皆高原より成るものは、西班牙なり、高山より成るものは、伊太利なり、バルカン半島は、此二者を相合したるものとす、即ちアドリアチック海及び多島海の間の一の大高原あり、其山脈は東西に走る、之と直角に他の高原あり、北よ

り南に走る無数の山脈を有す。河流は到る處皆小にして、殊に南方に行くに隨ひ、愈小なり。

(山嶽) バルカン半島の三系は、先づチャイダー(Tchar-Dagh)山脈を知らば、自ら明白なるべし。

一、チャイダーより、山脈四方に派出し、西北に走るものをイリツクアルプン及びタイナリツクアルプンと爲し、南に走るものをピンドス(Pindus)山脈と爲す。

二、北に走つて、ニヒローフの深河チキヤク(Timok)より、黒海のヨミニ(Eminel)岬に至る、バルカン大山脈あり、ドブニツコヤ(Dobrudja)高原は此に在り。南及び東南に走るものをデズポルダグ(Despoto Dagh)と爲す。

三、オスマン山脈を平行して、テッサリ(Thessaly)平原の東方を限る一山脈あり、オリッパ(Olympus)オリッサ(Ossa)ペリオン(Pelion)及びオマリオン(Othrys)は此山脈中有名なる諸嶺なり。オリッパ山は高さ九千七百五十尺に達し、全半島中最高なる山なり。

四、モリア(Morava)の中央アーカディヤ(Arcadia)の高原あり、之より四小半島に至る山脈あり、其最も高さものをチリゲタス(Thygetus)とす、チリゲタスの極まる處、イタメン岬あり、此半島の最南端なり。

(河川) バルカン半島の北方斜面は、ダニユープの流域に屬し、モラバ(Morava)及びイスカー(Isker)の二河、最も重要なるものなり。南方斜面に於て、重要なるものをマリツア(Maritza)ストルーマー(Strumar)及びバーダー(Vardar)とす。

(島嶼) 島嶼の大なるものをカンチア(Candia)クリート(Crete)及びユービヤ(Euboea)とし、群島の主要なるものは、西方アイラニアン(Ionian)海に於ては、アイラニアン諸島あり、東方多島海に於ては、サイクレーズ諸島及びスボレーツ諸島あり。

(氣候及び植物) 北方は、大陸的氣候を帯び、南方に至るに従ひ、次第に海風を受くること多く、氣候温和となり、温度の昇降亦漸く減す。降雨は夏期に於てし、此半島は、東西南の三面海に臨むを以て、雨量頗る多しとす。然れども希臘に於ては、夏期殆ど降雨なきことあり。

又植物の分布を述べれば、高山に於ては、松柏の類繁茂し、低山脈に於ては、山毛櫸及び樅等生長し、温暖なる隘谷に於ては、橄欖及び橙を生ず。

(人口) 此半島人口多からず、蓋し一は山嶽多きと、一は良好なる道路の乏しきと、又一は土耳其政府の商工業に奨励を與へざるに由る、其人民は四種より成る。(一)

「スラボニック種にして、國民の過半を占め、東方に在ては「バルガリヤ」(Bulgaria)人、西方に在ては「セルビヤ」(Serbia)人はなり、(二)「アルバニヤ」(Albania)人にして、アルバニヤ地方に住する處のものなり、(三)希臘人にして、希臘王國「クリート」及び其他の諸島に住する處のものなり、(四)土耳其人にして、半島全人口の七分一に過ぎずと雖も、此半島に於ける土地所有者は、皆此人種なり、諸都府に於て商業を營むものは、概ね猶太人及びアルメニヤ人なりとす。

一、平均一方哩に付、凡そ七十人に當る。

二、希臘人及び「スラボニック」人は、共に希臘教に屬し、土耳其人は回教を奉ず。

(政治上の區劃) 「バルカン」半島に於て、國を爲すもの左の如し。

一、ボスニヤ(Bosnia)及び「ヘルツェゴビナ」(Herzegovina)名目上土耳其に屬すれども、其實地地利政府保護の下に立つ。

二、「モンテネグロ」(Montenegro)獨立なる小侯國あり。

三、「セルビヤ」(Serbia)王國

四、「ルーマニア」(Roumania)王國

五、「バルガリヤ」(Bulgaria)侯國 獨立なり、唯少許の貢賦を土耳其帝に納る。

六、東ルーマリヤ(East Roumelia)名目上土耳其に屬すれども、其國一の耶蘇教支配者を有せり。

七、土耳其 此國今は僅にルーマリヤ及びアルバニヤの二地方より成る、一は黒海及び「エーゲヤン」海に面し、一は「アドリヤチク」海に臨む。

八、希臘 「バルカン」半島中新造の國なれども、將來大に望あるものなり。

前述の諸國は、皆千八百三十年即ち希臘の王國となりし時、土耳其より分立したるものにして、各國各人民皆騒然として革命を之れ望むの姿あり、此半島の此の如く騒擾紛亂せるは、即ち東方問題の起る所以なり。

(ボスニヤ) 此國に住するものは「セルビヤ」人なり、然れども土地所有者は回教徒なり、首府を「サラエボ」(Sarajeva)と爲す、人口二万六千あり、ヘルツェゴビナは、今ボスニヤの一部なり。

(モンテネグロ) 此小地は、要害無双の山嶽とも謂ふべきものにして、其獨立を

得んが爲め二百年間土耳其人と戦ひ、終に千八百七十八年、歐州の諸國に其獨立を承認せられたり、首府をセツチンゼー (Cetinje) と爲す。

(セルビヤ) セルビヤ人は、牧畜者に非ずんば、則ち兵士なり、其國は、十四世紀に在りては、一王國なるのみならず、又ダニュープ河よりモレヤ (Morcia) に至る大版圖を有せる強國なりしが、其勢力終に土耳其人の爲めに打破せられたり、而して千八百八十二年以來、再び一王國と爲れり、此國の主要なる河をモラバ (Morava) 河と爲す、大都會は、皆其河岸にあり、首府をベルグレード (Belgrade) 人口四万五千と爲す、宗教は希臘教なり、國民二百萬多くは豚飼養に従事せり、輸出の重なるものを豚とす。

(ルーマニヤ) 此國は千八百六十一年土耳其より分離したり、但し其王國と爲りしは、千八百八十一年なりとす、人口六百萬許りなり、此國はダニュープ河及びブルース河の間に横はり、ウラキヤ、モルダヒヤ及びドブツルジャの諸州を含む、河川の大なるもの、アルタ (Arta) 及びセレス (Serres) あり、首府をブカレスト (Bucharest) 人口廿

三萬と爲す、其他の大都會は、ジャツシー (Jassy) 人口十萬及びガラツツ (Galatz) 人口九萬等とす、輸出の主要なるものは穀物にして、其額八百萬磅に上り、輸入は主として織物五百萬磅許及び金屬とす。

(バルガリヤ) 此國は、土耳其より分離し、千八百七十八年の、ベルリン條約に由りて、侯國を組成せり、人口三百萬餘あり、首府をソフイヤ (Sofia) 人口二萬と爲す、人民の職業は、主として農業、牧畜なり、其宗教は希臘教なり、されど、土耳其人人口の三割は回教を奉せり。

(東ルーメリヤ) 此小國は、ベルリン條約に由りて、千八百七十八年に建設せられたるものなり、首府をフィリポポリス (Philippolis) 人口三萬五千と爲す、國の人口百萬に足らず、主として農業に従事す。

(土耳其) 此帝國は、十七世紀に於て、バルカン全半島、匈牙利の全部、トランシルバ

ニヤモルタビヤ及び黒海の全海岸を包有し、強盛なる一大帝國なりしかど、千六百七十六年以來、次第に衰弱に歸し、今は僅にアドリアチク海及び黒海間の狭き土地を有するのみ、此國は、歐州にて基督教を奉せざる唯一の國なり。

(人口) 人口五百萬に過ぎず、概ね土耳其人にして回教を奉ず、鐵道の延長一千哩なりとす。

(大都會) 土耳其には人口貳萬以上を有する都府六あり、其中十萬以上のもの僅に二なり、三大都府をコンスタンチノーブル (Constantinople) アドリアノーブル (Adrianople) サロニカ (Salonica) と爲す。

コンスタンチノーブル(人口九十萬)は、世界大都會の一にして、マルモラ海及び金角港の間に在る風光秀麗の一半島に立つ、此府は商業の二大路、即ち黒海より地中海に至る水路及び亞細亞より歐羅巴に至る陸路の相交又する處なるを以て、商業上世界に於ても重要なるものなりとす。回教の堂塔偉麗なる宮殿、林立せる帆船、蔚蒼たる林樹、燦爛たる花園等は實に此府の外観をして、比類なからしむるものなり、されど其市内街道は狹陋不潔を免れずとす。金角港は最良の港にして、千艘の船舶を容るゝに足り、又其船舶は直に埠頭にまで至ることを得べし。

(其他の都府) 其他の都府を擧ぐれば、ガリポリ (Gallipoli) セレス (Seres) マウントアトス (Mount Athos) カサンリク (Kassalik) カンヂア等なり。

(希臘) 希臘はバルカン半島の一部にして、一度土耳其の領地となりしが其自由を得んが爲に、之と戦ふこと千八百廿一年より全廿九年に至り、終に千八百三十年獨立國として承認せられ、英佛魯の保護の下に立つことゝなれり、千八百六十三年、英國はアイラニアン諸島を之に與へたり、千八百八十一年此國は再び諸強國の力を藉りて、土耳其よりテッサリーの過半及びエビラス (Epirus) の一部を奪へり、抑も土耳其は、今や老て權力なく、將に衰滅に歸せんとするものなり、反之希臘は、尙少壯にして、將來多望のものと謂ふべし。

希臘は其昔世界第一の文明國にして、技術工業の母とも稱すべく、又文學は、世界併ぶものなかりしなり。

(面積及び人口) 希臘は天然上明白に之を四分すべし、即ち其本土は、コリンス及びエージナの二灣を以て、殆ど二分せらる。而して西にアイラニアン諸島あり、東

にサイクレーツ及びスピネーツあり、全面積凡そ二万五千方哩にして、和蘭に倍せり、人口殆ど二百万なり。

(商工業) 主要なる輸出を乾葡萄と爲す、輸出額一年二百万磅に達す。之に次ぐものを油とし、鉛又之に次ぐ、又少許の葡萄酒を輸出す、輸入の主要なるものを穀類及び織物と爲す、農業及び航海業は最も主要なる産業にして、此國の人民は其昔數千年間航海に従事したりしが、今尙八十艘の涼船三千餘の帆船六千許の小船を有す、パトラス(Parus)は、乾葡萄の主要なる輸出港なり、希臘の鐵道六百哩あり、又鉄鉛等の採掘事業稍行はる。

(都府) 希臘に人口二万以上の都府四あり、アゼニス(Athens) ピリアス(Piræus) パトラスヘルモポリス(Hermopolis) 是なり、而してコルフ(Corfu) ザンテ(Zante) 及びナフサ(Nafissa) は、今や次第に隆盛に向へり。

(性質) 希臘人は、二大嗜好を有す、一は航海にして、他は學問なり、希臘人は實に地中海に於て、大に航海冒險の業に従事せり、而して此國は土耳其の羈絆を脱して、獨立せしより以來、富及び人口の増加、教育の普及、實に速にして、各村殆ど學校の設置

あらざる所無き程に至れりと云ふ。

伊太利

(緒説) 伊太利は歐洲南部三大半島の中央のものなり、其國は詩歌音樂の國なり、繪畫建築諸美術の國なり、世界第一の畫工及び詩人を出し、世界各國の技術家は、皆此國に心酔せり、又此國は、氣候温和なる、天空の晴明なる、風光の絶佳なる、旅客は新世界に入るの思を爲すべし。

(境界) 伊太利の境界左の如し。

一、北 佛蘭西 瑞西 及び 埃地利

二、東 アドリヤチック 三、南及西 地中海

(商業上の地位) 海に面する點より云へば、伊太利は地中海に於て最良の地位を占め、又其海岸に富めると、良港を有すると、島嶼の大なるものある等は、益々其地

位をして善良ならしむ。又其陸地に接する點より云へば、歐洲に於て商工業最盛なる諸國と相接し、又三大隧道のアルプス山を通ずるを以て、佛國獨逸及び西部瑞西と直接に貿易することを得べし。

(形状及廣袤) 其形長靴の如し、チリユカ(Di Leuca)岬は其踵にして、スバルチペント(Spartivento)岬は其趾、タラント(Taranto)灣は其跗とすべし。南北の長さは七百哩、其幅平均百哩なり。サーヂニヤ(Sardinia)及びシ、リー(Sicily)を合して、其面積十一万〇六百二方哩なり。

ニユージーランドは、其形状殆ど伊太利と同様なり、唯伊太利は右足の靴にして、ニユージーランドは左足のものなり。

(地勢) 伊太利は天然の上又便宜の上より、之を三部に分つべし。大陸、半島、及島嶼の伊太利是なり。大陸伊太利は平坦豊饒なるロンバデー平原より成り、南北共に山岳を繞す。半島伊太利は山地にして、アペニン連山、及其支脈殆ど其全部を占む。島嶼の伊太利は、シ、リー及びサーヂニヤ(兩島共に山岳多し)エルバ(Elba)リバリ諸島(Lipari Islands)等より成る。

(海岸) 東方海岸は低平にして、砂石多し。唯リミニ(Rimini)の近傍アペニン山嘴の海に達する處高峻にして、其極東モンテガガノ(Monte Garicano)を出す。伊太利人呼んでガガノヘッド(Gargano Head)と曰ふ。西方及南方に於ては、其海岸概して高峻にして、唯アルノ(Arno)河口及びトラシナ(Teracina)の間、マレンマ(Maremma)カンパニヤ(Campagna)及びポンチン澤地(Pontine marshes)等の如き三の低き澤地あり。西海岸は曲海入江等頗る多し。

(山岳及高原) アルプス山脈豊饒なるポー(Po)河谷を繞りて、弓形をなし、アペニン連山は、海邊アルプスより出で、殆ど全島に亘り、メッシナ(Messina)にて海中に落ち、再び異なる名を以て、シ、リー全島に擴がる。アペニンの最高峯をモンテコルノ(Monte Corvo)と爲す。高き九千五百四十五呎あり。

伊太利の火山は、一線を成せり。ヴェスビウス(Vesuvius)リバリ諸島、ヒトナ(Hina)山即ち是なり。

(平原) 伊太利に於て、最大最肥なる平原をロンバデー平原と爲す。此平原はピエドモンド(Piedmont)ロンバデー及びベネチヤ(Venetia)の三地方より成る。又ポー

(P) 河谷とも稱す。地球上最も豊饒なる地方の一にして、其人民は皆勤勉耕作に従事し、殷富の大市頗る多し。

(河川) 伊太利の大河は、唯一のポーあるのみ。其他はアルノの如き、タイバー(Tiber)の如き、歴史上有名なるも、舟航或は灌漑の用に供する能はず。アデヂ(Adige)河は一部墾地利に在り。

(湖水) 伊太利湖水の主要なるものをガーダ(Garda)、マッジョーレ(Maggiore)及びコモ(Como)等と爲す。之より出づる水は、皆ポー河の入る。

(氣候) 伊太利は北緯卅八度より四十六度の間に在るを以て、各種の氣候を有せり。大陸伊太利は、大陸的氣候を有し、半島伊太利は概して乾燥温暖にして、均一の氣候を有し、島嶼伊太利は、殆ど半熱帯の氣候にして、唯海風に由て熱度を和ぐ。

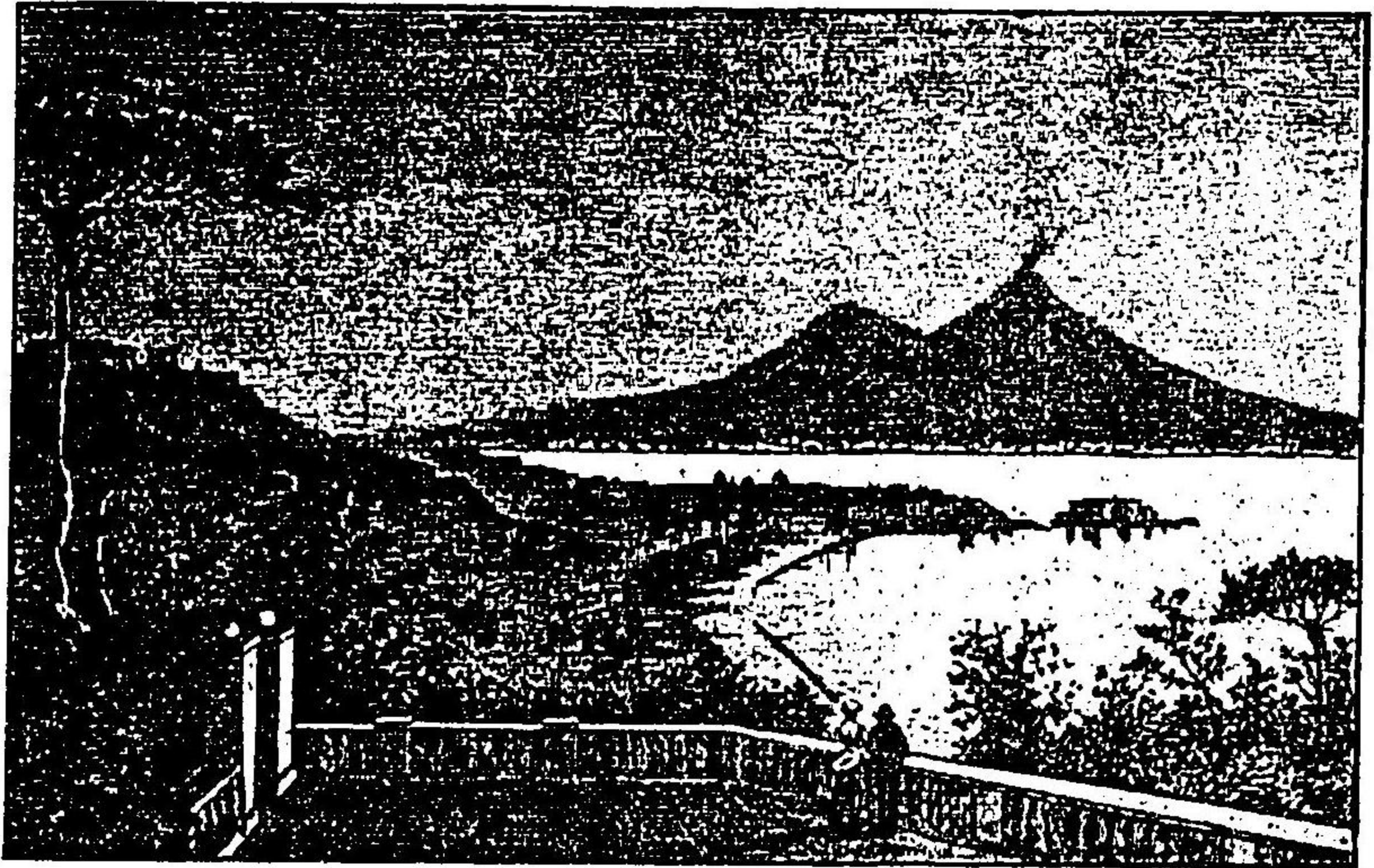
(植物) 北方平原には、米玉蜀黍小麥葡萄橄欖及桑樹を産し、アペニン連山の植物は、大陸歐洲のものと同じく、而して番石榴(Plantain)橄欖、其他の常緑樹の如き、地中海植物と稱すべきものは、主として海岸に限れり。ナレーン(Narène)海岸は、橙橄欖、モン及佛手柑、相連りて繁茂せり。極南に至りては、其植物は、甘蔗、印度無花果及椰子

等なり。

(動物) 肉食動物の大なるものは、殆ど其跡を絶ちたれども、現今森林には、尙少許の狼、野猫及ひ鹿を見る。又南方には野猪、箭猪あり。海岸の或る部分に於ては、蠍及蚊の類甚だ多し。

(礦物) 伊太利には、真正の石炭と稱すべきものなきも、堅硬石炭(Stone Coal)を産する處あり。重要なる礦物は、鐵にして、其最も大なる礦山は、エルトン(Elton)に在り。銅はタスカニー(Tuscany)に産し、鉛はサージニヤに出づ。而して伊太利の富は、主として硫黄に在り。其大なる礦山は、シ、リーの近傍に存せり。カーラ、(Carrara) マッサ(Massa)等の近傍、大理石多く、カーラ、種は最も純白にして、肖像用に供すべく、其名字内に高し。

(産業) 産業の主要なるものを農業と爲す。穀物、葡萄酒及び油等は、重なる産物なり。發蠶は北方に盛なり、絹は實に伊太利の最も價值ある産物とす。大麻、亞麻の産出亦多量なり。蓋し伊太利の氣候は、一年中麻の衣服を着するに適せるなり。牧場は北方に多く、乾酪の製造頗る盛なりとす。



チーブルス府の圖

(製造) 伊太利の工業は規模概して小なりとす、ビードモンド及ヒロンバーデーに毛布製造所ありゼノア(Genua)及びチーブルス(Naples)には、木綿製造所及び鑄鐵所ありミラン(Milano)は、土器を製出す。

(商業) 蘇士運河の開かれたるが爲め、伊太利は地中海に於て次第に衰微に歸したりし商業を挽回せり、伊太利の最大取引國は、佛國にして之に亞ぐものを英國と爲し、奧地利獨逸及び瑞西又之に次ぐ、伊太利は此中の四國と鐵道を以て相連絡せり、輸出の主要なるものを絹と爲し、葡萄酒之に次ぎ橄欖油菓實鷄卵硫黃生綿又之に次ぐ。

(大都會) 伊太利には大都會頗る多く、人口二萬以上のもの二十五に下らず、其中五

萬以上のもの十五あり、又其中十萬以上のもの九あり、チーブルスミランローマチーロン(Turin)パラーモ(Palermo)カノアフロレンス(Florence)ヴェニス(Venice)ボローニヤ(Bologna)是なり。

羅馬(廿八萬)は、千八百七十一年以來伊太利の首府なり、又嘗て羅馬大帝國の首府たりしなり。此府は美術の都にして、繪畫彫刻建築等各種技術の美麗なる模範を多く有する。此都の如きものは地球上に之なしとす。博物館或は各時代の技術を蒐集したる陳列所は、其數實に計るべからず、古代の殿堂禮拜堂等數多存在せり。羅馬に於て、大建築物三あり「コロッセアム」(Coliseum)セントピータース寺及「ヴァチカン」(Vatican)宮是なり。

(海港) 伊太利に於て主要なる海港をゼノアレグホーン(Leghorn)アンコナ(Ancona)及びスベツチヤ(Spezia)大なる海軍造船所等とす。ブリンヂシ(Brindisi)は今方に繁榮の域に向ひ、オスチヤ(Ostia)は衰微の境に沈めり。

(鐵道) 伊太利の鐵道は甚だ盛にして特に大陸の部に於て然りとす。其延長總計七千哩に及び、今後十五年間に三千哩の布設を爲すべき見込なりと云ふ。

(電信及郵便) 電線の長さ二萬三千哩あり、又郵便は一年殆ど二億の書狀及端

書の往復あり、一人に付一年六通に當る。

(運河) ロンバーデーの平原に於ける運河は、主として灌漑の用に供するに在り、キアナ(Chiara)運河はアルノ及びタイバーの兩河を連絡し、ベニスベニスの市街は、運河縦横に貫通し、其數殆ど二百五十に達せり。

(人口) 伊太利の人口凡そ三千万あり、平均一方哩二百六十人に當る、歐洲諸大國中人口最も稠密なるものなり。

(區劃) 伊太利は、方今六十九州に分る、然れども之を知るの要なし、唯古の區劃は歴史上有名にして、今尙人民の腦中に存し、特に必要なるものなれば、左に其重なるものを擧げん。

- 一、トリノ トーランド ナーティン(Turin) アレクサンドリア(Alessandria)
- 二、マンツァ マンツァー ミラングレンヂナ(Gremona) マンツァー(Mantua)
- 三、ヴェネチヤ ヴェニスパダナ(Padua) ヴェローナ(Verona)
- 四、パドヴァ パドヴァ フロンツスレグホンビサ
- 五、カンプーニヤ チーブルスサラリーノ(Salerno) ガエタ(Gaeta)

六、カラブリア(Calabria) レンツォー(Reggio)

(性質) 伊國人は、混合種族にして、羅馬人、希臘人、ゴール人、ゴス人、ノーマン人、亞拉比亞人及び獨逸人の子孫なり。世間にては、普通此人民を以て殘酷にして禮儀を知らず、仇讎の心深く、暗殺を好み、虚言を爲すものと爲せども、其實大に誤れり。公平なる旅行者は熱心に此人民の皆禮儀あること、及び親切なることを言へり。伊太利人は其地位の高きと低きとに隔なく、富豪なると貧賤なるとに拘らず、一切の人に親切にして且禮儀あり、又此人民は着實節儉にして、尤も愛國心に富めり。

(政府) 伊太利は、立憲政体なり、王及び大臣は行政者にして、立法權を有するは上院及び下院なり。

一、常備兵は殆ど百万あり。

二、海軍は頗る強大にして、第一等の甲艦艇十艘を有す、其二艘は世界最大の艦艇なり。

(宗教及教育) 伊太利の宗教は、舊教なれども、他の宗教も亦自由なり、初等教育未だ普及せず、讀み書きする能はざるもの殆ど六割二分ありと云ふ。然れども政府は、教育に心を注ぎ、方今學校の數殆ど六萬に達せり、専門學校の數四百餘あり、大學

校七あり。

(國語) 伊語も亦佛語西語葡語と同じく、羅何語より出でしものなり。而して此數語中本來の語を變じたること最も少なきものなり。

(殖民領) 伊太利人は非常に其本國を愛し、移住せず、隨て其殖民地一もなし、唯南米プエノスアイルスに僅少の伊太利人あり。

半島 (THE IBERIAN PENINSULA)

(緒説) 歐洲の最西南に在るアイベリア半島 (Iberian Peninsula) は普通單に半島と稱す。蓋し歐洲の諸半島中最も有名なるものにして、又地中海に於ける半島中最大なるものなればなり。

(境界) 半島は、三面海に臨み、北の一方ピレニース (Pyrenees) の大山脈を以て限れり。其山脈は地中海とビスケー (Biscay) 灣の間に横はり、二百五十哩の長さあり。此半

島は北緯三十六度より四十三度四十五分に至る。

(商業上の地位) 半島は、世界の商業海、即ち大西洋及び地中海の間に位するを以て、佛蘭西と同じく、其地位甚だ宜し。加ふるに大港多く、遂に世界の大商業國たらざる可からざるに、其然らざる所以のもの如何、そは後に述べべし。

(形状及海岸線) 其形状殆ど四角形にて、海岸線の長さ僅に二千三百哩なり、平均九十八方哩に海岸一哩の割なり。

(廣袤) 半島の面積、凡そ二十二萬五千方哩にして、英蘭及威勒士の面積に四倍せり。

(地勢) 半島は一大高原にして、南及び北に高山びあり、低山脈東西に亘り、長さ谷之を横斷し、海岸に沿うて走れる狹長の低地、之を限る。此大高原の過半は、其高さ二千五百呎あり。

(山脈) 北方に於ては、ピレニース山脈及び之と相連れるカンタブリアン (Cantabrian) 山脈あり、南方に在るものをシラネバダ (Sierra Nevada) と爲す、中央山脈の主要なるものをシラデガダラマ (Sierra de Guadarrama) シラネイトレド (Sierra de Toledo)

及びシーラモレナ(Sierra Morena)の三をす。

(岬) 北方に於て主要なるものをオルテガル(Ortega)岬、西方に於るものをフィニステル(Finisterre)ローカ(Roca)及びセントビンセント(St. Vincent)岬、南方に於るものをタリファ(Tarifa)岬、東岸に於けるものをガタ(Gata)、パロス(Palos)及びセントマリーチ(St. Martin)岬を爲す。

(灣及び海峽) 海灣亦頗る少し、海峽唯一あり、ジブラルター(Gibraltar)海峽即ち是にして、英國の所管に歸せり。

(低野) 高原及び海岸の間殆ど至る處に低地あり、就中ガダルキビー(Guadaluquivir)ラーガス(Tagus)及びエbro(Ebro)の河邊を肝要なるものとす。

(河川) 半島の五大川をエbro(Douro)ラーガス(Tagus)ガチアナ(Guadiana)及びガダルキビーとす。エbroは地中海に注ぎ、他の四川は、皆大西洋に注ぐ。其他の小河を擧ぐれば、ミンホ(Minho)セブラ(Segura)及びズガー(Xucar)等にして、ミンホは大西洋に注ぎ、其他の二川は、地中海に入る。地中海に入る小河は、舟航の用に供する能はずと雖も、其實流する地方をして頗る豊饒ならしむる利益あり。

(湖水) 湖水少く、又大なるものなし、最も重要な湖を東方海岸に於る五湖と爲す。バレンシア(Valencia)は其最大なるものなり。

バレンシア湖には、無数の野禽羣集せり。

(氣候) 半島は五の氣候を有す、皆温度降雨及び風位に於て相異れり、第一はピレニース及び北方の氣候にして、降雨頗る多し、第二は、西方即ち大西洋氣候にして、定期に降雨す、第三は、東方斜面の地中海氣候にして、第四は、南方の亞弗利加氣候なり、第五は、中央高原の頗る乾燥なる氣候にして、寒暑共に甚し。

(植物) 植物は勿論其氣候の異なるに隨て異なり。北及西北は、牧場及び森林の地方にして、西方は常盤木葡萄玉蜀黍及び菓實に富み、東方斜面に於ては、葡萄椰子橙及び其他半熱帶的の植物繁茂し、南方斜面に於ては、米砂糖木綿及び桑樹を産し、中央高原に於ては普通の穀物を産す。

(動物) 肉食獸の主要なるものを熊狼及び大野猫等と爲す、肉食鳥類の中には鷲鷹及び隼等あり、南方海岸には、赤鶴塘鷄等、其他大西洋より來る鳥類を見る。猿猴はジブラルターの岩上に棲む。

(礦物) 半島は頗る礦物に富み、高原の北端及び南端に最も多し。鐵石炭銅鉛及び水銀等は、重なる礦物にして、硫黃鹽亦頗る多し。

西班牙

(緒説) 西班牙は昔て世界の最大強國なりしが、今は則ち世界最弱國の一なり。其土地たる、降雨頗る多きも、熱風流通甚しきが爲め、殆ど砂漠の如し、頗る大なる河あり、又小なる河あり、温帯の植物あり、又は熱帯の植物あり、其人民には最も勤勉なるものと、頗る懶惰なるものとあり、此の如きものは、即ち吾人が西班牙人と呼ぶ所のものなり。

(廣袤) 大陸の西班牙は、其面積十九万一千方哩にして、バリアリック(Balearic)諸島カナリー(Canaries)諸島及び北亞弗利加に於ける狭小なる一陸地を合すれば、凡そ十九万八千方哩なりとす。

其海岸線は、面積七十二方哩に付、一哩の割にして、殆ど佛國と同レ割合なり。

(人口) 人口凡そ千七百万あり、一方哩平均八十五人に當る。

(産業) 最も肝要なる産業を農業とす、人民の殆んど七割三分は之に従事す、然れども其耕地は全面積の一半にも足らず、バレンシヤ(Valencia)及びカタロニヤ(Catalonia)は最良の農業地なり、蓋し其水利頗る宜しきに由る、産出多き農産物を小麦其他の穀類となし、橄欖之に次ぎ、葡萄又之に次ぐ、メリノ(Merino)羊の飼養は、亦頗る盛なり、其數凡そ六百万頭ありと云ふ、漁業も亦大なり、金鎗魚、鱒魚、鯉魚等、皆漁夫の生活を繋ぐ處のものなり、製造は、主として木綿絹革皮紙及び鉄器等なりとす。

(商業) 其地位たる、二大商業海の間を介し、良港頗る多く、大商業國たるを得べきに關せず、其然らざる所以のものは、其國民懶惰にして、此等の利益を顧みざるに由る、輸出の主要なるものは、葡萄菓實、金屬礦物油及び、コルク等にして、輸入の主要なるものを生綿、ブレンダー、砂糖器械及び醃魚等と爲す、此國の取引先は、英國佛蘭西、キエフ(Cuba)及び米國とす。

(大都府) 西班牙には人口五万以上の都府十六あり、内拾万以上のもの五あり、マ

ドリット(Madrid)バルセロナ(Barcelona)バンテンシアセビーア(Seville)マラガ(Malaga)是なり。

首府マドリッドは、歐洲に於て最も高處に在る都府にして、海面を抜くこと二千四百呎なり、テীগス河に流るマンザナレス(Manzanares)河に跨る。人口五十万あり、此都は方形の大府にして、周圍十二哩、繞らすに壁を以てす、幽暗なる街衢、宏大なる建築、美麗なる宮殿等皆此内に在り、其氣候は頗る極端のものなり。

(自餘の大都府) 上に次げる五大都府をマルシヤ(Murcia)サラゴザ(Zaragoza)グラナダ(Granada)カルセジナ(Carthagena)及びカヂス(Cadiz)と爲す、人口七万五千より十万に至る。

(主要の海港) 西班牙に於ける主要の港をバルセロナマラガ(Malaga)カヂス及びバレンシヤと爲す、コルンナ(Corunna)カルセジナバルセロナ及びフェロル(Ferrol)は海軍造兵所あり。

(鐵道及電信) 鐵道の延長凡六千哩あり、尙千哩は程なく布設せられんとす、電信線の長さ四千餘哩あり。

(區劃) 西班牙は之を四十九州に分つ、其最も肝要なるものを擧ぐれば、ビスケーガリシヤ(Galicia)アルダルーシヤ(Ardalusia)マルシヤバレンシヤナバーバ(Navarro)及び兩カスチル(Two Castiles)なり。

(性質) 西班牙人の性質は、其氣候の如く、差異頗る甚しく、カタロニヤ人は勤勉剛毅清廉節儉なり、マルシヤ人は懶惰にして睡眠を貪り愚鈍なり、バレンシヤ人は勤勉活潑敏捷にして、アラゴン人は頑固執拗なり、又アルダルーシヤ人は温和能辨にして、其態度愛すべきものあるも、歌舞を好み懶惰貧困にして、現在の境遇に甘んじ進取の氣象なし、闘牛尙盛行はれ、西班牙人の性質をして殘酷に傾かしむ。

(政体) 西班牙は立憲王國にして、國王及び國會あり、王は行政を司り、國會は立法を司る。

一、常備兵十八万あり、其中二万三千はキューバに屯在せり。

二、海軍は六艘の甲鐵艦、其他數多の螺旋軍艦及び螺旋砲艦より成る。

(宗教及教育) 國教を舊教と爲す、新教徒は全國にて僅に八千人に過ぎず、又西班牙の小學及び中學教育は、組織不完全にして、好結果なし、大學校十あれども、既に

古昔の地位を失へり。

(國語) 西班牙語は羅匈語より出づ、羅匈語なりと雖も、書籍上の羅匈語に非ずして、兵卒農夫等の談話する羅匈語なり、西班牙語は、活潑高尙にして、威嚴ある國語なり。

(殖民領地) 西班牙は、嘗て一たび世界に於て大なる殖民地を有せしも、概ね之を失ひ、今尙有する處のものは、キエバ ポルトリコ (Porto Rico) フィリッピン (Philippine) スール (Sooloo) 其他亞細亞に於ける諸島及び亞弗利加の西岸に近き フェルナンドポ (Fernando Po) 島等なり。

葡萄牙

(緒説) 葡萄牙小王國は、歐州の西南端に在りて、大西洋に臨む。嘗て世界の大探検國なりしが、今は偷安満足の國となれり。

(廣袤及境界) 葡萄牙の面積三万二千五百廿八方哩あり、アゾーア (Azores) 及び マデーラ (Madeira) の諸島を合すれば、三万四千〇廿八哩なり。此國北及び東は西班牙に境し、南及び西の大西洋に臨む。

(河川) 全く葡萄牙國內に在る河流を モンデゴ (Mondego) と爲す、四邊の風色絶佳にして、處々に瀑布あり、されど商業には利益なし。

(島嶼) 葡萄牙は、其海岸に近く重要な島嶼なし、然れども アゾーア 及び マデーラ は地理上之に屬せざるも、政治上王國の一部を爲せり、アゾーア 群島は、人口二十五万餘あり、マデーラ 島は凡そ十三万を有す。

(氣候) 濕氣を帯ぶると、均一なるとは、葡萄牙氣候の性質なり。

(植物) 北方に櫛を生じ、中央に栗樹、南方に塞子樹を生ず、尙南方に至るときは椰樹あり。

(産業) 葡萄牙の重要な産業を農業と爲す、其産額の最も多きは穀類なれども、最も價値あるものは葡萄酒なり、玉蜀黍は穀類中最も肝要なるものにして、之に次ぐものを小麦となす、米は南部に産す、木綿麻布及び羊毛製造稍行はる。

(商業) 特に大なる輸出を葡萄酒と爲す、其他塞子、銅、及び葱等亦重要なる輸物にして、最大取引國を英國、ブラジル、及び佛國とす、輸入は主として木綿、鉄毛布、及牛酪なり。

(人口) 葡萄牙の人口凡そ五百万あり、最も人口稠密の州をミンホ(Minho)とす。

(都府) 葡萄牙には人口十万以上の都府僅にリスボン(Lisbon)及びオポルト(Opoto)の二に過ぎず、二万以上のもの六にして、其中二方に近きもの二あり、ブラガ(Braga)十九万、及びフンシャル(Funchal)十九万是なり。

首府リスボンは其地位と云ひ、其宏麗と云ひ、以てコンスタンチノール、パラーマ、チーパルス、及びセニアに比するを得べし。府はテージラス河に沿うて四哩の長さを有し、其幅三哩あり、但し其外面は頗る宏大壯麗なれども、其内を見れば、狭小汚穢粗惡の通路、街衢充満せり。人口二十五万あり。

(鐵道及電信) 鐵道の延長千哩なり、尙三百哩は今布設中なり、電信線は三千哩以上に及ぶ。

(區劃) 葡萄牙は分ちて八州と爲す、リスボンはエストレマデウラ(Estramadura)州

に在り、オポルトはミンホ州に在り。

(性質) 葡萄牙は南北種族の混合にして、又幾分か亞拉比亞人(Barber)人及び黑人の血統を含有せり、其人民は丁寧親切温和にして、歌舞を好み、西班牙人を忌む、其身体短小にして肥満なり、又農夫は皆勤勉節儉なり。

(政体) 西班牙と同じく、立憲政体にして、上院下院に分れたる議會を有す。

一、常備兵は、僅に一万八千に過ぎず、戦時に於ては、十二万を出すを得べし。

二、海軍は、三十二の海船より成る、其一艘は甲鐵艦なり。

(宗教及び教育) 國教を舊教となす、然れども、其他の宗教も自由なり。

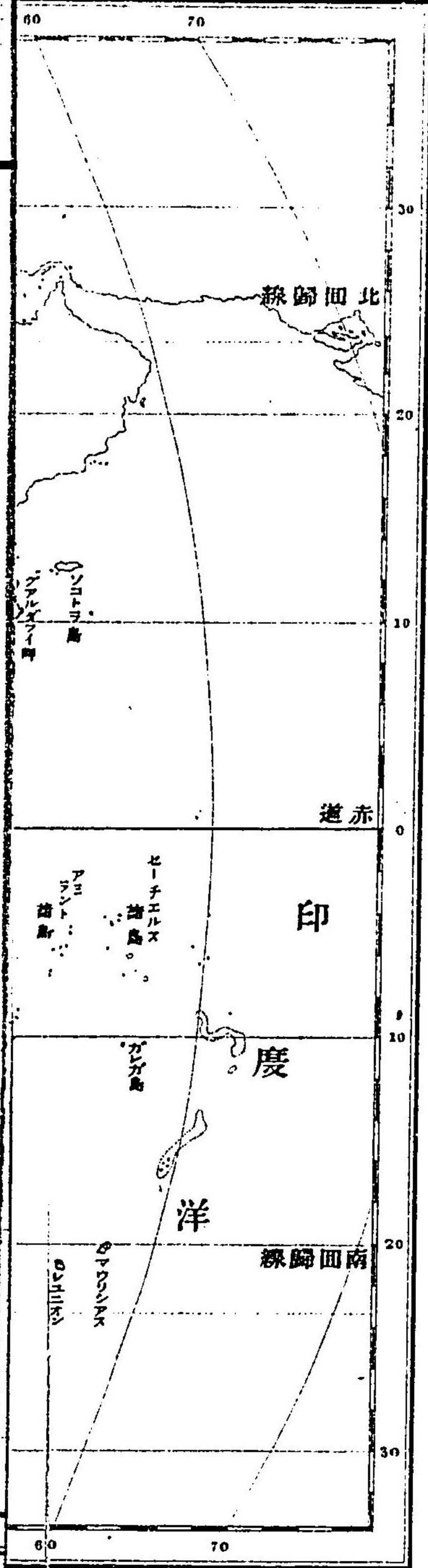
(國語) 葡語は頗る西語に類し、唯母音に於て相異なるのみ。

(殖民領) 葡萄牙は亞細亞及び亞弗利加に數多の殖民地を有す、今其主要なるものを擧ぐれば。

一、亞弗利加 ケーポヴェルデ(Cape Verde)諸島、アンゴラ(Angola)、モザンビーク(Mozambique)

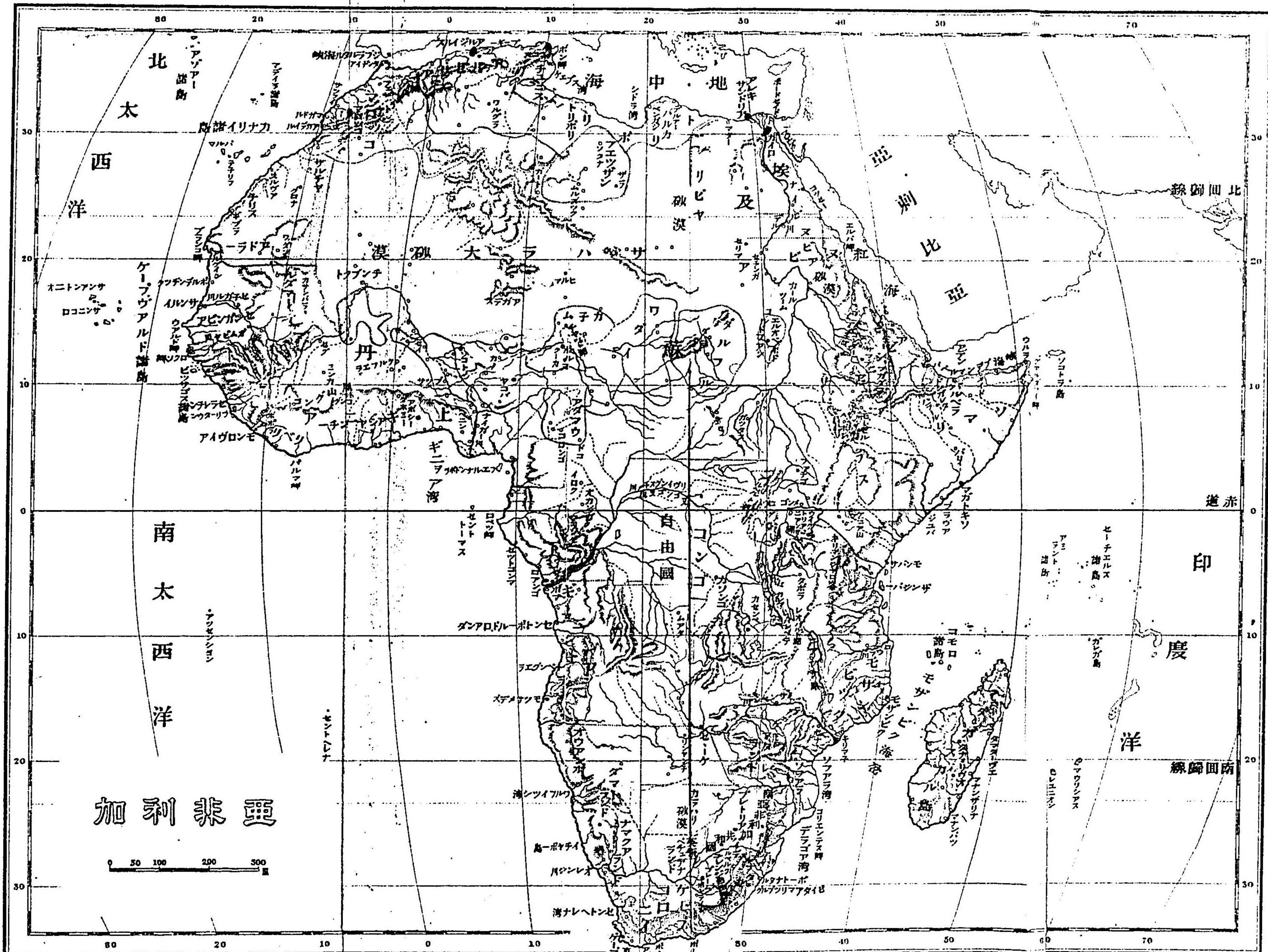
二、亞細亞 ゴン(Goa)、チモール(Timor)諸島。

新撰萬國地理上卷終



を東にしめたり。

抑も亞弗利加は、他大陸と相異れる數点なり、即ち熱帯の大陸なること、平均最も高きこと、最も世に知られざること、然かも尙歴史に於ては、最古の記録を有すること、其形狀頗る簡單なること、及び其大陸は、其形狀構造氣候及人民等各種の点に於



新撰萬國地理下卷

理學士 山上萬次郎

濱田俊三郎 合著

第三篇 亞弗利加

總論

(緒説) 亞弗利加は暗黒大陸と稱す、其理由二あり、其國の世に知らるゝこと最も少く、且容易に内地間相交通するを得ざること、其一なり、黑人種之に棲住すること、其二なり、古來此大陸を採撿せんと企てたるもの一にして足らずと雖も、サハラ(Sahara)の大砂漠、或は赤道の兩側に横はれる大森林は、終に旅人をして空しく手を束ねしめたり。

抑も亞弗利加は、他大陸と相異なる數点なり、即ち熱帶の大陸なること、平均最も高さこと、最も世に知られざること、然かも尙歴史上に於ては、最古の記録を有すること、其形狀頗る簡單なること、及び其大陸は、其形狀構造氣候及人民等各種の点に於

て舊世界の諸大陸と著しき反對を爲すこと、等是なり。

(南北大陸の反對點) 今地球上の六大陸を南北に分つときは、兩者間著しき差異あるを認むるを得べし、即ち北三大陸は互に相接するも、之に反して南の三大陸は頗る廣き大洋を中に挟んで、遠く相隔離せり。北の三大陸は、海岸線頗る長く、港灣深く陸地に侵入し、陸條長く、海中に突出し、群島頗る夥多なるも、南の三大陸は、其海岸線一様短少にして、大洋の陸地に侵入すること無く、島嶼も至て少しとす。

(亞弗利加及び歐羅巴の比較) 亞弗利加及び歐羅巴、二大陸の相反對せる諸點を列擧せば、左の如し。

亞弗利加

- 一、亞弗利加の大部は、熱帯に在り。
- 二、其大陸は、形狀簡單にして、一大塊を爲す。
- 三、亞弗利加は、枝無き幹の如し。
- 四、亞弗利加は、比較上海岸線最も短し。

歐羅巴

- 一、歐州の過半は、温帯に在り。
- 二、其大陸の形狀は、不規則にして、凸凹出入多し。
- 三、歐羅巴は、其西部に於て、幹より變る枝多し。
- 四、歐州は、比較上海岸線最も長し。

(亞弗利加及び南亞米利加の比較) 占め、反對類似の點數多なり。

亞弗利加

- 一、亞弗利加は、凸凹無し。
- 二、亞弗利加は、收縮の形あり。
- 三、亞弗利加は、互に相交通するを得ざる一大陸地あり。
- 四、湖沼頗る多く、皆頗る大なり。
- 五、亞弗利加は、舟航すべからざる河流、閉

南亞米利加

- 一、南米の海岸は、亞弗利加に比して出入多し。
- 二、南米は、膨脹の形あり。
- 三、南米は、至る處、河流縱横し、港灣内海の欠を補へり。
- 四、湖沼少く、皆小なり。
- 五、南米は、河流舟航するを得べく、其流域

塞せる流域を有す。

六、コンゴ河ハ赤道の南北両邊に沿うて流る。

七、コンゴナイル及びザンベジ河は各相離れて其水を大洋に送る。

八、亞弗利加は赤道の南北兩側に、廣大なる森林を有す。

九、亞弗利加は最大最強なる動物を産す。

は概ね相連続せり。

六、アマゾン河は赤道に沿うて流る。

七、數多の河流合して、一のアマゾンとなり、多量の水を大洋に送る。

八、南米は赤道の南北に沿うて、廣大なる森林を有す。

九、南米に在りては、植物の力、動物より壯偉なり。

(廣袤及び海岸線)

亞弗利加は總面積一千二百万方哩あり、其海岸線は面積に比して頗る短く、僅に一万六千哩に過ぎず。海的主要なるものにはギニア(Guinea)灣あり、ベニン及びボニ(Benin)ビヤフラ(Bights)の二小灣其中に在り、北方海岸に於て、シドラ(Sidra)及びカヘス(Kahes)の兩灣あり、東方に於てアデン(Aden)灣あり。

(組織)

其外形既に一樣にして、内地も亦然り、此大陸には、脊骨と稱すべきものなく、中央にも大山脈なく、大分水界なし、然れども高地頗る多し、亞弗利加は實に高原

大陸と稱すべし、其過半は皆二千呎乃至九千呎の高原より成り、大山脈之を圍繞し、海岸に沿うて走る、高原の中央部は、其周邊より稍低し、海岸に沿へる處は、低平なれども、頗る狭小なりとす。全土を分ちて、上下の二部に爲すべし、南に在るものを上部、亞弗利加北に在るものを下部、亞弗利加とし、北緯五度を以て之が限界となす。

(山脈)

山脈の主要なるものには、北に於てアトラス(Atlas)山あり、西に於てコンゴ(Cong)山あり、ビヤフラ灣に近きカメルーン(Camerouns)マント(Congo)河及びナイル(Nile)流域間のウレガ(Ulegga)山脈、コンゴザンベジ(Zambesi)流域間のロキンガ(Ro kinga)山、東南に於けるドラケンベルグ(Drakenberg)山及びアビシニヤ諸山あり、大陸中最高の峯をキリマンジャロ(Kilimanjaro)一万八千八百八十一呎及びケニア(Kenia)一万八千呎と爲す。

(平原及び砂漠)

シドラ灣及びカイロ(Cairo)の間、低き平原あり、此平原の過半は、地中海の水面より低し、カヘス(Kahes)灣以内に、又地中海面より低き平地あり、これと亞弗利加の重なる原野は、皆高地なり、サハラ及びカラハリ(Kalahari)の砂漠頗る著名なりとす。

サハラは世界第一の砂漠にして南北千哩、東西三千哩、面積二百五十万方哩、地中海の大きに三倍せり、昔日嘗て水を以て蔽ひたりしか、今は水なき大洋なり、サハラは砂石の高原にして、其地蘇丹より高く、間々粘土質の低窪及山脈あり、降雨全無と云ふに非ず、所々に潞水を見る、呼吸を止むるか如き熱風、砂漠を吹き渡る之を「シムーム」(Simoom)と稱す、埃及にては「カムシン」(Khamasin)伊太利にては「シロッコ」(Sirocco) 瑞西にては「フーン」(Föhn)と稱す。

(大陸的流域) 亞弗利加には南北に大陸的の二大流域あり、サハラ及びカラハリ是なり、サハラにはチャド(Chad)湖あり、數多の河流之に注ぐ、シャリ(Shari)は其最も著名なるものなり、カラハリは近傍ニヤミ(Ngami)湖あり、チーシ(Tiogo)河之に注ぐ、

(河流) 亞弗利加に於る四大河をコンゴナイルニジェル(Niger)及びザンベンと爲す、コンゴは最も大にして、大西洋に注ぐ、ナイルは地中海に注ぎ、亞弗利加最長の河なり、ニジェルはギニア灣に注ぐ、流域水量第三に位す、ザンベンは印度洋に注ぐ、流域第四に位す。

(湖沼) 北米を除きては、亞弗利加の如く大湖多き大陸世界になし、皆重に南亞弗利加にありて、大抵大陸の東側に羅列せり、ビクトリアニアンザ(Victoria Nyanza) アルベルトニアンザ(Albert Nyanza) タンガニーカ(Tanganika) ニヤッサ(Nyassa) 及びバンバ(Bamba)の五湖最大なるものなり。

(氣候) 亞弗利加は其土地の十分七、熱帯中に横はるを以て、乾燥酷熱なり、此氣候を成せるもの三種の原因あり、(一)亞細亞海岸より來る東北貿易風の濕氣を有せざることを、(二)灣の深く陸地に侵入せるものなく、半島の長く海中に突出するものなきこと、(三)海岸に沿うて走れる山脈は、雨を帯べる風より、濕氣を奪ふを以て、内地に至るに及んで、乾燥なる風となること是なり、故に亞弗利加の氣候は、大陸的性質のものなりとす、南方に至れば、土地高く、又海洋の影響を蒙むると多きを以て、氣候幾分か涼味を帯ふ、内地の高原は、氣候健康に適すれども、其海岸は腐敗植物積重し、濕熱の氣甚しきを以て、頗る健康に害ありとす、亞弗利加大陸中、最も暑熱強き處はサハラにして、殊に其東部を然りとす。

(植物) 北方亞弗利加の植物は、地中海の地方と同じ、此の如き半熱帯地方に在て

は、橙橄欖椰子等頗る多しとす。南方に進んで、蘇丹地方に至れば、土地豊饒にして、バ
ヲバブ (Baobab) 樹多し、其他「カツサバ」(Cassava) 大薯、地豈成長せり。南方亞弗利加に
至れば、内地平原に於て、大戟草或は蘆薈其他珍奇の植物あり。海角に近き處に在て
は、頗る美麗なる灌木林をなして相連り、皆高くして間々十五呎に至るものを見る。
(動物) 亞弗利加には、巨大の動物あり、其種類及び其數最も多しとす。著しきもの
は、象河馬犀等にして、殊に河馬に至りては、亞弗利加特有のものなり。羚羊は南部亞
弗利加に多く、豹駝群を爲して森林を馳廻し、駝鳥平地を走る。駝背一箇の駝駝は、北
方に於て使用せらる。ゴリラ猿猴の屬或はチンパンジー(猩々の如き、四手獸の大な
るものは、西部亞弗利加の熱帶地方に於て之を見る。其他獅子、鬚狗、豹、靈猫等多し。虎
熊は絶無なり。駝鳥の外、亞弗利加には、鵝「アイビス」(Ibis) 赤鶴等あり、其他羽毛美麗
なる鳥類各處に多し。鱒魚は強大なるものあり、蛇は亞米利加亞細亞に比して、餘り
多からず。

(礦物) 鹽は頗る多く、金屬は至る處皆少し。鉄銅及び鉛はアトラス山中に産す。又
銅はナマクワランド(Namquaaland)及びボンゴ流域に産し、南亞弗利加の中央連山中に

も多くあれど、未だ採礦せられず。金剛石はパール(Pearl)河邊の地方に出づ。

(住民) 亞弗利加の住民を分ちて、土人舊移住民、新移住民の三とす。土人は、(一)南部
及び西南部に住する、ホツテントット及びブッシュメン(二)前者と赤道間に住する所の
「パンチュ」を稱する人民、(三)蘇丹地方に住する黒人の三種とす。舊移住民は、(一)舊埃及
人、(二)セミチック種なる亞拉比亞人、及びアビシニヤ人の二種より成る。新移住民は、和
蘭人、英人、佛人、等なりとす。

(人口) 人口凡そ二億なり。西部蘇丹ハ、人口最も稠密なる區とす、一方哩に五十人
の割合なり、チュニス之に次ぐ。

(宗教) 亞弗利加の北部チャド湖に至るまで、及び東海岸サンベン河口に至るま
で、皆回教を奉ず。南部及び西南海岸の人民は、皆無數の蕃教を信し、ケープコロニー
(Cape Colony)及び和蘭殖民地に於ては、其人民悉く新教にして、アビシニヤに於ては、
基督教の一種行はる。

(言語) 亞拉比亞語は、ナイル河口よりジブラルター海峡に至り、ジブラルター海
峽よりセナガル(Senegal)河口に至るまでの海岸地方に行はる。サハラ砂漠にてハ、バ

バー (Barber) 語あり、南亞弗利加にては「バンチエ」(Bantu) 語あり、其他「ブシユメン」人の間に存するものを「ホンテントット」語と云ふ。

(發見) ナイル河邊は、人文最も早く開けたる地方にして、紀元前四千年に建設せられたる碑石ありと雖ども、亞弗利加は現今尙著しく世に知られず、地圖上空地頗る多く、殆ど四分一は全く不分明なり、抑も亞弗利加大陸は、屢々東西に横断して探檢せられたりと雖ども、未だ曾て南北に貫行したるものあるを聞かず、左に掲ぐるものは、此大陸に於ける發見の時日を示したるものなり。

一、ディエプ (Dieppe) より出帆したる水夫等は、千三百六十四年ギニア海岸に於て「リットルディエプ」(Little Dieppe) を發見したり。

二、バルトロメウ・ディアス (Bartholomew Diaz) は、千四百八十七年ゼーロン (The Cape) を發見し、之を「カボ・トルメントス」(Cabo Tormentoso) (暴風岬) を名けたり。

三、ヴァスコ・ガマ (Vasco Gama) は、千四百九十七年及び九十八年に於て、前の岬を航廻し、東海岸に沿つて北緯二度迄に至れり。因りて葡萄牙王ジョアンは、之を名けて「喜望峯」とせり、蓋し印度に至る道を得たりと思考せしなり。

四、ジェームズ・ブライス (James Bruce) は、千七百七十年ナイルの水源を發見せり。

五、亞弗利加會は千七百八十八年に創立せられ、レディヤード・マンギン (Mungo Park) 其他のものを派遣して、ニセヘル河流域を探檢せしめたり。

六、宣教師モナツ (Mofra) は、始めて千八百四十年南亞弗利加探檢を爲せり。

七、ロビンソン・デイヴィソン (David Livingstone) は、千八百四十九年ニヤミ (Nyami) 湖に達し、千八百五十三年ザンベジ河口より大陸を横断し、千八百五十九年より六十年までにニアツサ湖及び其近傍の地方を探檢し、千八百七十一年スタンレー (Stanley) と共に、マニガローカ湖に達し、千八百七十三年ハンバ湖に近きイランに於て死去せり。

八、バートン (Burton) 及びスピアーズ (Speke) は、千八百五十八年タンガニカ湖を發見せり。

九、バーカー (Baker) は、千八百六十四年アルベルトニア湖を發見せり。

十、カメロン (Cameron) は、千八百七十四年より七十五年に彌り、東より西に熱帯亞弗利加を横行せり。

十一、スタンレーは、千八百七十七年内地よりユンゴ河口に達し、遂に始めてルアラバ (Lualaba) 及びコンゴ川一流なることを知りたり。

十二、トンプソン (Joseph Thompson) は、千八百八十四年マサイ (Masai) 地方よりピクトリアニア (Pictoria) まで直行したり。

(殖民地) 亞弗利加は各國の争うて、事業を企つる處にして、今歐洲八箇國は、各

其一部を領せり。即ち英國は、南方ケープコロニー (Cape Colony) を領し、西方數多の殖民地を有し、東方數多の海岸地方を保護し、埃及は彼の掌中に在り、佛蘭西はアルゼリヤ (Algeria) を領し、セネガル (Senegal) 佛蘭西領コンゴ及び其他の小殖民地を有す、獨逸は東西兩岸に土地を領し、尙愈々多きを望めり、葡萄牙はアンゴラ (Angola) 及びベンゲラ (Benguela) の舊領地を保ち、又東海岸に數多の地を有す、西班牙はキュータ (Ceuta) に於て狭小なる領地を有するのみ、伊太利はマッソン (Massowah) よりアッサン (Assab) に至る紅海沿岸を領し、尙トリポリ (Tripoli) を得んと欲せり、土耳其は埃及を領し、又フェザン (Fezzan) トリポリを有す、然れども其權威今漸々行はれず、白耳義國又亞弗利加に目を注げり、彼のコンゴ自由國の君は即ち白耳義王なりとす。

バルバリー諸國 (THE BARBARY STATES)

(緒説) バルバリー諸國とは、亞弗利加の北方、地中海に濱する四國の總稱にして、モロッコ、アルゼリヤ、チュニストリ、ポリ是なり。モロッコの主要なる地勢を作るものは、大アトラス山脈にして、小アトラス山は、モロッコを貫き、更にチュニス、アルゼリヤを走る。河流概ね小なり、氣候は高原及び北方斜面に於ては温和なれども、南方に於ては炎熱頗る甚だしとす。

一、モロッコ (MOROCCO)

(モロッコ) モロッコは、地中海濱諸國の最西に在るものにして、專制帝王の配下に立つ。其面積二十二万方哩あり、人口詳ならずれども、大約五百方なりと云ふ。國內之を三地方に分つを得べし、(一) テラ (Terra) (二) 地方即ち海岸より高地に至るまでの豊饒なる土地、(三) 山嶽地方、(三) サハラの砂漠地方、即ち獅子豹の居る處是なり、其豊饒な

る海岸地方は、主としてムーア人(Moors)之に住し、山岳地方はバーバー人(Barbers)之に住す、此人民は多くは實際獨立なりとす。

(物産及商業) 「テル」地方の面積は、凡そ八萬方哩許り、各種の植産物あり、玉蜀黍、棗、巴旦杏、橄欖、蠶豆、豌豆等多しとす、牛、玉蜀黍及び蠶豆は、此國の三大輸出物にして、英國は玉蜀黍及び蠶豆の最大なる需要者なり。

(都府) モロッコフェズ(Fez)及びメキネス(Meknes)の三都府、モガドール(Mogadore)及びタンジール(Tangier)の二海港あり、モロッコは首府にして、人口五萬あり。

一、アルゼリヤ(ALGERIA)

(アルゼリヤ) アルゼリヤは、佛の領地中最も大なるものにして、又最も重要なるものなり、西の方モロッコに接し、東の方チュニスはトリポリに接し、南は其境界明白に劃せられざるなり、此國はモロッコと同じく、之を三部に分つべし、(一)豊饒なる、テ

ル地方(二)アトラス高原地方(三)サハラ地方是なり、アトラスの南麓に沼澤多き平原あり、此平原は地中海面より低しとす、國の面積殆ど十八萬四千方哩あり、人口は四百萬に足らず、其中佛人は廿五萬なり。

(物産商業及交通) 「テル」地方の地味、頗る豊饒にして、能く濕ひ、各地の植物繁茂せり、小麦、橄欖、煙草、木綿、稻、ハ其主要なるものとす、其國四千五百萬、エークル以上は耕作地にして、其十六分の十五は、歐洲人の所有に屬せり、國の商業殆ど三分二は、佛國と行ふものにして、西班牙及び英國之に次ぐ、鐵道の長さ殆ど二千哩あり。

(都府) 人口二万以上の都府四あり、アルジェール(Algiers)、オラン(Oran)、コンスタンチン(Constantine)及びボン(Boone)是なり、アルジェール(七万五千)は即ち首府なり。

二、チュニス(TUNIS)

(チュニス) チュニスは、佛國の保護の下に立つものなり、人口殆ど二百萬あり。

國名は其首府の名より来る。輸出の重なるものを橄欖油、小麥と爲す。此國には鐵道の長さ殆ど三百哩あり。首府をチユニスと爲す。人口拾四万五千あり。

四、トリポリ (TRIPOLI)

(トリポリ附 フェザン) 此國は土耳其に屬す。人口殆ど百万あり。輸出の重なるものを駝鳥羽毛及小麥と爲す。フェザン (Fezzan) は寂莫荒涼なる砂漠にして、處々泉地あり。トリポリの首府をトリポリと爲す。

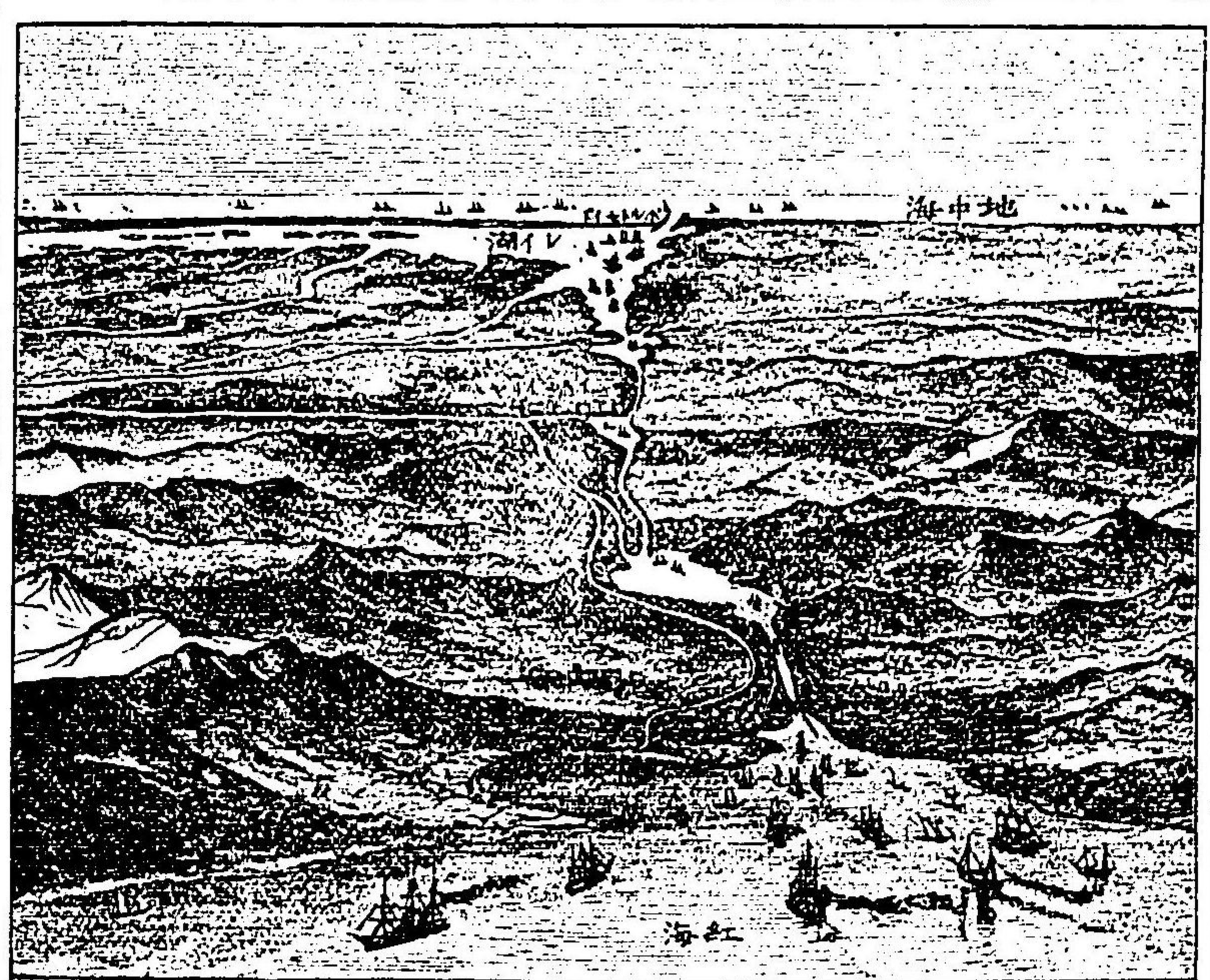
埃及 (EGYPT)

(埃及) 埃及はナイル河口及び其下流に沿へる國にして、南境をウエデーハ

ルファ (Wady Halfa) と爲す。北境は即ち地中海にして、砂漠は國の兩側に横はれり。西に在るものをリビヤン (Libyan) 砂漠となし、東に在るものをヌビアン (Nubian) 砂漠と爲す。國を大別して、上部埃及、下部埃及の二となす。前者は河谷にして、後者は低野なり。此低野は即ちナイルの三稜洲なりとす。國の面積殆ど四十万方哩なりと稱すれども、實際人民の住居すべき處十一万方哩に過ぎず。人口凡そ七百万なり。

(商業上の地位) 埃及の位置たる、世界の二大商業路、即ち亞細亞、亞弗利加間の陸路、及太西洋、地中海、印度洋間の水路、交叉する處にあり。加之千八百六十九年、蘇士運河開通以來、埃及は亞米利加、濠州間の中央に在りて、商業上大に好地位を占む。蓋し世界各國の大商業路は、方今蘇士運河に在ればなり。

(物産商業及交通) 三稜洲に於ても、猶降雨稀にして、殊に上部埃及に於ては、數年間一雨を見ざることありと雖も、ナイル河ありて、土地を豐饒ならしめ、灌溉の爲めに十分なる水と與ふるを以て、往古より農業は埃及人の重なる職業なりき。輸出品の主要なるものを綿花砂糖及び蠶豆と爲す。英國は全輸出物の殆ど一半を買ひ、之に對して木綿石炭等を送る。埃及の鐵道單線延長千三百哩あり。然れどもナイル



蘇士運河

河及び六百哩の運河は商業及び旅行の水路として、人民に利益を與ふると莫大なりとす。蘇士運河は世界商業の關係する處なれば、諸大國皆運河の自由を防護せり。

一、鐵路及大道に沿うて、電線あり、年近アレキサンドリヤより、赤道近傍まで、電線架設せられたりと聞く。

二、蘇士運河は、佛國の大土木師レセツプ (Lesseppe) 氏の計畫に成れるものにして、千八百五十九年に着手せられ、千八百六十九年に竣工したなり。ポルトセイドより蘇士港まで、其長さ百哩あり。毎年英の船航此運河を通過するもの、三千艘に及ぶ。此運河通行錢

の收入、萬一年に三百萬磅なりと云ふ。

(都府) 埃及にカイロー (Cairo) 及アレキサンドリヤ (Alexandria) の二大都府あり、其他の小都府を擧ぐれば、ダミアタ (Damietta)、ザンヂン (Zagazig)、ロセッタ (Rosetta)、ポトセイド (Port Said) 及蘇士 (Suez) 等あり。

カイロー (人口三十七萬五千) は首府にして、ナイル河の右岸に立つ。亞弗利加第一の大會にして、各種の人民此に住し、其市場は各國の物産輻湊せり。此府は、又亞拉比亞文學の中心なりとす。河の左岸にギゼー (Gizeh) 府あり、カイローと相對す、最大なる金字塔三箇、此近傍に屹峙せり。

ヌビア及東方蘇丹 (NUBIA AND THE EASTERN SOUDAN)

(ヌビア) 此地方、ハウエデーハル、ヌアト、北緯十度に至り、上ナイル河邊の地方とリビアン砂漠及紅海間の地方とを含有す。北緯十度より、アルベルトニアンザ湖に

至る地方ハ、總稱して埃及蘇丹といふ。然れども、マーデー(偽聖)の反逆より、埃及は終に此地方の支配權を失ふに至れり。

(物産商業及交通) 麥木綿藍煙草及數種の護謨等、ヌビヤ(Nubia)及び東方蘇丹に産す。然れども最も價格あるものは象牙となす。隊商は此象牙及び其他の諸物品を運搬して、カイロー或ハ紅海濱のヌアキム(Suakin)等に行く。

(都府) 重要な都府をカーツーム(Khartoum)ケンナー(Genar)ヌアキム、マンバール(Barber)エネオベード(Elobelid)等とす。

アブシニヤ (ABYSSINIA)

(アブシニヤ) アブシニヤン、ヌビヤの東南に隣り、山岳最も多き國にして、往々亞弗利加の瑞西と稱せらる。其國は頗る高き原野にして、平均七千呎の高さを有し、處々島嶼の如く分割せられ、豁谷低窪之が分界となり、其深さ四千呎に達せり。此高

多の山脈或は孤山あり、皆積山にして、恰も塔或は柱の如き觀あり。國の西方に長き斜面あり、東方の斜面は短く、急下せり。人口殆ど三百万、方今重なる種族は、ガラ人(Gallas)にして、アブシニヤの南方より來れるものなり。

(物産及商業) アブシニヤは頗る豊饒なる國にして、處によりては一年三度の收穫ありと云ふ。木綿砂糖及び珈琲は、其主要なる産物なり、外國貿易なし。

(都府) 都府の數少し、有名なるものをゴンダー(Gondar)サマラ(Samara)及びマダラ(Magdala)とす。

蘇丹 (SUDAN)

(蘇丹) サハラの南に横はり、大西洋岸よりアブシニヤに至る處を、蘇丹と稱す。其人民一部は黑人にして、一部はフォラ(Folala)或はフェラタ(Folatah)と稱する混合種族なり。此フォラ人は、熱帯地方人種中の最も標悍なるものなり。ムーア人の

子孫にして、回教を奉ず。黒人は蕃奴徒にして、種々の物体を禮拜するものなり。各州に専制君主あり、人民は農業牧畜に従事せり。蘇丹を別て上部下部の二とす。

西部亞弗利加

(西部亞弗利加) サハラの南端より南緯十八度フリオ(Cape Rio)岬の間に在る地方を西部亞弗利加と曰ひ其中にセネガンビヤ(Senegambia)上下の兩ギニア(Guinea)を含む。海岸は低原長く連り、内地は高土なりとす。英佛葡獨白諸國皆此海岸に於て、貿易場を設け、尙進んで其驥足を内地に展べんとせり。此海岸に於ける貿易の、主として象牙砂金駝鳥の羽毛椰子油及び鹽漠とす。左に掲ぐるものは、各國主要の貿易場なりとす。

- 一、佛蘭西 セントルイス (St. Louis) 及び ゴロー (Goree)
- 二、英領 バニビヤ マサート (Bathurst) 及び ジョージタウン (George Town)

- 三、英國 シエラレオン (Sierra Leone)
- 四、米國 リベリア (Liberia)
- 五、英國 ゴールドコースト (Gold Coast)
- 六、葡國 カメルーン海岸 (Cameroun Coast)
- 七、西班牙 フェルナンド (Fernando)
- 八、佛蘭西 ガブーン (Gaboon) 及び オゴニ (Ogoni) 兩河邊の保護國
- 九、萬國亞弗利加會 コンゴ自由國 (Congo Free State) 此は萬國亞弗利加會の下に立ち、白耳義王之が主あり。其國はコンゴの大流域全部を包含す。コンゴ河はスタンレー (Stanley) 湖及びスタンレー (Stanley Pool) の間凡そ千哩舟航するを得べし。現今貿易場、合して廿七あり。其國頗る富饒、人口二千七百萬あり。道路修築の運に向ひ、鐵道の開通も近きに在らん。コンゴ河及び國內の道路は、各國自由に貿易の爲に用ふることを得べし。現時輸出は主として椰子油、鹽、象牙胡椒等にして、輸入は木綿、銃、火藥、酒精及び煙草等なり。
- 十、葡國 コンゴ アンゴラ モザンビーク (Louanda) ベンギエラ (Benguela) 等
- 十一、葡國 フリオ 岬 オレンジ (Orange) 河口に至る海岸(但し英領 マプタイン シエラを除く)

東部亞弗利加

(東海岸) 東海岸は西海岸に同じく、低原長く連り、背後に高原聳え、河流之を貫いて海に入る、皆小なり、其氣候、平原に於ては酷熱にして、健康に害あり、高原に在りては、頗る温和なり、ガードフイ (Guardafui) 岬より デルガド (Delgado) 岬に至る間、獨逸人の威力行はれ、デルガド 岬より デラゴア (Delagoa) 灣に至る間、葡萄牙人の威力行はる、地方の貿易品は、砂金象牙駝鳥の羽毛等なり、左に主要の區劃を掲ぐ。

一、獨逸保護國 アヒヤン (Ajan) 海岸

二、ザンビヒー (Zanzibar) 幅僅かに十哩なる長海岸にして、獨逸人の勢此地に盛なり。首府を ザンビヒー (Zanzibar) と爲す、全名の島に在り。輸出品の主要なるものを、象牙及び樹膠と爲す。

三、葡萄牙 デルガド 岬より デラゴア 灣に至る海岸、長さ千哩餘、幅平均八十哩あり。此地

方は九州に分つ。其最も有名なるものを ソフアラ (Sofala) 及び モザンビーク (Mozambique) と爲す、貿易品は主として象牙、護膜及び獸皮類なりとす。

南部亞弗利加

(南部亞弗利加) 此地方は南緯廿二度より三十二度の間に横はり、英人及び和蘭人之を有す、主要なる英國殖民地、二あり、ケープコロニー 及び ナタール (Natal) 是なり、獨立の和蘭共和國三あり、南亞弗利加共和國 オレンジ自由國 (Orange Free State) 及び 新共和國 是なり。

ケープコロニー (CAPE COLONY)

(ケープコロニー) 此地は北方 オレンジ (Orange) 河に界し、東北 ナタール (Natal) 及

の殖民地に接し、其他は太西洋南太洋印度洋に臨む。面積凡そ二十三萬二千方哩、人口殆ど百廿五万あり。

(地勢) 此國はオレンジ流域の南半部と、太西洋南太洋印度洋に注ぐ、無數の河川流域の全部とより成る。故に斜面二を有し、北に向ふものは長く、西に向ふものは稍々短し、國中第一の高山を雪山と爲す、高さ八千五百呎あり、氣候は夏頗る熱く、乾燥なり、されど健康を害せず。

(海岸) 海岸は規則正しく、長さ千三百哩余あり、西岸は低く砂地なり、南岸は概して、險峻にして岩石より成る。岬角の主要なるものを喜望峯及びアガルハム(Agulhas)岬と爲す、アガルハム岬は、亞弗利加の最南點なり、江灣の主要なるものを、西に在ては、セントヘレナ(St. Helena)、サントマン(Saldanha)及びテーブル(Table)諸灣と爲し、南に在ては、フォールズ(Falls)灣及びアルゴア(Algoa)灣と爲す。

(人民) 住民多くは、亞弗利加人種にして「カファア」及び「ホッテントット」の二種とす、白人種は百分の三十に過ぎず。

(物産商業及交通) 内地の高原は牧畜に適し、牧羊は實に最も重要な産業

なりとす。金剛石を除けば、羊毛は此國の貿易品中最も價值ある物品にして、其價格は、殆ど他輸出物價格の合計と同じ、之に次で重要なる輸出物を、駝鳥の羽毛、獸皮類、銅礦及び羊毛と爲す。人民居住地に在ては、道路頗る好きも、高地に至れば皆小條路に過ぎず、鐵道の延長、凡そ千八百哩あり、電線五千哩に達す。

(都府) 此殖民地には繁盛なる小都府數多あり、其人口二万以上を有するもの三ヶインタウン(Cape Town)、キンバリー(Kimberley)及びポートエリザベス(Port Elizabeth)是なり、其他重要なものを擧ぐれば、グラハムスタウン(Graham's Town)、イーストロンドン(East London)等なり、海港の重なるものは、ケープタウン、ポートエリザベス及びイーストロンドンなり。

(保護諸州) 方今英國保護の下に在る諸州は、ベチアナランド(Bechuanaland)、ボンドランド(Bondo Land)、バストランド(Basuto Land)なり、ゾールランド(Zulu Land)の一部亦然り。

(ナタル) ナタル殖民地は南境にウムタムナ(Umtatfuna)河あり、北ツゲラ(Tugela)河を以てゾールランドと接す、ドラケンベルグ(Drakenberg)山西境に接し、印度

洋東方に横はる、人口五十五万、内四万は白人種なり、地味は頗る豊饒なり、産業の重なるものを牧羊と爲す、氣候ケープコロニーより熱きを以て、砂糖亦多量に産し、其輸出大なり、羊毛、獸皮、羽毛及象牙等は、南亞弗利加共和國及びオレンジ自由國等の内地諸州より輸入せらる。首府をピーターマリッツブルグ (Pietermaritzburg) 一万六千と爲し、海港をダールバン (Durban) 二萬五千と爲す。

(オレンジ自由國) オレンジ國はバル (Val) 河、オレンジ河及びカレド (Caledon) 河の間に在る小國にして、人口十五万、其中六万余は、和蘭農夫なり、重なる産業を牧羊と爲す、羊毛は輸出品の重要なものなり、駱鳥飼養も亦利益ある職業なりとす、輸出品は、羊毛、駱鳥の羽毛、金剛石、及び獸皮にして、多くはボートエリサベスに向けて積送るものなり、又炭田に富み、金を産す、首府をブロームフランドイン (Bloemfontein) と云ふ、電線によりてケープコロニー及びナタルと相連絡す。

(南亞弗利加共和國) 此國はリンポポ (Limpopo) 河及びバル河の間に横はれる大國にして、其名は獨立國なれども、實際は英國女王の命令を奉せり、人口三十六万、其中白人種六万にして、白人種の中和蘭人四万五千なりとす、地味氣候共に農

業牧畜に適せり、此國金を産すること頗る多く、又最良の石炭、多量の鉄を出す、方今國の東邊に鉄道開通せり、最も大なる都府をバーバートン (Barboston) 人口七千と爲す、政府の在る處をプレートリヤ (Pretoria) 五千と云ふ、電線の長さ五百哩ナタルに達せり。

(新共和國) 本國政府に不満を抱ける和蘭農夫相集りて、千八百八十四年ツール地方に、一の自由國を建設せり、此即ちこの共和國なり、首府をフリハイド (Vryheid) と曰ふ。

(ツールランド) 此國はツゲラ (Tugela) 河とセントルシヤ (St. Lucia) 海の間に在り、其人民は勇悍なる武人にして、嘗てセチウエヨ (Cetywayo) の指揮の下に立ちて千八百七十九年ナタルを攻め、イサンツラ (Isandula) に於て英軍を破れり、次にロークスドリフト (Rokés Drift) に於て、大戦争を爲し、ツール軍終に大敗し、國は分裂して各所に「ツール」の酋長を戴き、民皆農業牧畜を勉むるに至れり。

亞弗利加の諸島嶼

(緒説) 亞弗利加海岸の周圍に横はれる島嶼は、皆大陸と地理上の關係甚だ少く、或は全く無きものあり、又此等諸島嶼は商業上の交通殆ど無しと謂ふも可なり、而して島嶼多くは歐洲諸國に隸屬す、大西洋に在るものは、皆火山的性質のものなり。

一、西班牙領 カナリー (Canary) 諸島、フェルナンデス、アノボイ、及びアヌンシオン (Ananbon)

二、葡萄牙領 アゾール (Azores) 諸島、マデイラ (Madeira)、ターニヤ、諸島、プリンセス (Princes) 島及びセント・トーマス (St. Thomas)

三、英領 アセンション (Ascension)、セント・ヘレナ、モーリシャス (Mauritius)、ロドリゲス (Rodriguez)、アモランテ (Amirante) 諸島、及びソコトラ (Socotra) 等

四、佛蘭西領 ボルボン (Bourbon) 島及びマダガスカル (Madagascar) の海岸に於けるニニの地方。

五、獨立 イササ、サカロー、コモロ 諸島 (Comoros)

(カナリー諸島) カナリー諸島は北緯十五度に在り、亞弗利加を去る遠からず、最大なるものをテネリフ (Tenerife) 島となし、グランドカナリー島之に次ぐ、最も西に在るものをフェロ (Ferro) 島と爲す。

(アゾリア諸島) アゾリア火山的諸島は、亞弗利加島嶼の極西に在るものにして、全島九あり、セント・ミケル (St. Michel) 島及びフェイタル (Fayal) 島最も著はる。

(マデイラ) 氣候温和、土地豊饒なり、全島山岳より成る、低地に在ては、椰子及び甘蔗を産し、高地に於ては、南方歐洲の菓實及び常盤木を見る、首府をフンシヤル (Funchal) と爲す、大西洋航海の汽船此に碇泊す。

(ケープベルド諸島) 此諸島は、ヘルド岬の西に横はる、最も大にして、地味最も肥沃なるものをサンチアゴ (Santiago) と爲す、セント・ビンセント (St. Vincent) は良港を有し、各國人の往來繁し。

(アッセンション及びセント・ヘレナ) アッセンションは海中より突出せる火山岩の一塊にして、高さ三千呎あり、セント・ヘレナは、アッセンションを去る東南八百哩にあり、首府をジェームスタウン (James Town) と爲す。

(モーリシアス) モーリシアスは熱帯に在る島嶼にして、風景絶佳なるを以て著名なり、多量の砂糖を産す、首府はポルトルイ (Port Louis) なり。

(ボルボン) ボルボン島に二大火山あり、首府をセント・デニス (St. Denis) とす、主要

なる輸出品は珈琲砂糖及び香料なり。

(マダガスカー) 亞弗利加島嶼の最大なるものにして、長さ殆ど千哩あり、全島山岳重疊し、五大山脈南北に走る、其最も高さもの九千呎に達せり、東側は印度洋に面し、東南貿易風を受くるを以て、降雨最も多く、隨て土地頗る肥沃なり、住民の中最も多智にして、勢力を振へるものを「ホーバ」人種 (Hova) とす、全島の人口三百五十万あり、其政体は專制王國なりとす、人民専ら牧畜農業を勉め、其森林は良材に富む、輸出品の主要なるものを、家畜護謨獸皮珈琲砂糖等とす、首府をアンタナリボ (Antananarivo) 人口十万と曰ふ、島の中央に在り、東海岸の要港をタマレーブ (Tamatave) と曰ひ、現今佛蘭西に屬す。

第四篇 新世界

(亞米利加即ち新世界) 此大陸は、太平太西兩大洋の間に横はり、南北九千哩余に亘れり、其幅は之に比して非常に狭し、新世界と舊世界との間には、著しき差異あり、因て先づ其差異を査すへし。

亞米利加

- 一、南北長し。
- 二、最長山脈は、北より南に亘る。
- 三、大なる平原の大陸あり。
- 四、亞米利加の平原は、海に瀕し、海風を受く。
- 五、亞米利加には大なる砂漠なし。
- 六、亞米利加は、兩半球に横はる。
- 七、亞米利加は、四帯を貫けり。
- 八、亞米利加は、前途有望なる土地なり。

(廣袤) 亞米利加の面積は、千六百五十万平方哩にして、歐羅巴亞弗利加を合せし

歐亞

- 一、東西長し。
- 二、重なる山脈は、西より東に亘る。
- 三、大なる高原の大陸あり。
- 四、歐亞の高原は、海の影響を受けず。
- 五、歐亞には、地球上(亞弗利加を除き)最大なる砂漠あり。
- 六、歐亞は、北半球に限る。
- 七、歐亞は、大南北温帯に在り。
- 八、歐亞は、過去完全なる土地あり。

よりも大なり。而して北大陸は、大凡九百萬方哩、南大陸は殆ど七百萬方哩なり。

一、最も著しき幅は次の如し。

(イ) 北緯四十五度にては、三千一百哩。

(ロ) 南緯五度にては、三千二百哩。

(ハ) パナマにては、二十八哩。

二、亞米利加は、其大さ歐羅巴の四倍、濠洲の五倍、亞弗利加の一倍三分の一あり、然れども亞細亞より小なり。

北亞米利加總論

(緒説) 北亞米利加とは新世界の北部を稱し、パナマ(Panama)の地峽に由りて、南亞米利加に連續せり。今南北亞米利加の形質上相類似する點を擧ぐれば、左の如し。

北亞米利加

一、北亞米利加は、不規則なる三角形を爲せり。

二、其西岸に、火山の高脈あり。

三、其東岸に、平行して、低山脉あり。

四、北極洋より、墨西哥灣まで、大陸の中部は、大なる平原なり。

五、セントローレンス河(Saint Lawrence)は、西より

東に流れ、ミシシッピ河(Mississippi)は、北より南に流る。

南亞米利加

一、南亞米利加は、正三角形を爲せり。

二、北米と同し。

三、北米に同じ。

四、カリビヤン海(Caribbean Sea)よりラプラタ(Laplatas)河まで、大陸の中部は、大なる平原なり。

五、アマゾン河(Amazon)は、西より東に流れ、ラプラタは北より南に流る。

(形状及廣袤) 北亞米利加は、三角形にして、其面積八百六十万方哩、亞細亞の面

積の二分一より小なり。此大陸の最も長き所、四千五百哩なりとす。

(組織) 北亞米利加の組織は、至て簡單なり、西は高山脈連亘せる高地にして、東には海岸と平行せる低山脈あり、而して其間には大なる平原ありて、北極洋より墨西哥灣まで擴がる。

(海岸線) 北亞米利加の海岸線は、二万四千五百哩、港灣は東岸に多く、西岸に少し、

一、右に依れば、面積三百五十万哩に付、海岸一哩なり。

二、歐羅巴の海岸線は、北亞米利加に二倍す。亞弗利加は北亞米利加の半に及ばず。

(港灣) 東岸には大なる港灣あり、バツピン (Bath) 灣、ハドソン (Hudson) 灣、セントローレンス (St. Lawrence) 灣、ペンタニー (Purdy) 灣、墨西哥 (Mexico) 灣、及びカリビヤン (Caribbean) 海是なり、西岸にて重なるものは、カリフォルニア (California) 灣、ニシラ、北岸にはブーシヤ (Boothia) 灣あり。

(海峡) 北米の海峡の重なるものは、ハドソン (Davis) バーロー (Barrow) 及びベーリング (Behring) の諸海峡なり。

(半島及び岬) 東岸には、ラブラドル (Labrador) ノバスコシヤ (Nova Scotia) フロリダ

(Florida) 及びユカタン (Yucatan) の四大半島あり、西岸にはアラスカ (Alaska) 及び下カリフォルニア (Lower California) の二半島あり、肝要なる岬ハ、東岸に在り、レース (Race) 岬 (ニューfoundランド) セーブル (Sable) 岬、ノバスコチヤ (Nova Scotia) ゴッド (God) 岬、マサチューセツ (Massachusetts) ハッタラ (Hatteras) 岬、北コロリナ 及びセーブル (Sable) 岬 (フロリダ) 是あり。

(地峽) 地峽の最も有名なるものを、パナマの地峽とし、之に次ぐものを、テファンテン (Tehuantepec) の地峽とす。

パナマの地峽は幅最も狭き所、殆ど三十哩なり。有名なる佛國の土木師レセップ氏、此地地峽を開鑿し、以て南米全体を回航するの迂を避けんと企てり。此開鑿は、即ち西世界商業の維新事業と謂ふ可し。かの蘇士の地峽を開鑿し、亞弗利加大陸を回航するの煩を除き、印度洋航海期を短縮せし人は、實にこのレセップ氏なり。

(嶋嶼) 北米の東岸に沿うて數多の肝要なる島嶼あり、アンチユスチ (Anticosti) プリンスエドワード (Prince Edward) ニューfoundランド (Newfoundland) バーミューダ (Bermudas) 諸島、及び西印度諸島 (West Indies) 是なり、大陸の北方には、廣大なる群島あり、其中最大なる島は、グリーンランド (Greenland) なり、又大陸の西方にて、最要の島は、バンクバー

(Vancouver) なり。

(高地) 北米大陸の西部は、一の大なる高原なり。中央亞米利加を貫ける有名なる山脈は、テフワントベックの地峡にて二分し、各其名を異にして、殆ど北極洋まで走る。両山脈の間には廣大なる高地あり、其中最高の處は、墨西哥の高原にして、海面の上殆ど九千呎あり。

(山嶽) 北米には二大山系あり、即ちアツパラチヤン(Apalachian)山系及びコルヂレラ(Cordillera)山系是なり。アツパラチヤン山系にて、最要の山脈は、アレガニー(Aleghany)にして、コルヂレラ山系にて重なる山脈は、ロッキーマウンテン(Rocky)なり。

(平原) 北米の組織にて、最も著しき形状は、中央の大平原にして、北極洋より墨西哥灣に擴かり、ロッキーマウンテン連山とアツパラチヤン山系との間に横はる。この平原の一半は、ハドソン灣及び北極洋に傾き、他半は墨西哥灣に傾けり。

(河流) 北米の四大河は、ヨシシッピ河マッケンジー河セントローレンス河及びサスカチエワン河(Saskatchewan)にして、共に中央の平原にあり。ヨシシッピ河は南に、マッケンジー河は北に、セントローレンス河及びサスカチエワン河は東に流る太

平洋に注ぐ二大河は、ユコン(Yucon)河及びコロムビア(Columbia)河なり。

(湖水) 北米には、世界の最大湖水數多あるを以て、是を湖沼大陸と稱するものあり。此等の湖は、三大河系、即ちマッケンジー、サスカチエワン、及びセントローレンスに屬せり。其數無慮數百にして、最も肝要なる湖は、グレートベア湖(Great Bear)グレートスレーブ湖(Great Slave)アサバスカ湖(Athabasca)ウイニペグ湖(Winnipeg) スウヘララル湖(Superior) ミシガン湖(Michigan) エリー湖(Erie) 及びオンタリオ湖(Ontario) 是なり。後五者は、之を五大湖と稱し、セントローレンス河の一部を爲せり。五大湖の面積を合すれば、九万方哩餘にして、即ち大貌利頓の面積より大なりとす。而して五大湖の中全く合衆國の中に入るものは、獨りミシガン湖のみにして、他は皆合衆國と加奈陀との間に在り。

(氣候) 北米は北緯八十度より全十度に横はる。寒帯より熱帯に至るまで、各階級の氣候を有せり。

一、全緯度の上にて、北米の氣候は、歐洲より寒し。

二、北米の中過半の地方は、大陸的の氣候を有せり。即ち冬時は非常に寒く、夏時は非常に

熱し。

三、温度の變化は極めて急激なり。

四、温帯の中に於て、西岸は東岸より暖なり。

五、降雨は南に多くして、北に赴くに従ひ減少し、又西に多くして東に赴くに従ひ減少す。

(植物) 北米の草木は、其數夥しく、其種類も亦多し。北極地方には、莓苔及び矮樹あり、中央亞米利加の熱帶地方には椰子及竹あり、温帯地方にては、樹木の夥多なる歐亞の森林地方に過ぐ、農産物にては、北地は裸麥大麥等多く、玉蜀黍は加奈陀の暖地方及び大陸の南部に生じ、甘蔗煙草木綿は合衆國の南部にて之を耕し、米穀は南方に生ず、其他半熱帶地方の菓物林擒無花菓及レモンは南方暖地に多し。

(動物) 北米の動物は其數多く、其種類亦夥し、但し北米に於ては、舊世界の如く禽鳥羽蟲等に富めりと雖も、哺乳獸は至つて少し、水牛「カリブー」(歐の馴鹿に對するもの)麋、熊、海豹、海狸等は北方に在り、北米には、唯一の有袋獸あり、之を袋鼠と名く、猿猴は熱帶地方にのみ住せり、禽鳥は頗る多くして、亞米利加特有のものは蜂雀なり、其他羽毛の麗なると音聲の美なるを以て有名なるもの數多し、響尾蛇は最も

危険なる爬蟲なり。

(礦物) 礦物の豊富と多種とに關しては、何れの大陸も北米に及ぶものなし、世界最大の炭坑は、合衆國に在り、鐵は夥しく、金銀も亦之に劣らず、最良の銅はスウェーデン湖の北東岸に多く、鉛水銀は北米の所々にあり、加奈陀并に墨西哥にては、錫を産出す。

合衆國に在る炭田の面積は、十九万方哩にして、殆ど歐洲の全炭田の二十倍に當れり。アレガニー山の西側に在るアツパチヤン炭田の面積は、七万方哩にして、愛蘭の面積二倍以上に及ぶ。ミッソッリ河邊の炭田は、合衆國中最も大にして、殆ど八万五千方哩を蔽ふ。北カナダにも石炭許多あり。

(人民) 北米現在の住民は、殆ど八千万にして、其内六千万は、白人種なり、其他は、黑人亞米利加印甸人、及び混合種族なりとす。

(沿革) 北米は、千四百九十二年クリストフワール・コロンブス(Christopher Columbus)の發見に係る、然れども、コロンブスは、千四百九十八年大陸を見たりしのみ、西班牙人は、始めて其國を征服せんと、考を抱き、墨西哥及び二三の西印度諸島を奪へり、佛

人は千五百三十四年に來り、堡砦を建て、殖民地を作れり、次に英人來り、漸次佛人を逐ひ、千七百七十六年英國々王の管轄を脱し、獨立せりと公告したり、元來の殖民地は、其數十三にして、合衆國と稱せる聯邦を成せり、墨西哥は、千八百三十年西班牙の羈絆を脱したり、北米に於ては、今や英語を用ふる人民と西班牙語を用ふる人民との住する處多きに居る。

(區劃) 北米の區劃ハ、次の如し、丁抹領亞米利加、英領北亞米利加、合衆國、墨西哥、中亞亞利加共和國、英領ホンデラス (Honduras)、西印度共和國、西班牙領西印度、英領西印度、和蘭領西印度、佛領西印度、是なり。

グリーンランド (GREENLAND)

(グリーンランド) グリーンランドハ、蓋し群島にして、氷雪を以て蔽はれ之か爲め互に相連結せらるゝものなるべし、此地方にては、廣大なる氷田、徐々にアイスランドに墮落し、海上に突出し、破碎して氷塊となり、水中に漂流す、此國西岸に、二三の殖民地あるのみ。

(人民) 住民主として、エスキモー (Esquimaux) 種族にして、丁抹政府の下に立つ、海豹及鯨魚の捕獲を業とし、或は少量の大麥及び馬鈴薯を産出す。

グリーンランドの西方ナレス (Nares) 海あり、千八百七十六年船長ナレスは、北緯八十三度廿分に達し、合衆國海軍副提督グリーリー (Greely) ハ、千八百八十三年八十三度廿四分に達せり、これ古來北極に最も近く達したるものとす。

英領北亞米利加

(緒説) 世人は一般に英領北亞米利加を以て、氷雪の荒地にして、唯僅少なる小麥の産地處々に散在し、北方の境界には、無數の大森林ありと思意すれども、これ頗る誤りたる想像に過ぎず、抑も加奈陀は、各種の氣候を有し、又各地方の交通頗る完全に達したる處にして、其富及び文明は、非常の速力を以て進歩し、將來の繁榮實に測るべからざるものあるなり、英領北亞米利加は、全大陸の三分一以上を占め、加奈陀(Canada)及びニューファンドランドより成る、加奈陀は、オンタリオクエベック(Quebec)ノ
 パヌコシヤニューブロンズウィック(New Brunswick) マニトバ(Manitoba) 英領コロロンビヤ(British Columbia) プリンセスエドワード島及び西北地方より成る。

(境界) 英領北亞米利加の境界左の如し。

一、北 北氷洋 二、東 大西洋

三、南 合衆國 四、西 太平洋及びアラスカ(Alaska)

(廣袤) 加奈陀の面積三百五十万方哩余あり、殆ど歐州全土と同じ。

(組織) コルデレラ山脈をロッキーマウンテンとの間に在る高地、ロッキーマウンテンの東斜面なる低き臺地、マッケンジー河の長き流域、湖沼處々に散在せり、ハドソン灣の周圍

なる廣漠の低地、ハドソン灣に注ぐ水流とセントローレンス河に注ぐ水流との分水界を爲せる高地、セントローレンスの流域の大半、以上數者は、實に加奈陀の大國を組織する要素なりとす。

(山嶽河流及び湖水) 主要の山脈をロッキーマウンテンと爲す、其最も高さ所は、英領コロロンビヤに在り、河流の重なるものには、セントローレンスマッケンジーフレ
 ーザー(Fraser) 紅河及びサスカチワンあり、湖水の大なるものには、スウペリオルヒ
 ユーロンエリーフアンタリオウイニペグマニトバ及グレートペーヤあり。

(氣候) 加奈陀はアーカンゼル(Archangel)より佛國南部に至るまで、歐洲に於る各種の氣候を有す、唯異なる所は、夏時之より炎熱にして、冬時之より寒冷なること、及び四季之より乾燥なること、なり。

(産物) 材木及び穀類を主要の産物と爲す、又頗る礦物に富む、然れども採掘せらるゝもの尙甚た少し、其海岸にては、大口魚及び鮭の漁業、頗る大なり、西北地方に於ては、毛皮を得ること夥しく、皆之を英國に輸出す。

(産業) 加奈陀の産業中、最も必要なるものを農業及林業と爲す、製造業の如きは

尙幼稚なるを死れず、然れども人口及富の増加するに従ひ、進歩發達すること疑なしとす。

(商業) 商業は漸次進歩の勢なり、合衆國及英國は、此國と大なる取引を行ふものにして、輸入の大半は、合衆國より來り、輸出の大半は、英國に送る。輸入品の主要なるものを、羊毛製鐵製鋼石炭麵粉木綿茶珈琲等と爲し、輸出品は、材木最も多く、乾酪小麦家畜及び魚類之に次ぐ。

(人口) 加奈陀の人口現今五百万あり、平均一方哩僅に一人半に當る。人口の五分四はセントローレンス河邊に住す、住民多くは英人蘇人の子孫にして、英語を用ふ、然れども、クエベック州に於ては、佛人の子孫甚だ多く、皆佛語を用ふ。

(交通) 地球上、加奈陀の如く、大に水利を有する國は、あらざるなり、蓋し其河湖に由りて、セントローレンス河口より、大陸の中央を貫いて、直にマツケンジー河口に至るを得べし、加之加奈陀には、鐵道ありて、長さ一万三千哩以上に及べり、其最も長きものは加奈陀太平洋線路にして、太平太西兩洋を連絡し、龍動及び日本其他東洋諸國との間九百二十五哩の距離を減少せしめたり。

(政体) 此國の議會は、聯合首府なるオッタワ(Ottawa)に開かる、各州又各其議會を有す、國の總督は女王の代表者なりとす。

(區劃) 左に掲ぐるものは、加奈陀の諸州と其都府なり。

- 一、クエベック州 クエベック (Montreal)
- 二、オンタリオ州 オタワ (Toronto) キングストン (Kingston)
- 三、ニューブランズウィック州 フレデリクトン (Frederickton) セントジョン (St. John)
- 四、ノバスコシア州 ハリファクス (Halifax) シドニー (Sidney)
- 五、プリンスエドワード島 シャーロタトウン (Charlottetown)
- 六、英領コロンビヤ ビクトリア (Victoria)
- 七、イリノイ州 サッペン (Sappin)
- 八、キローチン州 チャーチル (Churchill) フォートヨーク (Fort York)
- 九、アシントワ州 (Assiniboia) レギナ (Regina) フォートパリー (Fort Pelly)
- 十、サスカチエワン カーレトン (Carleton)
- 十一、アルバータ (Alberta) カルガリー (Calgary)
- 十二、ブリティッシュ ドゥネガン (Dunegan)

(大都府) 加奈陀に於ては、農業専ら行はるゝを以て、人民全國に散在せり。故に此國には、概して大都府無く、其人口五万以上を有するもの、僅に四にして、其中拾万以上のものは、モントリール及びトロントの二に過ぎず。クエベック、ハミルトン及びハリファックス之に次ぎ、オタワ、セントジョン、ロンドン及びウニペグ又之に次ぐ。

(ニューファンドランド) 此島の大さは、愛爾蘭の一倍三分一にして、其海岸は凸凹頗る甚し。此島は、亞米利加に於て、最も歐州に近く、其レース(Cape Race)岬より愛爾蘭のクリア(Cape Clear)岬に至るまで、千六百五十哩に過ぎずとす。沃野頗る多く、良材を産し、又銅石炭其他の礦物に富む。人民専ら漁業に従事す。主要の都府をセントジョンズ(St. Johns)人口三万五千と爲す。東海岸に在り。此島は自ら一の殖民地にして、加奈陀の部に非ざるなり。

合衆國

(緒説) 北米合衆國は、商業及び學術上の進歩最も著しき國にして、千七百七十六年其獨立を得たりし以來、其富、農業、鑛業及び製造業の富の發達實に比類を見ず。人口の増加亦頗る大にして、百年前に在ては僅に三百萬に過ぎざりしも、現今七千萬あり、現世紀の末に至らば、當に一億となるべきなり。

(境界) 合衆國は太西太平洋兩洋の間に横はり、加奈陀及び墨西哥の間に介在す。其境界左の如し。

- 一、北 加奈陀、大湖、セントローレンスの一部
- 二、東 大西洋
- 三、南 墨西哥灣及び墨西哥
- 四、西 太平洋

(廣袤) 總面積三百五十五萬七千方哩にして、殆ど歐洲に全し。東西最も長き所二千八百哩、南北最も廣き所千七百哩あり。

(海岸線) 合衆國の海岸線は概して、正整にして、兩岸共に深き出入なし。

(組織) 合衆國は四大地方より成る。東方大西洋高地及斜面、中央沿水地方、西方廣原、太平洋斜面是なり。

一、大西洋部はアパラチヤンの山脊及高地を、大西洋に面する斜面を、より成る。此地方に

て、最高の峯を白山、綠山、藍山、及びアレガニー山脈とす。太西洋部は、大製造地方なり。

二、中央沿水地方は、ミシシッピに沿へる廣大なる部分にして、徐々に墨西哥灣に下る、登陸にして、農業盛なる地方とす。

三、四方高原(平均五千呎)は、ロッキーマウンテン(Stieria Nevada)及びカスケード(Oreande)山脈との間に横はり、三流域を包む。即ち北に在りては、コロンビヤ何の流域中に在りては、コロラド河の流域、中央に在りては、大鹽湖周圍の大流域、是なり。此高地は、到る處、乾燥にして、土地豊饒ならず、且、金銀の礦山に富めり。

四、太平洋斜面は、シーラマタ及びカスケードの山頂より、太平洋に下る處の斜面を謂ふ、然れども、西端に至れば、海岸山脈變てり。

(河流) 合衆國に於て最大なる河をミシシッピ(長さ四千二百哩と爲す、深河頗る多く、又頗る大なり、ミシシッピは、殆ど水源に至るまで、舟航するを得べく、其深河ミシソリー(Missouri)河の如きも、ロッキーマウンテンに至るまで、航行するを得べし、コロンビヤ及びコロラド(Colorado)は、西方斜面に於ける大河なり。

太西洋斜面に於ける主要の河川を、ハドソン、デラウアーヤ(Delaware) サスケハナ(Susquehanna) ポトマック(Potomac) ヴォージアス(James) サマナ(Savannah) 等を爲す。

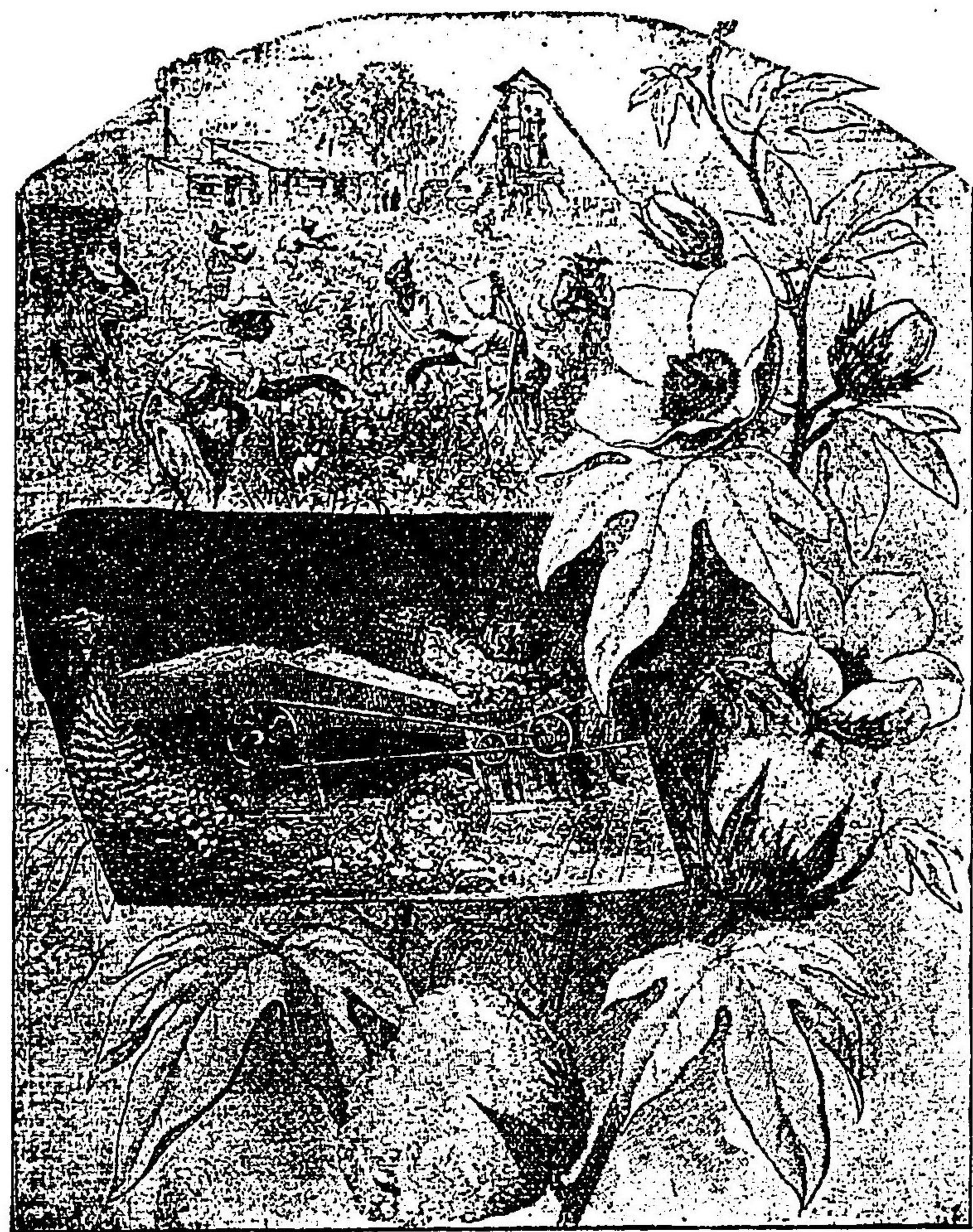
(湖水) 合衆國に於ける二大湖を、ミシガン及び大鹽湖と曰ふ。

大鹽湖は、北米大陸的流域の中心あり。此湖は吐口を有せず、唯蒸發するのみ。其水頗る鹹にして、大洋の水は、鹽分値に百分三なるも、此水は百分三十二に及び、人体水中に沈まず。此湖水は、海面を抜くこと四千二百呎の高地に在り。

(氣候) 合衆國は、全く温帯地方に在り、雖も、亦半寒帯より半熱帯に至り、寒冷濕潤なる季候より酷熱乾燥の氣候に至るまで、各種の氣候を有せり、其氣候は歐洲に比し、頗る大陸的にして、天然の區劃地方、各種の氣候を有せり、即ち(一)東方斜面は、夏熱く冬寒し、されど太西洋に近きを以て、海洋の勢力を受く、(二)ミシシッピ河邊の氣候は、全く其緯度に従て變化あり、(三)西方高原の氣候は、乾燥酷熱なり、(四)太平洋斜面は、軟風驟雨大洋より來り、氣候頗る温和なりとす。

太平洋沿岸及び墨西哥灣沿岸は、此國に於て最も降雨の多き地方なり、又太平洋沿岸は、太西洋沿岸に比すれば、概して温暖にして、濕潤なりとす。

(植物) 合衆國は、半寒帯より半熱帯に至るまで、各種の植物を有す。即ち北方に於ては、白松、山毛櫸、秦皮、檜、榆、胡桃、及び楓樹を産し、南方に於ては、刺球、花蒲葵、及び洋玉



國棉採及製之圖

闊繁茂せり。又北方に於ては燕麥裸麥及び大麥を産し、中央には玉蜀黍煙草及び小麥南方にては木綿砂糖及び米を産し、低平なる海岸地方に於ては橙、石榴、無花果能く生長す。

(礦物) 合衆國の礦物に富めること、實に計るべからずとす。其太西洋諸州及び中央諸州に於ける炭田は、英蘭の全土に等しき大きさを有し、又全山殆ど鉄鑛を以て成る高山數多あり。ロッキン山諸州及び太平洋諸州に在りては、毎年金銀の産出夥しとす。

一、アパラチヤン炭田は廣き七方哩あり、英蘭及威勃士を合したるものより大なり。

二、金を産出する處はカリフォルニア州を以て第一とす、コロラドモンタナ(Montana)

及びネバダ(Nevada)州の如き、亦頗る多量を産出す。コロラド及びモンタナハ主要なる

銀産出地あり。

(産業) 國の産業は、農業を以て第一と爲す。牧畜業亦頗る盛なり。礦業は毎年進歩發達の傾向あり、製造はオハイオ河及びポトマック河の北に横はれる諸州に於て、頗る盛なり。漁業又逐次進歩の勢を呈し、既に海岸諸州に在ては、一の大富源となれ

り。
(商業) 合衆國の内地貿易は頗る大にして進歩亦速なり其貿易は各州の産物を互に交換するに在りて各州は其氣候植物及び産業大に異なるに由り自から其交換を大にす外國貿易も亦盛にして輸出輸入共に其増加年々頗る著しとす英國は其最大取引國にして獨逸佛蘭西之に次ぐ。

一輸出品の主要なるものを木綿穀類石油金銀及び煙草とし木綿及穀類は主として英國に出し石油は主として佛國に向ひ穀類材木及製造品は西印度及び南米に至る。
 二輸入品の要なるものを穀類及び鐵礦織物葡萄酒絹等と爲す穀類織物及鐵礦物は英國より葡萄酒及び絹は佛國より茶生絹及び陶器は支那より珈琲はブラジル(Brazil)及びアラビヤ(Arabia)より砂糖及び菓物は西印度より來る。
 三輸入品は主として佛國に向ひ穀類材木及製造品は西印度及び南米に至る。

(交通) 合衆國は鐵道及び水路に富むも善良なる道路甚だ少し方今鐵道の長さ殆んど十八万哩に亘り尙年々増加の勢あり其水路に至りては大なるもの三あり世界第一たり其道路は如何と云ふに西方は勿論東方の或る部分に於て道路は木材にて築けるものすら頗る少く多くは單に車輪の作れる小路に過ぎずとす。
 一、毎年新に布設せらるる鐵道殆ど六千哩なり。

二三水路は、ミシシッピ河、エリー運河、五大湖、是なり、ミシシッピ河、其深河の舟航すべきもの卅三あり、エリー運河は、紐育州を横斷して、大湖に達し、之をハドソン河とを連結す。大湖はウエラランド(Welands)其他の運河及びセントローレンス河と共に東北の水路を成す。

(電信及郵便) 合衆國に於ては、電線長さ五十五萬哩あり、電話局卅五萬あり、又郵便局に於て取扱ふ書狀及び小荷物の數、殆ど八億あり。

(人民) 人口殆ど七千万あり、平均一方哩に付、廿五人に當る。其人民多くは英人及び獨逸人の子孫にして、英語を用ふ、黑人種は凡そ八百万あり、愈々増加の傾あり、土人なる亞米利加印甸人種は、次第に減少し、現今三十万許に過ぎず。

(政体) 合衆國の政体は聯邦共和政体にして、其立法院をコングレスと稱し、上下兩院より成る。行政の長を大統領と云ふ、又海陸軍の總督なり。

陸軍は頗る小にして、兵士僅に二万五千、其中將校二千四百人なりとす。然れども一旦危機至れば、數百万の青年皆國に奉ずべし。

海軍は、六十六の軍艦より成り、多くは鋼鐵艦なりとす。造船所十あり、其最も大なるものは、ブルックリン(Brooklyn)、チャールズタウン(Charlestown)及びポーツマス(Portsmouth)の三あり。

に在り。

(宗教及教育) 合衆國に於ては、宗教頗る自由に
して、現今新教徒殆ど三千万、舊教徒を千万あり、全國
到る處大學校女學校高等學校小學校等の設あり、殊
に北部諸州及新英蘭の諸州に於ては、教育最も盛な
り。

(大都府) 人口の五分四は、田舎に住居すと雖も、大
都府亦頗る多く、殊に商工業并び行はるゝ地方に於
て、最も多しとす。方今人口十万以上を有する都府二
十二あり、其中二十万以上を有するもの十六、更に此
中五十万以上のもの七、百万以上のもの四あり、紐育
(New York) フォラデルフェア (Philadelphia) インルクリ
ンシカゴ (Chicago) ボストン (Boston) セントルイ (St. Louis)
バルチモール (Baltimore) シンシナチ (Cincinnati) 桑港
(San Francisco) ニューオルリヤンヌ (New Orleans) は國の



十大都府たり。

紐育(百七十万)は、商業及び製造業の中心にして、又新世界に於て最も富み、最も大なる市
府なり。ハトソン河ロマンマンタン (Manhattan) と稱する長島に立ち、人口の略に於ては、世
界の大都府運動の次に位す。

(區劃) 合衆國は、四十四州と五部とより成る、即ち北部太西洋區に九州あり、南部
太西洋區に八州あり、北部中央區に十二州あり、南部中央區に七州一部あり、西方區
に八州四部あり、此外尙コロンビヤ縣 (District of Columbia) 及び印甸地方 (Indian Ter-
ritory) あり

墨西哥

(緒説) 墨西哥は、南北兩亞米利加を連結する大地峽の北方に在り、嘗てアステック
ス (Aztecs) の帝國として頗る強大なりしも、西班牙人の奪ふ處となり、新西班牙の名を
得、西班牙人の權力衰ふるに及び、起て共和國を組成し、又壞地利のマキシミリアン

(Makimilian) に征服せられ、マキレミアン敗死の後、墨西哥は合衆國と同じく、終に聯邦共和國を組成せり。

(境界) 墨西哥は二大洋の間に介する、其境界左の如し、

- 一、北 合衆國
- 二、東 墨西哥灣
- 三、南 中央亞米利加
- 四、西 太平洋

(面積) 墨西哥の面積は七十四万方哩にして、正に埃地利國の三倍なりとす。

(組織) 墨西哥の組織は頗る簡單なり、此國は一大高原にして、兩側高山脈連り唯海岸に沿へる處低原なりとす。高原の南端に火山十三あり、世界に於て最も高さの、中に數へらる。

一、主要の高原をアナハック (Anahuac) 高原と爲す、平均七千六百呎の高きなり。

二、重なる山脈をシエラネドレ (Sierra Madre) と曰ひ、横山脈の重なるものをコルチレラドアナハック (Orillera de Anahuac) と曰ふ、ホカチストル (Popocatepetl) 火山(一万七千八百八十四呎)は即ち此山脈の最高峯なり。

三、墨西哥に於ては、舟航すべき河流なし。

(氣候) 此國三種の地方より成り、隨て其氣候に三種の區別あり、熱潤なる低地の

氣候、溫和乾燥なる高原の氣候、及寒冷なる山地の氣候、是なり。墨西哥には乾燥降雨の二季あり、雨季は六月に始まり、十一月に終る。

(植物) 低地に於る森林は、桃心木及び其他の木材に富あり、砂糖甘蔗、バナナ、椰子等の培養亦頗る盛なり、霸王樹は此國に於て特に著しきものにして、コチニール、霸王樹は最も價值あるものなり、赤色染料に供する、コチニール虫は、則ち此樹に棲息生長す。高地に於ては、木綿、珈琲、煙草及穀類を産し、小麥及大麥は、海面を抜くこと八千呎の山岳地方に産す。

(礦物) 墨西哥は銀を産すること最も多く、方今世界第一と稱す、此外又多量の金、少許の銅を出す。

一、墨西哥より出づる銀は、世男産出高の二分一より多し。千八百八十二年に於ては、其産出價格殆ど六百万磅ありき。

二、此國に於て礦山五百六十九なり、其中五百四十一は銀山なり。

(産業及貿易) 主要の産業を礦業及農業と爲す、製造業に至りては、配すべきものなし、輸出品は銀、麻、珈琲、獸皮、桃心木等を主とし、大概合衆國及び英國に輸出す、輸

入の大半は佛國より來れるものにして、英蘭より輸入するものは、木線及び器械とす。
(鐵道) 方今鐵道の延長五千哩餘あり、以て首府とヴェラクルーヅ、ニューオルリヤ
ンス及び桑港とを連結せり。

(人民) 墨西哥の人口、殆ど一千二百万あり、人民多くは、西班牙人の子孫及混合種
にして、西語を用ふ。墨西哥印甸人は、次第に其數を減せり。

一、舊教最も盛く行はる、教育は却歩の状況を呈せり。

二、政体は聯邦共和政治にして、其國廿八州及び下カリフォルニア一部より成る。

(都府) 墨西哥には、人口五萬以上の都府六あり、其中十萬以上のもの二あり、メキ
シコ(首府及びガダラハラ (Guadalajara) 是なり。

メキシコ(卅二万)は、アナハック高原の中央に立ち、高さ凡七千五百呎の處にあり。市街廣く
して、壯大なる建築並び立ち、府の周圍には廣闊なる湖水藪野たる松柏の深林、甚々たる
稻田麥圃ありて、景色頗る美なり。府の中央に伽藍あり、金銀寶石之を蔵ひ、新世界中最も
壯麗なるものなり。

(ユーカータン) ヌトカタン (Yucatan) は、墨西哥聯邦の一なれども、時々獨立を唱ふ、
其氣候頗る好く、地味豊饒なり、首府をメリダ (Merida) と曰ひ、人口三萬八千あり、港の

主要なるものをカンビチー (Campeche) と曰ふ、同名の灣にあり。

中央亞米利加

(位置其他) 中央亞米利加は、墨西哥とパナマ洲との間に横はれる小共和國な
り、全國豊饒なる高原にして、其高原は徐々に太平洋に下れり、各種の熱帶植物之に産
す、太平洋を周れる火山帯の一部、又此地方に在り、故に頗る激烈なる地震屢々起る

中央亞米利加の面積、凡う十八万六千方哩、人口三百萬あり、平均一方哩十六人に當る。

(氣候其他) 其氣候墨西哥に同じ、地味肥沃にして、年中各種の收穫絶えず、珈琲
椰子砂糖藍煙草及びバナナ、産物の主要なるものなり。

(貿易) 中央亞利加諸州の貿易、頗る小にして、其輸出品の主要なるものを、藍珈琲
及び桃心木等と爲す。

(區劃) 中央亞利加には、共和國五、英國殖民地一、小王國一あり、即ち左の如し。

- グアテマラ (Guatemala) 首府 ニューサセーラ (New Guatemala)
- サンサルバドル (San Salvador) 首府 サンサルバドル
- 英領ホンジュラス(植民地) 首府 ベライズ (Belize)
- ニカラガ (Nicaragua) 首府 マナグア (Managua)
- ホンジュラス 首府 タグシガルパ (Tegucigalpa)
- モスキニア王国 (Mosquitia) 首府 グレイタウン (Greytown)
- コスタリカ (Costa Rica) 首府 サンホセ (San Jose)

(人民其他) 勢力ある人種は皆西班牙人の子孫なり、西語最も廣く行はる、然れども人民の大半は、印人なりとす。宗教は羅馬教なり。

西印度諸島

(緒説) フロリダの南端セーブル岬よりオリノコ(Orinoco)河の三稜洲に至るまで、南北亞米利加間に横へれる無数の島嶼を總稱して、西印度諸島と曰ふ、その新大陸

に於けるは、恰も東印度諸島の舊大陸に於けると、同地位に在り、即ち兩群島と共に温暖なる海上に横はり、良港頗る多く、島嶼間の水路又多く、地味頗る肥沃なりとす。
 (面積及區劃) 西印度諸島の面積、總計九万五千方哩にして、普通之を大別して、大アンチル諸島(Antilles)小アンチル諸島及びバハマ諸島(Bahamas)諸島と爲す。

- 一 大アンチル諸島中にはキューバ(Cuba)、ハイチ(Haiti)、ジャマイカ(Jamaica)及びポルトリコ(Puerto Rico)あり。
- 二 小アンチル諸島を分ちて三とす。
- (イ) 下風諸島即ちメーリン(Virgin)諸島よりドミニカ(Dominica)迄に至る。
- (ロ) 向風諸島即ちマーティン(Martinique)島よりトリニダード(Trinidad)迄に至る。
- (ハ) マンチラ(Venezuela)諸島即ち南米の海岸に沿って散在するもの。
- 三、マンチラ諸島は一群の低平なる珊瑚島にして、其周圍に珊瑚岩出沒し、舟航頗る危険なり。

(性質) 群島皆山岳多く、唯小アンチル及びバハマ諸島中東部一帯のものは然らずとす、其山峯は皆森林を以て蔽はれ、又小アンチルには火山數多ありとす。
 (氣候) バハマを除き其他の群島皆熱帯に横はれども、其氣候は海軟風及び貿易

風の爲に、暑熱甚しからずとす。其群島概言すれば、唯乾燥降雨の二季を有するのみ、降雨季は五月より十一月に至る。

(植物) 熱帯植物は、皆之に産す。最良なる砂糖及珈琲其他木綿椰樹及び煙草の類は西印度諸島中概ね皆之を産す。此群島は又鳳梨石榴橙、レモン及び麵菓の如きものに頗る富り、バハマ諸島に於ては、材木殊に桃心木を以て、主要の富となす。

(動物) 西印度には獸類甚だ少く、短耳兔(Agouti)は、此國に於て最も大なる哺乳獸なり、其他には蝙蝠あり、鳥類中には蜂雀、鸚鵡、百舌鳥及び色澤美麗なる「トロゴン」(Trogon 孔雀の類)と稱する鳥あり。

(貿易) 輸出品の主要なるものを、甘蔗、煙草、珈琲、椰子、木綿及び香料と爲す。
(人民) 土地廣く、地味膏腴なるに比して、人口甚だ少く、諸島合して、三百万許に過ぎず。多くは皆黒人に非ずんば、西印度移住民の子孫なりとす。西語最も行はる。

(政治上の區劃) 西班牙、英國、佛蘭西、和蘭及び丁抹の歐洲諸國、此群島を分割所有せり。唯「ヘーチー」のみ、二の獨立共和國に分る。

一、西班牙はキューバ及びポर्टリコを領す。

二、英國は大アンチルに於てセントマイカ、小アンチルに於てトリニダード、トベゴ(Tobago) スクエーバー(Barbades)、セントビンセント、セントニコラス(St. Vincent)、ドミニカ(Dominica)、セントキッツ(St. Kitts)、ネビス(Nevis)等を有し、又バハマ群島を領す。英領なる「ベルムード」(Bermuda)諸島は、或は西印度諸島中に加へらる。

三、佛蘭西は「グアテマラ」(Guadalope)其他二三の小島を有す。

四、和蘭は「クサス」(Curaçao)を主とし、其他二三の小島を有し、佛蘭西セントマーティン(St. Martin)を分す。

五、丁抹は、バローン諸島中最大なるサンタクルーズ(Santa Cruz)を有し、又セントトーマス(St. Thomas)及びセントピエール島を領す。

(西班牙領西印度諸島) 西印度諸島に於る西領諸島をキューバ及びポルトリコと爲す。共に大アンチル諸島の中なりとす。

一、キューバは愛蘭の三倍三分一なり。山脈島を貫走し、其ターキノ峯(Turquino Peak)の如きは、高さ八千四百呎に達し、海上遙に之を望むを得べし。其森林には桃心木及び黒檀多し、鐵道一千哩あり、人口百五十万、其中百万は白人なり。砂糖の輸出頗る大にして、概ね合衆國に至る。首府を「ハバナ」(Havana)人口廿万と曰ふ。フロリダ海峡に臨める英

國の都府にして、府内の一寺院内にコロンプスの遺物を納めり。

二、ポルトリコは、アンチル諸島中最も氣候好き所なり。

〔英領西印度諸島〕 西印度諸島に於ける英領をジャマイカ、バ、マ及び小アンチルの大部分と爲す。

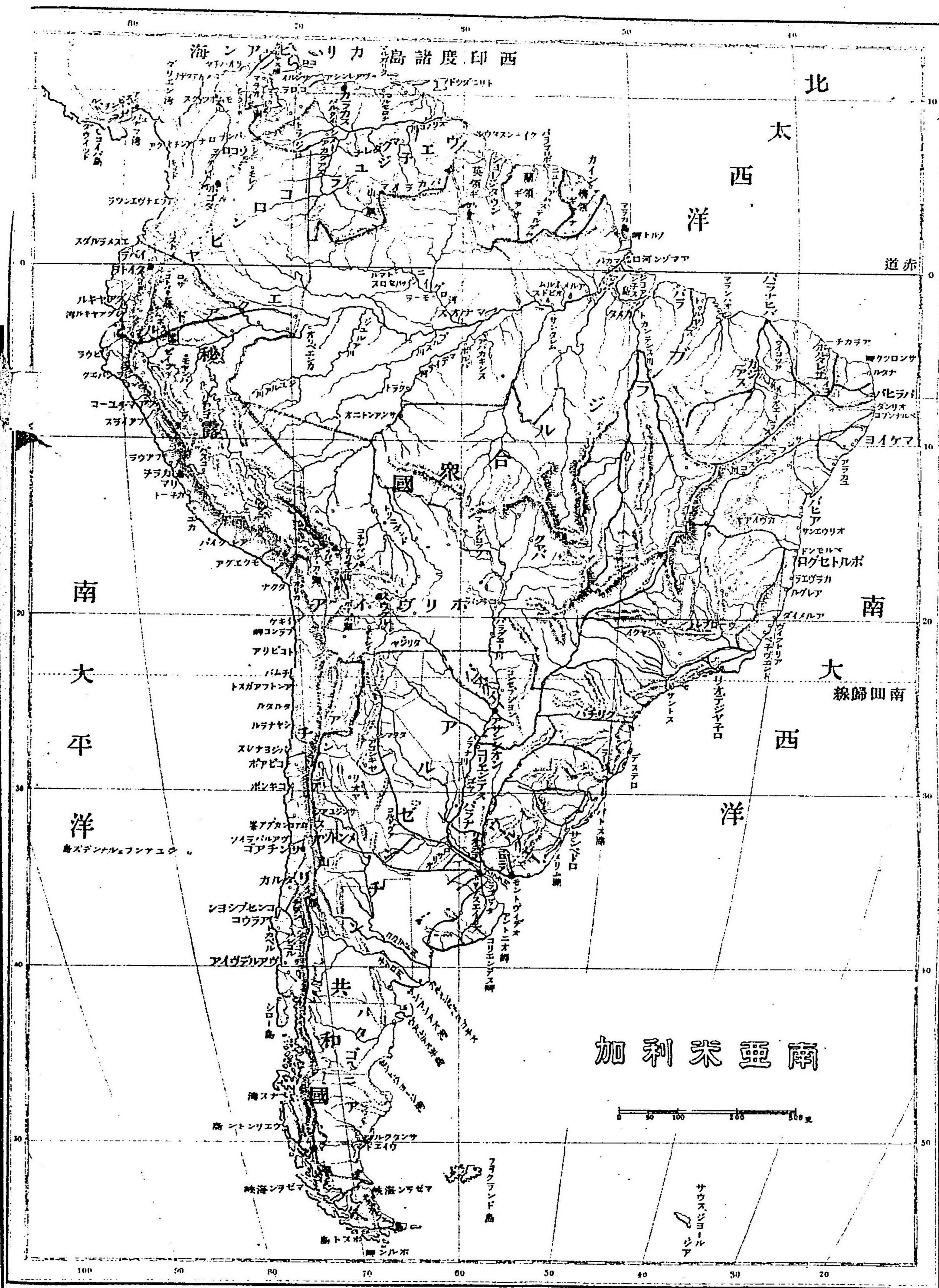
一、ジャマイカは其大さキューバ及びヘーチーに次ぐ。北岸は風景最も美にして、山中に入れば、無候人身に過す、河流頗る多く、殆ど二百に達すれども、舟航すべきものは、唯ブラツクリバー(黒河)あるのみ。砂糖、珈琲及び香料は、此島主要の輸出物なり、人口五十万、首都をメハニヤ、エヌワン(Spanish Town)と曰ふ。商業の中心府をキングストン(Kingston)と曰ふ。

二、バハマ諸島は、二十の島嶼より成る。珊瑚島にして、海綿の貿易頗る大なり、珊瑚、緑島及び鹽又輸出せらる。首府をナッソー(Nassau)と曰ふ。ワットリン(Walton)島は、即ち千四百九十二年コロンプスの發見したる處にして、新世界第一の發見地と爲す。

三、トリニダットは、向風諸島中最大なるものにして、南米に近く、地産物の湖あるを以て、其名頗る高し。バルバドース島は、向風諸島中人口最も稠密なる所なり。又下風諸島中最も産物の多き所をアンチガと曰ふ。砂糖、糖蜜、水酒等を輸出す。

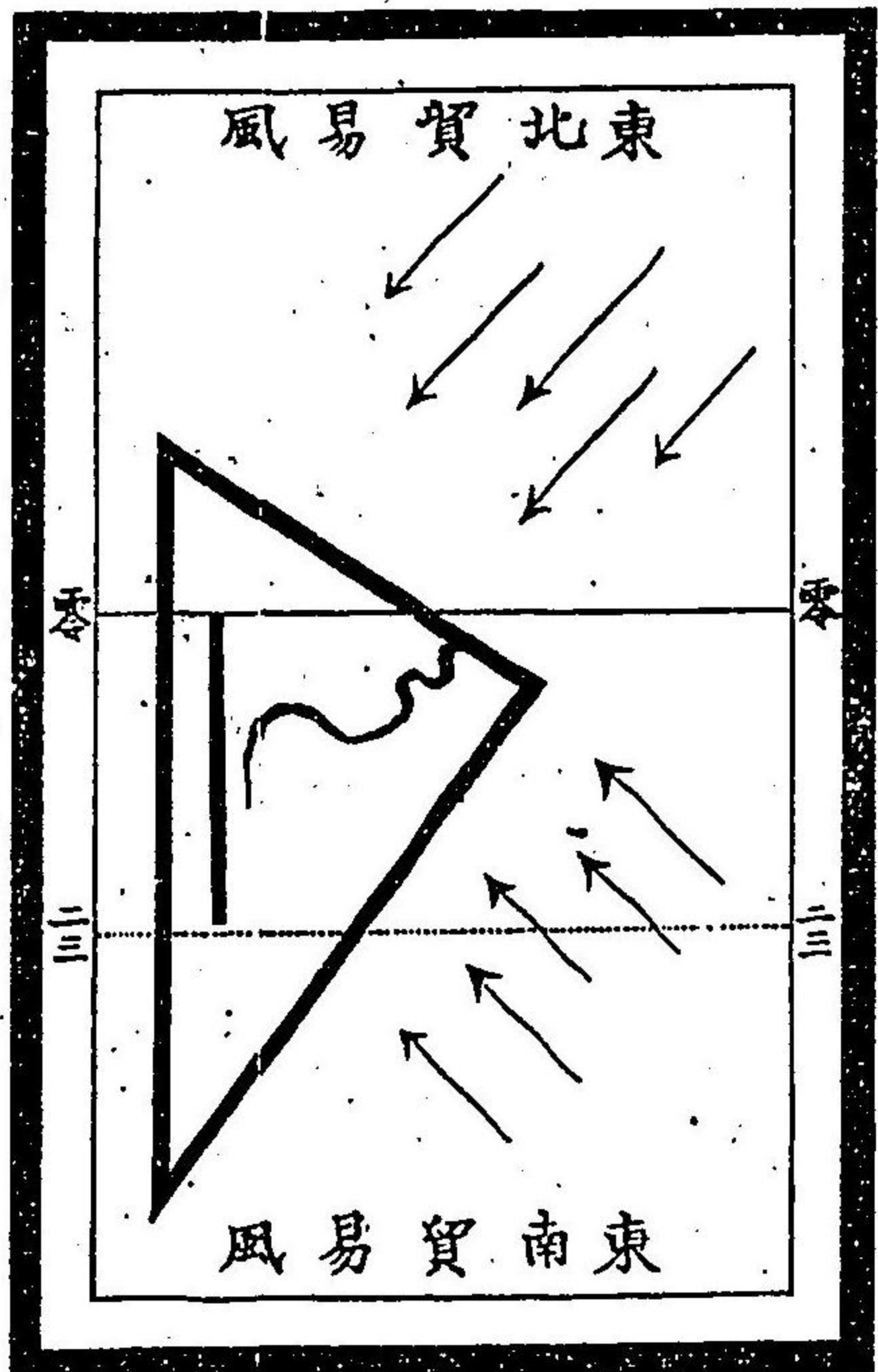
四、ベルムーダ諸島は、北緯卅二度に在りて、殆ど四百の珊瑚島より成る。其中人民の住するもの五あり、最大なる都府をハミルトン(Hamilton)と曰ふ。

〔ヘーチー〕 此島は、其大さキューバに次ぐ。向風海峡を隔て、キューバと相對す。人口百萬に至らず、大概黒人及び混合種より成る。島を分ちて二州と爲す、ヘーチー共和國及びドミニカン共和國是なり、共に頗る未開の有様に在りて、即ち沃野開墾せられず、豊饒なる礦山採掘せられざるなり、而して白人種は、此國に於て土地を所有するを得ず、官吏となることを得ず、又選舉權を有するを得ざるなり。ヘーチー共和國の首府をポルトオープリンス(Port-au-prince 人口四万五千)と曰ふ、良港を有せり。珈琲及び椰子は、此國主要の輸出物なり。ドミニカン共和國ハ、又サントドミンゴ(San Domingo)共和國と稱す、首府をサントドミンゴ(人口一萬五千)と曰ふ、主要の輸出物を蘇木、桃心木等と爲す。



南亞米利加總論

(緒説の一) 南亞米利加は全部殆んど熱帯中に在り、又其大半は貿易風の地位に在り、其形状たる頗る簡單にして、直角三角形を爲し、其風向即ち東南東北に、蒸發最も



烈しき兩大洋を有せり、即ち南北緯三十度以内の南大西洋及び北太平洋なり、而して其三十度は、東北東南貿易風の限界にして、此兩貿易風は、常に兩大洋より南亞米利加内地に向て吹くものなり、又其吹き來るや、直角に陸地に向ふが故に、其大陸に送る濕氣は、世界に於て最も多量

のものなりとす。

(緒説の二) 今や此雨氣を帯べる暖風大陸を吹き過ぐる途中、數多の山脉に遇て、高く空中に飛騰し、其濕氣の幾分を收縮せられ、雨となる故に、各山脉の麓に於て既

に大河を爲すに足る。況んや此二大貿易風は、遂に大陸の中心即ち赤道に於て相合はざるべからず、又遇ふものなり、蓋し貿易風は、世界各所に於て然りとす。二風相遇ふ此に於てか相互の衝突に由りて、高く空中に登り、其含有する濕氣は、収縮せられて大雨を降すなり、夫れ此の如く大雨ある以上は、又必ず世界第一の大河なかるべからず、而して此貿易風全く大陸を通過して、將に太平洋に至らんとする處、アンデスの大山脈高く空中に聳ゆ、此山脈は、頗る高きを以て貿易風も遂に之か爲に少量の濕氣だも含有するを得ず、皆収縮せられて雨となり、アンデスの西側に至るに及んでは、既に全く乾燥となる故に、南米の太平洋海岸に於ては降雨なく、又其地方の大半は荒涼たる砂漠なりとす。

(緒説の三) 既に前述の如く、東北、東南の雨貿易風相合て最も大なる降雨ある以上、世界第一の大河なかるべからず、是に於てかアマゾン(Amazon)河あり、今夫れ植物は主として熱潤の二者に由りて生育するものなり、而してアマゾン河谷は濕氣最も多し、然らば極度の熱は如何、是亦同じく存せり、何となれば、此大河谷は熱帯中に在るが故に、太陽の光線常に垂直なるべければなり、既に極度の熱濕兩氣を有

す、植物の最も饒多なるは當然なり、即ち此國には世界最大の深林あるを以て知るべし、此森林地方を「セルバス(Selvas)」と稱す。又此地方は唯樹木の最も饒多なるのみならず、其種類最も多しとす。且や蟲類は常に植物の繁榮に伴ふものなり、故にアマゾン河谷に於ては、蟲の種類最も多く、又其數最も多く、虫聲數哩を隔て、海上より之を聞くを得べし。

(組織) 此大陸の組織頗る簡單にして、西方一帯山脈長く連り、又オリノコ(Orinoco)河口よりラプラタ河口に至るまで長き平原あり、其東に小山脈數多あり、又西方に於て太平洋に降る短急峻險なる斜面、東方に於て大西洋に降る長き緩徐なる斜面あり、之を主要なる二斜面と爲す。其他の小斜面は、北方に向へる短斜面(ラリノコ流域)及び南方に向へる長斜面(パラグー及びパラナの河谷)なりとす。

南北亞米利加の類似する點、左の如し。

甲、兩大陸共に、南北に至るに従ひ、次第に狭小となる。

乙、兩大陸共に、南北最も長し。

丙、兩大陸共に、其西岸出入少く殆んど直線なりとす。

丁、兩大陸共に、西方に高山脈を有す。

戊、兩大陸共に、東方に小山脈を有せり。

己、兩大陸共に其西方斜面頗る短く、東方斜面頗る長し。

庚、兩大陸の大河は、共に東流す、アマゾンセントロローレンス即ち是なり。

辛、兩大陸共に、大平泉及び大流域を有す。

(廣袤及び海岸線)

南米の海岸線は、其面積に比して頗る短し。此大陸長さ處四千五百五十哩、廣き處三千二百哩、面積六百五十万方哩なり。海岸線の長さ、一万五千哩にして、平均四百卅五方哩に付壹哩の割合なり。海岸線は斯く短きも、舟航すべき河流頗る長きを以て、之が欠を補へり。

南米總面積の三分の二は熱帯に在りしす。

(港灣及び海峽) 海岸出入少く、港灣隨て稀なり。唯河口處々に灣形を爲すありて、アマゾン及びブラプラタの河口は、其最も大なるものなり。海峽唯一あり、マゼラン(Magellan)海峽と爲す。

(岬及び島嶼) 南米は岬亦甚た少く、最も著きもの四あり。北に於てガリナス(Gallinas)岬東に於てセントローク(St. Roque)岬、南に於てホルン(Horn)岬、西に於てパ

リナ(Parna)海角是なり。島嶼亦少く、其主要なるものをチラデルネーゴ(Tierra del Fuco)群島と謂ふ。商業上有用の處に非ず。其他西南海岸に、無数の小島あり。東方海岸アマゾン河口に於るマラシヨ(Marajo)島は南米第一の大島たり。其他の島嶼には

(一)ガラパゴス(Galapagos)諸島 (二)シナチ(Chincha)諸島

(三)フマルクランマ(Falkland)諸島 (四)フアンフェルナンデス(Juan Fernandez)

(山嶽及び高地) 南米に於て最も重要なる山脈をアンデス(Andes)山脈と爲す。ホルン(Horn)岬より、パナマ(Panama)地峽に至るまで、蜿蜒四千五百哩に亘る。世界最長のものなり。アンデスの特長は、(一)其連續、(二)頗る高きこと、(三)平均凡そ一万二千呎、(三)其山脈の二重三重なる處互に相平行せること、(四)其横山脈、(五)火山多きこと、等にあり。

パナマ(Panama)山脈、ギニア(Guinea)山脈及びブラジル(Brazil)山脈は、東方に於る小山脈なりとす。高地の最も廣きものをボリビア(Bolivia)高地となし。最も高きものをチノカ、(Titicaca)高地と爲す。海面を抜くと一万二千七百六十呎なり。

南米には、百三十の活火山、其他數多の地火山ありと云ふ。

(アンデス山脈) アンデス山脈は普通之を三部に分つ、南アンデス、中央アンデ

ス、北アンデスは是なり。

一南アンデスは、單山脈にして、南回歸線に至るまでを謂ひ、其最高峯をアコンカサ(Aconcagua) 二万二千四百十五呎の火山と爲す、又南米第一の高峯たる。

二中央アンデスは、二の平行山脈あり、殆んど南緯十度に至るまでを謂ふ、二山脈間高き土地を包む、其最高峯をイリマニ(Ilimani) 及びソラタ(Sorata) と爲す。

三北アンデスは南緯十度に始まり、三重山脈を成せり、アンチサナ(Antisan) コトパキシ(Cotopaxi) チンボラヤ(Chimborazo) 二万七千呎三大火山此中に在り。

(平原及び砂漠) 南亞米利加は最も著しき平原大陸にして、オリノコ河口よりラブラタ河口に至るまで、全土實に一大平原と見るを得べし、唯低き狭き一分水界あるのみ、而して此平原は、明に之を三部に分つを得べし、オリノコ平原其最平坦なる處を、ラノスと稱す、アマゾン平原(或はセルバスと稱す)ラブラタ平原其最も平坦なる處を、パンバスと稱す、是なり、頗る狭小なる砂漠一あるのみ、太平洋海岸に於るアタカマ(Atacama)砂漠是なり。

(河流) 南米の河系は、世界に於て最も簡單なるものにして、又最も大なるものなりとす。其アマゾン河の如き、深河を合して、少なくとも五万哩、大船舟航するを得べ

し、ブラジルのみに於て、舟航すべき河流二万五千哩に及べり、若し夫れオリノコに於ける瀑布及び上マデレーラ(Madeira)とパラゲー(Paraguay)の一深河と間に在る狭き分水界地方を除けば、オリノコ三稜州よりラブラタ河畔ブエノスアイレス(Buenos Ayres)に至るまで、大陸の中心を通して、短艇にて直行すると難きに非ずと爲す。南米に於て、主要なる河流三あり、オリノコアマゾン及びラブラタ、是なり、此三河は殆んど一河と見るを得べし、其他の大河又頗る多し、此の如く舟運の便を與ふる河流頗る多きを以て、其海岸線の短さを補ふて、尙餘ありと云ふべし。

(湖水) 南米には湖水甚だ少し、ヘチジラ(Venezuela)に於けるマラケーボ(Maracaibo)湖は、海水と相通するものなり、チノカ、湖は全名の高地に在り、殆んどオンタリオ湖と其大さを同じくす、海面を抜くこと一万二千呎餘の高き處に在り。

(氣候) 南亞米利加は、其大半熱帯に在り、又貿易風を受くるを以て、酷熱濕潤なりとす、然れども高地、或は南緯三十度以南の狭小なる地方は、氣候涼しとす、蓋し一は土地高きに由り、其暑熱を減じ、一は土地狭小なるに由り、海洋の影響を受くると多く且重に吹き來る風西北よりするを以てなり、故に西海岸に於て、三十度以南と以

北とは其氣候植物共に著しき差異あるなり。

(植物) 南米は植物の大陸と謂ふべし。棕櫚各種の花木夥しく、又造船に適せる樹木多し。シシコナ樹はアンデス山の斜面に出づ。其皮より幾那を得べし。其他甘蔗珈琲樹椰子樹煙草粉藍甘蕉及び熱帶半熱帯の菓實頗る多しとす。

(動物) 南米に於ては亞細亞亞弗利加に於る犀及び象の如きもの之なしとす。然れども猿無峰駝羊亞獅及び猪豹の如き猛獸あり。其大森林には、獼猴の類多し。南米に於て最も多きものを蟲類と爲す。鳥類も亦種類頗る多く、其中には羽毛聲の至て美なるものあり。山中には、鵝鵝鵝等あり。蟒蛇鱈魚の類は熱帯の河流又は卑濕の地に栖息す。

(礦物) 南米は頗る礦物に富み、アンデス山邊到る處、金銀銅錫等を出す。其ボリビヤに於けるポトシ(Potosi)銀山の如き、千五百四十五年其發見以來採掘したる銀總計六億磅に上れりと云ふ。此大陸は又寶石に富み、ブラジルに金剛石あり、ニードグラナダ(New Granada)に碧玉あり。

(住民) 南米の土人は、之を印甸人と稱す。其數五百万に至らず。現今の住民は、主と

して歐州人印甸人黑人及び混合種より成る。白人種は全人口の殆んど三分一にして、重に西班牙人の子孫なり。唯ブラジル國に於ては、葡萄牙人の子孫多し。

(人口及び文明) 全大陸の人口、殆んど伊太利に同じ。其面積を云へば、伊太利に七十倍せり。實に此大陸は、唯海岸一帯に人民の住居するあるのみにして、其内地の狀態に至りては、未だ詳知せられざるなり。方今南米の諸國は皆共和國なり。



島の岸河ソグナマ 標島の人ヤコボタバ 標島の中山マデソフ

コロンビヤ (COLOMBIA)

(コロンビヤ) コロンセヤは南亞米利加の最北に位し、九州より成れる聯邦共和
 國なり、其面積五十万餘方哩、人口凡そ四百万あり、其最も人口多き處はコーカ(Cauca)
 及びマグダレナ(Magdalena)二河の上流に沿へる地方にして、又其地高さを以て温帯
 穀物の生産に適せり、國の西方にはアンデス山脈三線をなして高く連り、其間高地
 あり、東部は低地平原にしてオリノコ河の渌流之を貫流す。

(物産貿易及び交通) 其國各種の高度を有し、隨て氣候又種々なり、熱帯より
 寒帯に至るまで、故に其産物亦甚だ多しとす、森林には桃心木、松柏、シンコナ等最も
 多く、輸出物の主要なるものを、シンコナ樹皮、珈琲カ、オチコレート、之より製
 するものなり、生綿及び染料と爲す、又銀鑛を輸出す、外國貿易は主として英國及び
 合衆國との間に行はる、又此國には、鐵道の延長二百五十哩あり、然れども其パナマ線
 の如きは、世界に於て最も重要なもの、一にして、長さ四十七哩、太平洋岸コロン
 (Colo)より太平洋岸パナマに至る處のものなり。

(都府) コロンビヤに都府二あり、ボゴタ(Bogota)及びパナマ(Panama)是なり、

タは人口十萬國の首府にして海面より八千六百呎の高處に在り是を以て其地赤道の北五度に在りど雖も氣候極めて温和なり。パナマは人口三萬五千鐵道の西端に在り頗る良港なりとす。

ベネチユラ (VENEZUELA)

(ベネチユラ) ベネチユラは八州其他數地方より成れる聯邦共和國にしてカリビアン海よりバリム山脈に擴がりカッシクイアール(Casiquiare)と稱する著名の大運河を有す國の全部オリノコ流域に在り其大半はラノスより成る面積六十三萬二千方哩余人口二百萬余あり其人民は印甸人西班牙人及黒人の子孫なりとす。
(物産貿易及び交通) 主なる産物を珈琲及び砂糖となす木綿煙草及びカ、オ亦産す金及銅は主要の輸出物にして森林には桃心木黒檀及び各種の染料樹木ありラノスには牛馬百千群をなして徘徊せり鐵道の延長殆ど四百哩あり。

(都府) ベネチユラには人口二万以上の都府四あり其三大都府をカラツカス(Caracas) ヴアレレンシア (Valencia) 及びマラケーボ (Maracaybo) と曰ふカラツカスは首府にして人口八萬あり。

ギアナ (GUIANA)

(ギアナ) ギアナハ森林山岳の國にして英佛蘭の三國之を分割所有せり其森林には頗る價値ある材木多く河流には魚類群集し鳥類は其羽毛最も美麗なり獸類多く亞獅、豚、獾、鱒、魚等あり。

(英領ギアナ) 此地は三殖民地より成る各其主河を以て名とす、デメラ、(Demerara) と曰ひ、エセキボ (Essequibo) と曰ひ、バービス (Berbice) と曰ふ面積十萬九千方哩人口凡そ二十五萬あり主要の輸出品を砂糖及び糖水酒と爲す此國の勞働者は黒人混合種及び支那の賤民なり首府をジョージタウン (Georgetown) と曰ふデメラ、河

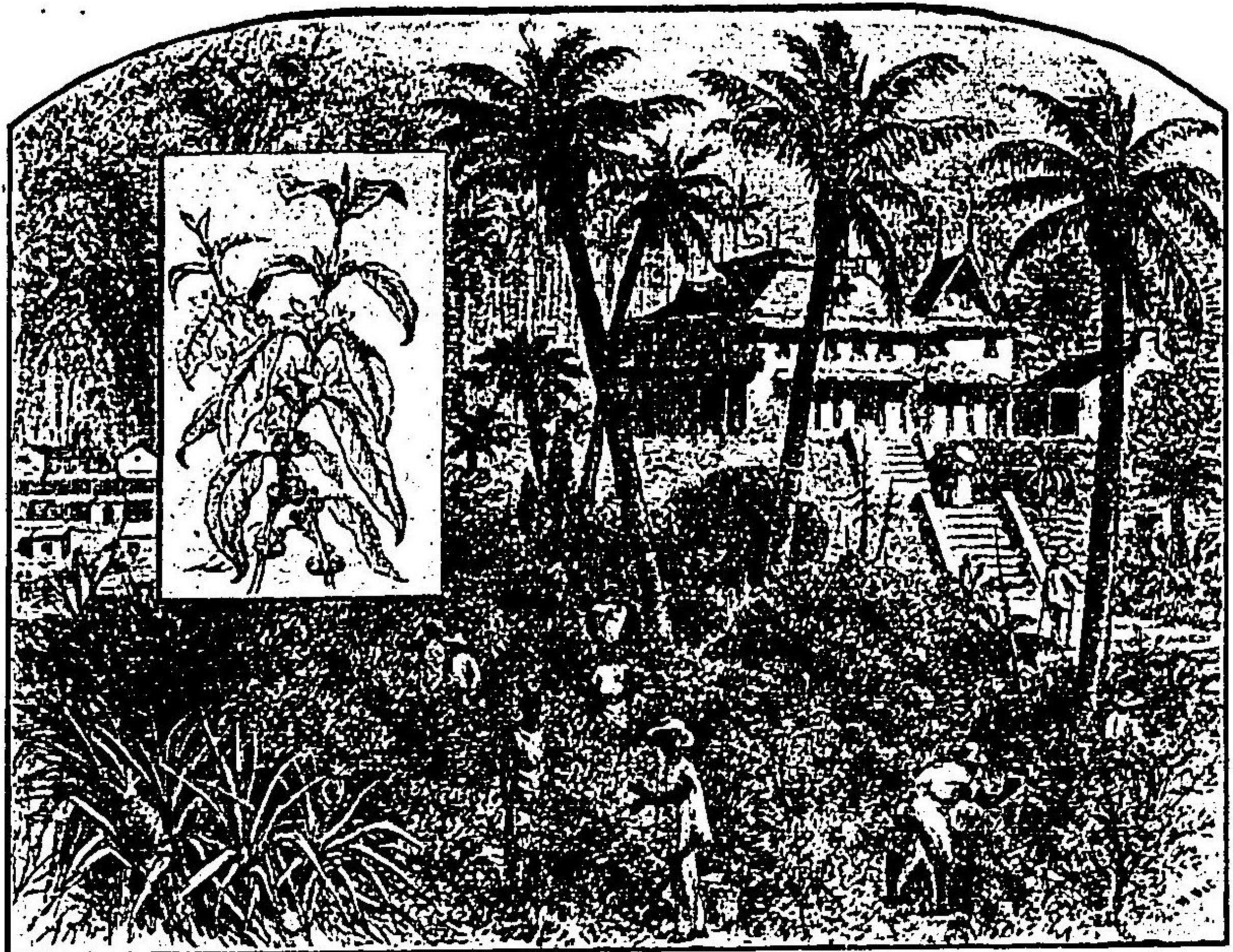
に臨む。

(蘭領ギアナ) 蘭領ギアナは、大さ英領ギアナの三分二なり。主要の産物を砂糖と爲す。首府をパラマリボ(Paramaribo)と曰ふ。スリナム(Suriname)河口に近し。

(佛領ギアナ) 佛領ギアナは、蘭領ギアナの三分一より少しく大なり。人口三万に至らず。多くは黒人種なり。主要の産物を、砂糖及び香料と爲す。首府をケーエン(Cayenne)と曰ひ、沼地に在りて頗る健康に害あり、久しく佛國犯罪人の謫地たり。

ブラジル (BRAZIL)

(ブラジル) ブラジル共和国は、元と葡萄牙君主を戴きたる一國にして、其面積三百二十二万方哩あり、合衆國(アラスカを除く)より大にして、殆んど加奈陀に等し。其の大半は三角形の高地より成る。然れども又草原山地等各種の土地を含有し、氣候の種類亦多し。人口千四百万あり、其國殆んどアマゾン全流域サンフランシス



ブラジル國の栽培植物の圖

コ全流域パラグアイ(Paraguay)流域の一部及びパラナ(Parana)ウルグアイ(Uruguay)流域の大半を占む。人民多くは海岸に非ずんば、大河の畔に住居し、重に黒人種なりとす。然れども又印甸人、葡萄牙人種多しとす。

(物産) ブラジルの植物は、其種類と其數とに於て、蓋し世界第一なるべし。其國殆ど歐洲全土の廣さを有し、又各種の氣候地味を有し、其大半は大陽の光線垂直にして、無数の河川之を貫流するを以て、各種の植物に富むは當然なりとす。其大森林即ちセルパスには、染料、造船、及び美麗なる細工に必

要なる各種の樹木頗る多し。其他珈琲木綿護謨及び煙草は、農産物の主要なるものにして、珈琲の如きは、其産出高世界の總産出高の一半を占む。ブラジルは又頗る礦物に富み、金剛石其他の寶石金水銀及び銅の産出甚だ多しとす。

(貿易及び交通) ブラジルの外國貿易は、年を追て盛大に赴けり。其輸出品の主要なるものを珈琲となし、全輸出の百分六十八を占む。合衆國及び英國は、此國主要の取引國なり。鐵道の延長殆ど六千哩に及べり。

(都府) ブラジルには人口二萬以上の都府十二あり、中拾萬以上のもの三、リオデジャネーロ(Rio de Janeiro)ノ、ゴア(Bahia)及びペルナンブーコ(Pernambuco)を爲す。大都府は概ね海岸に在り。

リオデジャネーロ(舟六万)ハ、又單にリオ(Rio)と稱す。ブラジルの首府にして、リオ海に臨む。海口には花崗石の絶壁峙ちて、堡砦の状を爲せり。海内には無数の岩礁點々散布し、而して府の背後には丘陵山嶽相連り之を擁す。

パラグー (PARAGUAY)

(パラグー) パラグーは南米第二の最小國にして、ピルコマヨ(Piocomayo)及びパラナ(Parana)兩河の間に横はる。南米に於て海岸を有せざるものは、獨り此國あるのみ。其面積殆んど九万二千方哩、人口四十万に足らず。

(物産貿易及び交通) 産物の主要なるものをパラグー茶となす。南米諸國多く之を用ふ。輸出品の主要なるものをパラグー茶及び煙草と爲す。又米麥木綿及び砂糖を産すれども、唯本國の消費に充つるのみ。交通の點に於ては、河流航行最も肝要なるものにして、鐵道の如きは延長二百哩にも足らず。

(都府) 都府皆小にして、二萬の人口を有するものなし。アサシション(Asuncion)一万八千ば、ピルコマヨ及びパラグー兩河の相會する處に在り、國の首府なり。

ウルグー (URUGUAY)

(ウルグー) ウルグーは南米第一の最小州にして、大西洋及びウルグー河の間に横はる。其南海岸は、即ちラプラタ河口に臨む。面積七万四千方哩、人口五十万餘なり。人民多くは土人の混合種にして、白人種三割を占む。

(物産貿易及び交通) 此國は重に草原なるを以て、牧畜業最も盛なり。主要の物産及び輸出物は、亦獸皮羊毛乾肉獸脂等とす。毎年家畜を殺すこと、其數一百万頭に及ぶと云ふ。穀物は單に小麦及び玉蜀黍を産するのみ、又此國には鐵道の長さ、殆んど五百哩あり、國の三方に水運の便あり。

(都府) 都府皆小にして、唯首府モンデヴデオ (Monte Video) のみ、人口十四萬を有し、主要の海港なり。

アルゼンタン共和國 (ARGENTINE REPUBLIC)

(アルゼンタン共和國) アルゼンタン共和國は、アンデスの東斜面に横はれ

る共和諸國の聯合なり。國の六分五は原野にして、殆んど平坦なりとす。其面積五十五万方哩餘、人口四百萬餘あり、其中殆んど五十萬は外國人にして、重に伊太利人なりとす。パタゴニヤ (Patagonia) の大半、又此國に屬す。

(物産貿易及び交通) 牧畜は、此國唯一の産業にして、其羊毛産出の如きは、唯濠州に劣れるのみ。此共和國には、牛二千萬羊九千萬馬六百万頭ありと云ふ。輸物物の主要なるものを、羊毛獸皮乾肉及び獸脂と爲す。又小麦の培養は、歐州の移住民此國の三州に於て之に従事せり。此國の最大取引國を佛國と爲し、白耳義之に次ぎ、英國又之に次ぐ。交通に關しては水運の便に加へて、鐵道殆んど六千哩に及び、電信線殆んど三万哩に達せり。

(都府) 此共和國は年を追て富及び人口を増加するの勢あり、方今人口廿萬以上を有する都府五あり、其中五萬以上のもの三あり、ブエノスアイレス、コルドバ (Cordoba) 及びロサリオ (Rosario) 是なり。

ブエノスアイレス(五十萬)はラプラタ河に臨み、此國の首府なり。此府の人口は、廿年前に比し、二倍余に上れり、これ主として伊太利人の移住ありしが爲なり。其港泥土

堆積し、船舶近くを能はず、皆十二哩を隔て、碇泊するものとす。

(パタゴニヤ) 此大地方は、概ね荒涼たる砂漠なり。パタゴニヤの印甸人は、身長甚だ高くして、常に馴鹿、リア三趾を有する駝鳥及び「バタゴニヤ」兎を獵するを以て業となす。

智利 (CHILI)

(智利) 智利はアタカマ砂漠より、マゲラン海峡に擴がり、緯度廿八度以上に跨る。長さ二千二百哩、幅僅に百哩なり。其國耕作の下に在るものは、アンデスの二重山脈の間に横はれる高地なりとす。又此國は南氷洋よりの寒流を受くるに由り、他の南米諸國に比して氣候寒冷なり、隨て人民最も勤勉なりとす。其面積は二十九万七千方哩、人口は二百七十万あり。

(物産貿易及び交通) 農業鑛業は、主要の産業にして、小麦大麥砂糖及び木綿

を産す。硝石は重なる輸出品にして、銅之に次ぐ。小麦の輸出亦多し。抑も智利は南米諸國中最も起業心に富める國にして、又最も殷富なるものなり。而して又最も早く鐵道を布設したる國の一にして、方今鐵道の延長殆んど千七百哩、電信の長さ殆んど一萬四千哩あり。

此國輸入の五分四は英國より來り、輸出の五分四は英國へ向ふ。

(都府) 智利の都府は、皆繁榮殷富にして、愈發達の勢あり。方今一萬以上の人口を有する都府十あり、中二萬以上を有するもの四、更に此中十萬以上を有するもの二あり。サンチアゴ (Santiago) 及びバルパライソ (Valparaiso) 是なり。

サンチアゴは二十二万八、國の首府にして、豐饒なる高地に立ち、市街美麗なり。

ボリビヤ (BOLIVIA)

(ボリビヤ) ボリビヤはアンデス山間の高地及び其東方斜面より成る大國に

して、其東方斜面はアマゾンの大深河なるマデラー河之を貫流す。面積凡そ七十七万二千方哩、人口二百五十万なり、人民の一半は、印甸人にして、混合種は四分一、白人種は其殘余の四分一を占む。其東方アンデス山脈、西方アンデスは秘魯に在り、世界最大なるもの、一にして、其最高峯は二萬呎に達せり、チ、カ、の高原は又此國に在り。

(物産商業及び交通)

農業礦業は此國主要の産業にして、米、大麥、玉蜀黍等各種の穀類を産し、又木綿、シヨナ、珈琲及び藍等を産す。銀は主要の採掘金屬にして、全輸出の三分二を占む。銅、硝石亦輸出せらる。ポリビヤ國は、内地に在るを以て、其輸出港はプエノスアイレスを用ふ、此國鐵道なし。

(都府) 都府皆小にして、一万以上の人口を有するもの僅に四、二万以上のもの僅に一なりとす。最も大なるものをラーバズ(Lima)と曰ふ、人口五万六千を有す、首府をスークル(Shore)一万三千と曰ひ、最も有名なる府をポトシ(一万二千)と曰ふ。

秘魯(PERU)

(秘魯) 秘魯はアンデス山脈と其東斜面及びアマゾン上流域の大部とより成れる國にして、面積四十八萬方哩、人口三百萬、其一半は印甸人なりとす。此國各種の高度を有するを以て、隨て各種の氣候即ち、北極の寒冷より、熱帯の暑熱を有す。然れども分明に三地方に分つとを得べし、即ち(一)無雨荒漠なる太平洋海岸の狭き地方、(二)アンデスの高地、(三)アマゾンの上流域及びウカヤール(Ucayale)アマゾン深河の全流域を包含する高地、是なり。

(物産貿易及び交通)

アンデス斜面の深林には、シヨナを培養し、豊饒なる地方には甘蔗を植う。然れども秘魯に於て、最も價値ある物産を銀硝石及び鳥糞となす。又毎年多量の羊毛收穫あり、輸出品の主要なるものを、鳥糞硝石砂糖及び羊毛とす。交通に於ては、國に鐵道千七百萬哩以上あり、其一線は高くアンデス山頂に近き處に達せり。

(都府) 此國には、人口二萬以上を有する都府四なり、リマ(Lima)、カラノ(Callao)、アレ

キン (Arequipa) 及びクズコ (Cuzco) を爲す。

リマ十一万は、太平洋岸に在り、海を去ること殆んど八哩、國の首府にして、又南米第一の大貿易場なり、其大商人は皆獨逸人なりとす。

エクワドル (ECUADOR)

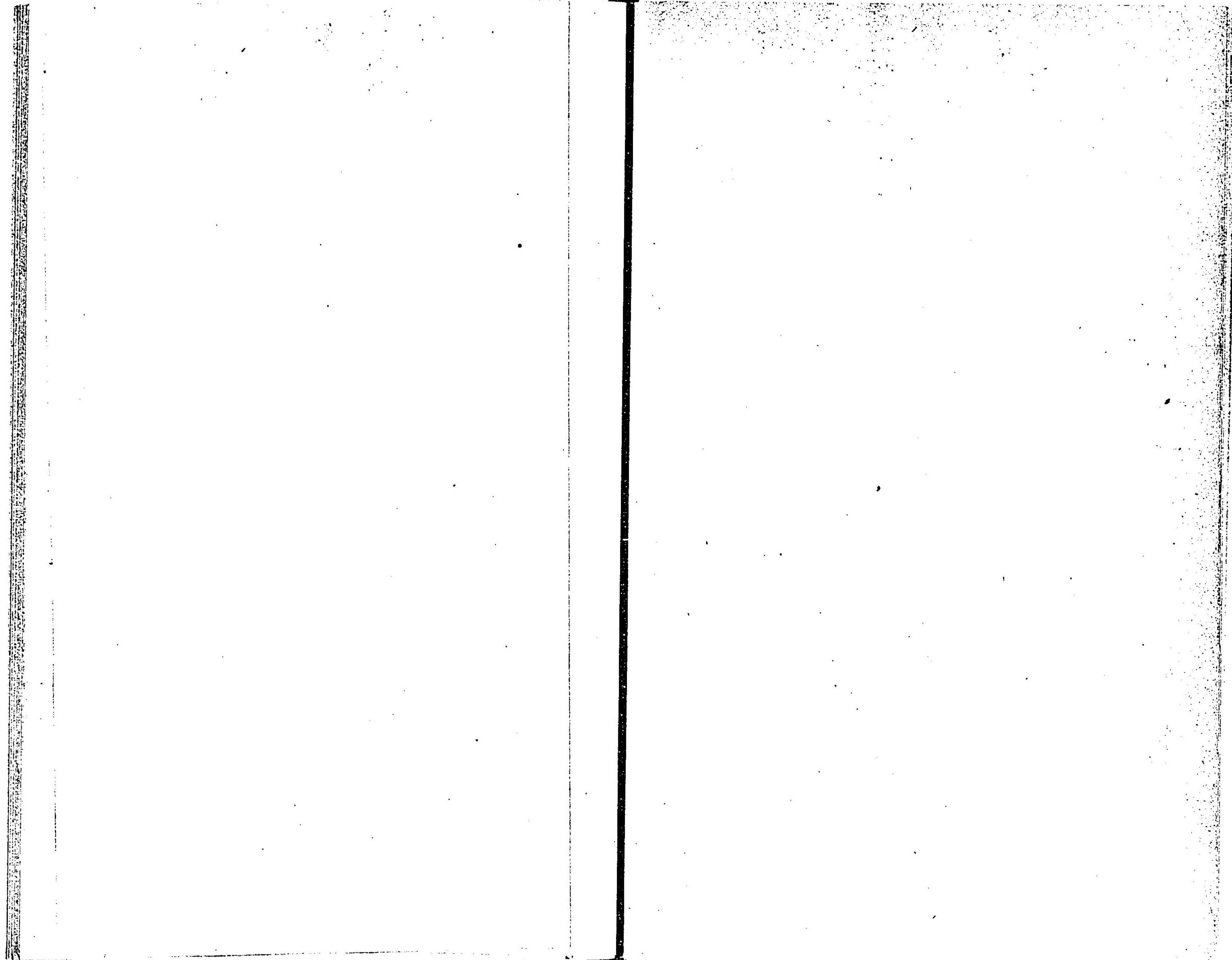
(エクワドル) エクワドルは、太平洋に臨み、赤道直下に在り、面積凡そ十二万方哩、人口百萬余あり。人民概ねアンデス山脈間の高地に住居せり、此國は又アマゾン源頭の東方斜面をも含有す、チンボラゾコトバキンアンチサナ等は、此國の最高峯なりとす。

(物産貿易及び交通) 主要の産業を農業と爲し、カ、オ樹膠珈琲及びシンコナを其産物とす、カ、オの輸出頗る大なり、鐵道の延長殆ど百哩なり。

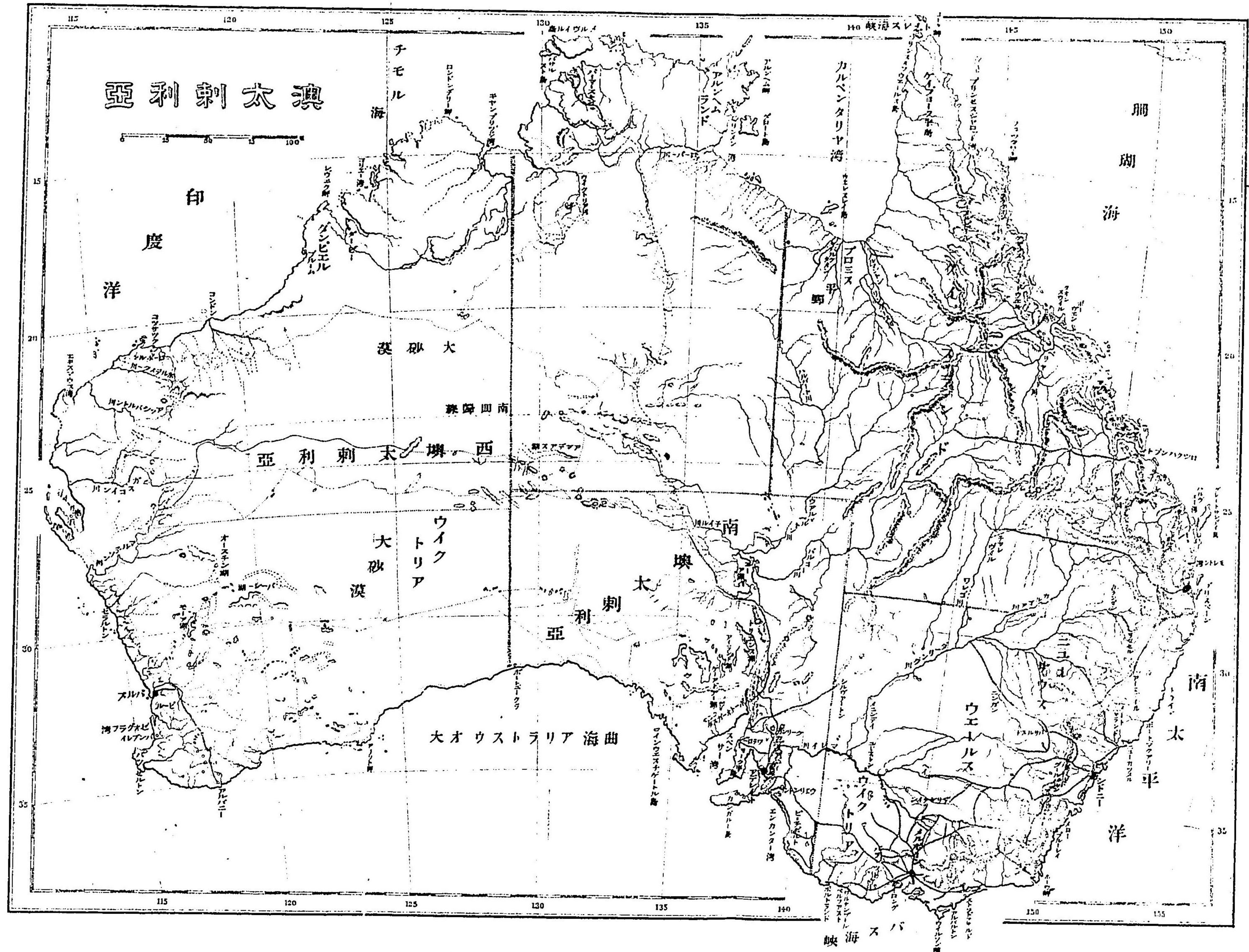
(都府) 此國に於て、主要なる都府を、キートー (Quito) 及びガヤキール (Guayaquil) の

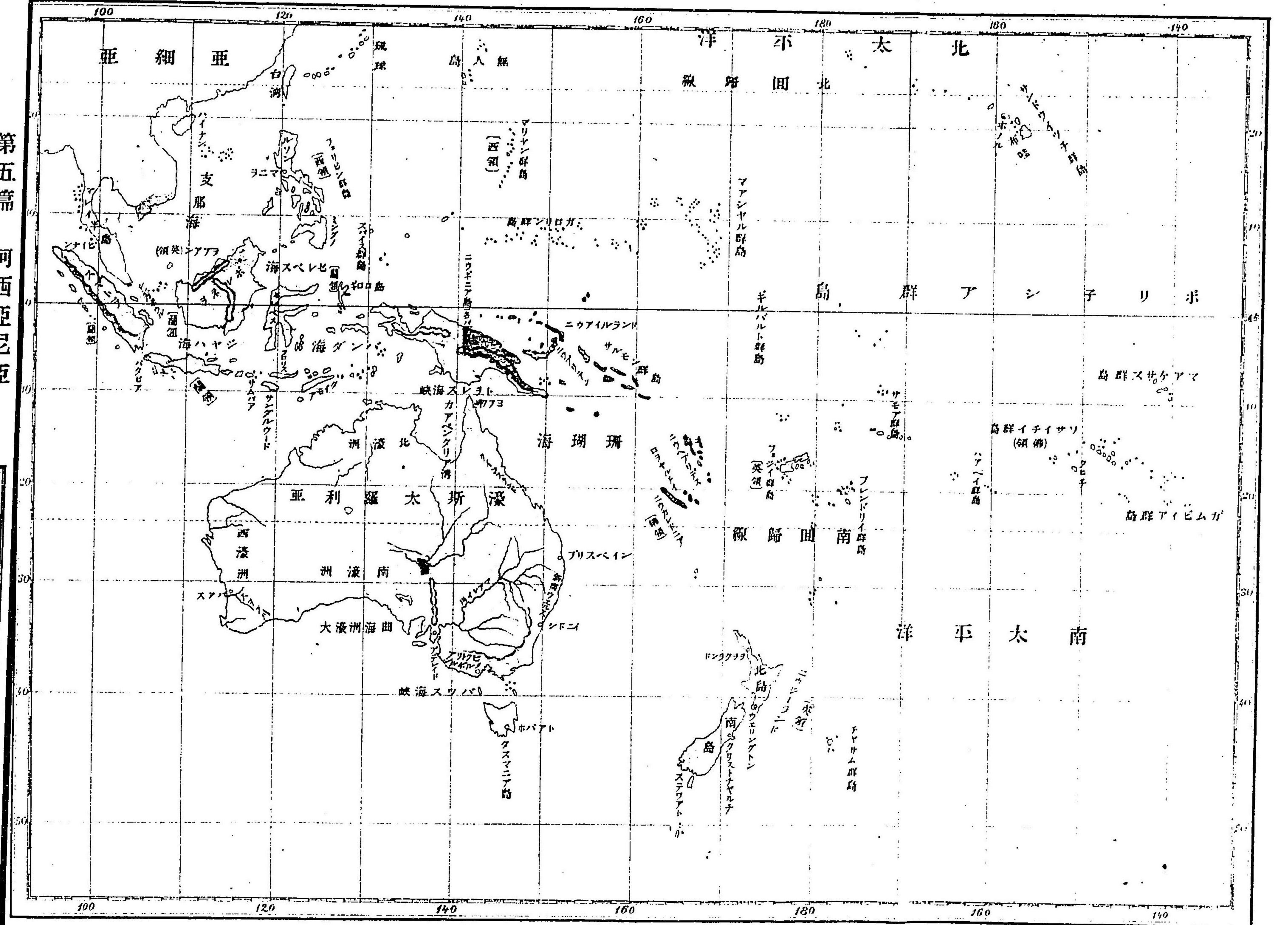
二とす。

キートー(八万許)は國の首府にして、海面を抜くこと九千五百呎の高地に在り。ガヤキール(四万五千)は、國の要港にして、其輸出の主要なるものをカ、オとなす。



太平洋の東部に在る諸島のみを



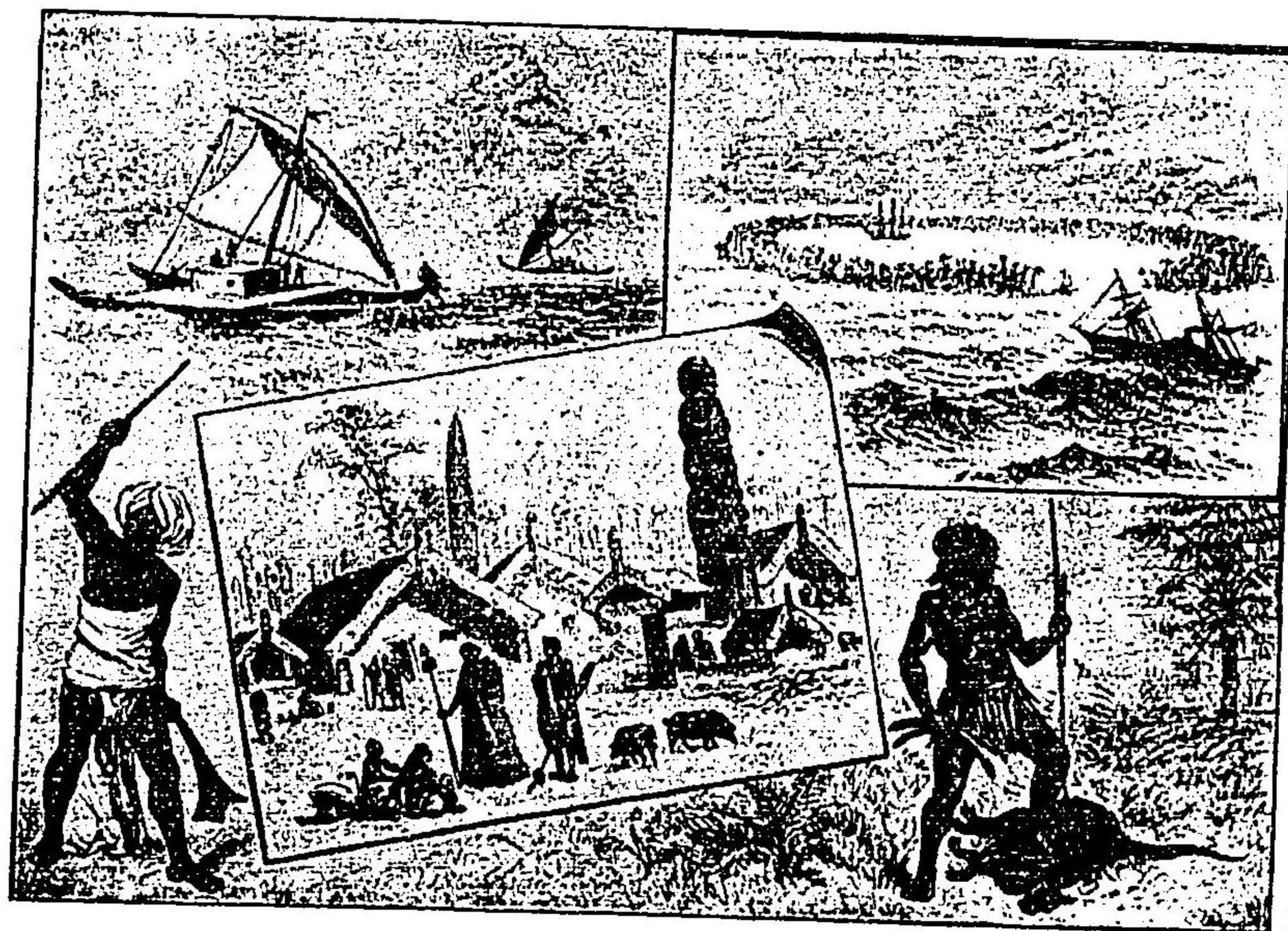


第五篇 阿西亞尼亞

總論

阿西亞尼亞とは、太平洋に於る無数の群島、濠洲、太刺利亞を含むを總稱するものにして、之を大別して三部と爲す。

- 一、オーストラレシヤ (Australasia) 濠洲
- 二、太刺利亞、ニュージールランド (New Zealand) 及び近傍の諸島を云ふ。
- 三、マレーシヤ (Malaysia) 一に又東印度群島をも云ふ。
- 四、ポリネシヤ (Polynesia) この中にはメラネシヤ (Melanesia) マイクロネシヤ (Micronesia) を含むを往々太平洋の東部に在る諸島のみを



環礁島濠洲人士の生活土人等の圖

濠斯太刺利亞

(緒説) 濠斯太刺利亞は南半球に在りて歐洲の對蹠點なり、歐洲人の始めて此地に殖民するや、食すべき穀物なく、乳汁を興ふる獸類なく、又運搬の用に供すべき獸類もなく、而して所謂文明の形跡は毛頭だになかりき。

(濠州及び亞弗利加の比較) 双方の間著しき類似の點數者を左に掲ぐ。

- 一、兩陸共に其形状一大圓塊を成し、外形頗る簡單にして、著き出入なし。
- 二、兩陸共に、其東端に最高山脈ありて、東南に最高峯あり。
- 三、内地に廣大なる砂漠を有し、其中に處々泉地あり。
- 四、其最も長き河の水、海に至るに隨ひ減少す、即ちナイル河及びムルレイ河
- 五、其東海岸の近傍、南に流るゝ急潮を有す。

(位置及び境界) 濠州は亞細亞の東南に在り、南緯十度より卅九度に至る、其境界左の如し。

- 一、北 トーレス(Torres)海峡及びアラファラ(Arafura)海
- 二、東 太平洋
- 三、南 南氷洋
- 四、西 印度洋

一英國より濠洲まで直航九千九百九十哩なり。

二航海の船、蘇士運河を経て行き、ホルン岬を過ぎて返る。

(廣袤及び形状) 濠州の面積凡そ三百万方哩(タスマニヤを含む)歐州より小なること殆ど其四分一なりとす。形状頗る簡單にして、不規則なる平行方形を爲せり。
(海岸線) 濠州の海岸線凸凹甚しからず、唯北方ヨーク(York)の一大半島長く海中に突出し、及びカーペンタリヤ(Carpentaria)の大灣深く陸地に侵入し、南方スペインサー(Spencer)灣の「フィオルド」の如きものあるのみ、南方の大濠斯太刺利亞灣の如きは、陸の少しく圓曲したるに過ぎずして、勿論舟泊に適せざるなり。

(組織) 濠州内地の四分三は高野にして、此高野は北方より次第に南方に高く、西方より次第に東方に高しとす。この平野の面積は百五十万方哩あり、高野の中央には、アマデユース(Amudenz)湖湛へ、高野の周囲には、山嶽峙てり、山嶽と海との間は、總て低原なりとす。ムルレイ(Murray)及び其深河の流域は、國の四分一を占む、要するに此大陸は、全海岸を廻れる狭き平原、一大流域、一大高野、概ね砂漠なり、より成るものとす。

(山嶽) 南方ウァルソン(Wilson)海角より、北方ヨーク半島に走れる山脈を以て最も重要なものとす。其山脈メルボーン(Melbourne)の西方に始まり、北方に向ひ、次第に低く、遂にヨーク半島に終る、海岸の平原とムルレイ流域とを分つ所のものなり、脈中ワラゴン(Warangong)山即ち濠斯太刺利亞アルプス(Australian Alps)は頗る高く、コシコスコ山嶽(Kosciusko Group)其中に在り、その最高峯をマウントタウンゼント(Mount Townsend)と曰ふ、高ち七千三百五十呎に達す。

(原野) 低原は主としてムルレイ流域より成り、面積殆んど五十万方哩を占め、其地甚だ肥沃なり。高原は平均凡そ五百呎の高さを有し、概ね砂漠にして、唯泉地の間々耕作すべきものあるのみ。

(河流) 濠州の大河はムルレイとす、河口より其最長深河なるダーリング(Darling)の水源に至るまで、長さ二千三百四十五哩あり、ムルレイは濠洲商業の大路なり、其他東海岸には、フィッロイ及びバーデキヤンあり、北海岸には、フリンダースあり、西海岸には、アシニバートン及びスワンあり。

(湖沼) スペインサー灣の北方は、湖沼地方(凡そ一万)にして、湖沼甚だ多く、其大なるも

のをアイル(Eyre)湖と曰ふ、其南方にトールレンス(Torrens)湖あり、西方にゲールドナー(Gairdner)湖あり、遙か西北にアマデューズ湖ありアレキサンドリナ (Alexandrina)湖は、大なる淡水湖にして、ムルレイ河之に注ぐ。

(氣候) 乾燥酷熱は濠洲氣候の特性にして、全大陸至る處然らざるはなし、降雨の節は、熱帯に在りては十一月より四月までにして、熱帯以外に在りては五月より十月までなりとす、温度の激變は亦濠洲氣候の常にして、時として數時間の中に、寒暖計五十度乃至六十度を下ることあり、而して内地より熱風(普通塵埃を交ふ)吹くときは百十五度に上ると云ふ。

(植物) 濠州は植物の種類頗る多く、殆ど一万に及ぶ、特有なる樹木を有利加樹及び荊球花と爲す、穀物菓實等は、濠州に産せざりしも、今此地に移植せられて、葡萄、無花果、橙、桃、其他小麦玉蜀黍の如き穀類大に繁茂し、歐州に凌駕するの勢あり。

(動物) 濠洲の動物は、大に他洲と異なり、他洲に於るが如き胎生獸は全く無し、ジヤバスマトラの虎象犀の如きも、亦全く此地に見ず、此地特有のものを有袋獸と爲し、有袋獸の最大なるものを長尾驢と爲す、肉食動物中最も猛惡なるものは、デング

(野犬)なり、最も奇なるものは鴨嘴(duck-bill)なり、濠州産の動物は、其植物と同じく、一も人類の用に供すべきものなきも、牛馬羊の如き、現今輸入養殖せられて、大に其數を増加せり、鳥類に至りては、其羽毛の美なる、其形の偉麗なる、他の諸國之に比するものなく、其種類も亦甚だ多し、濠洲特有の鳥を、駝鳥の一種なる食火鶏とす、此大陸は又蟲類に富み、其形頗る奇にして美麗なり、蛇類は皆有毒なり。

(礦物) 濠洲に於て礦物甚だ多く、金銅鉄錫石炭の如き、各殖民地に於て多量を出す、銀は又新南威勒士(New South Wales)に出づ。

一、金の産出地はビクトリア(Victoria)を以て最も多し、クイーンズランド(Queensland)に次ぐ、ビクトリアに於ては、其産出高、前四十年間に於て、凡そ二億磅なりと云ふ、濠洲全体の産出を算すれば、三億磅に下らざるべし。

二、銅は重に南濠新太刺利亞に出づ。

三、クイーンズランドには、錫最も多し。

四、鐵は、各殖民地概れ多量を出す。

五、炭田の大なるものは、新南威勒士及びクイーンズランドに在り。

六、紅水晶、紅寶石、玉の如き、亦此國に出ず。

(人民) 土人又頗る他洲と異なり、其人種は濠斯太刺利亞黑人なり、今其數非常に減少して三万餘に過ぎず、殖民者は現今三百万に達し、概ね英人の子孫にして、英語を用ふ。

(道路鐵道) 各大都府は、鐵道を以て互に相連絡せり、鐵道の便はかく大に開けたりと雖も、普通の道路は修築未だ至らず、遠方に旅行するは容易にして、近傍に旅行するは困難なる有様なり。

(區劃) 濠洲には數多の殖民地ありて、各省政府及び議會を有し、又本國女王の任命したる總督あり、此等の殖民地をビクトリア、新南威勒士、クインズランド、南濠斯太刺利亞、及び西濠斯太刺利亞(此國のみその議會を有せず)と曰ふ、ビクトリヤは、其最小なるものにして、人口は最も多きものなり、反之西濠斯太刺利亞は、最大なるものなれども、人口最も稀薄なりとす。

(ビクトリヤ) 此國は濠洲に於て最も小なるものなれども、最も富み、最も製造盛にして、又最も人口多き地方なりとす、北方ムルレイ河を以て限となし、西方南濠

斯大刺利亞に接し、他の二方海に面す、其南方にビレニース、グランディアン等の山脈あり、東方に濠斯太刺利亞アルプスあり、人口は百万餘、舟航すべき河流甚だ少し。

(産業) 牧羊農業及び鑛業は、此國主要の産業にして、大なる輸出物を羊毛となし、金、麵粉之に次ぐ、輸入の最も大なるものを木綿材、木鐵及び石炭と爲す、鐵道の延長殆んど二千哩にして、電線四千餘哩に及べり。

(都府) ビクトリヤには、人口二万以上の都府四あり、メルボルン、バララット(Barat)、サンダーラスト(Sandhurst)及びギエロング(Geelong)と爲す、メルボルンは人口四十五万を有し、ヤーラ(Yarra)河に臨み、國の首府にして、又最も大なる商工府とす。

(新南威勒士) 此殖民地は、濠洲に於て最も古きものなり、長さ殆んど九百哩、幅六百哩、山岳高地及び平原より成る、國を貫走する山脈の主要なるものを、藍山リバー、ブール(Liverpool)山脈及び新英閣山脈と爲す、其面積ビクトリヤに四倍すれども、人口は之より少し、其境界北、クインズランドに接し、東、太平洋に面し、南、ビクトリヤに接し、西は、南濠斯太刺利亞と隣る。

(産業) 主要の産業を牧羊業及び農業と爲し、鑛業亦行はる、輸出品の重なるもの

を羊毛穀類となし、石炭錫は遙に下て之に次ぐ、輸入の大なるものを毛布及び木綿織物と爲す、鐵道の延長二千哩、電線二万二千哩に達す。

(都府) 都府の大なるもの唯一あり、首府シドニー(Sydney)と爲す、人口四十万を有す、其他人口一万以上のもの四あり、メイトランド(Maitland) ニューカッスル(New Castle) パラマッタ(Paranatta)及びバサースト(Bathurst)是なり。

(クインスランド) クインスランドは濠洲の最北に在り、其地大半熱帯に在りて、氣候最も酷熱なり、長さ千三百哩、幅八百哩、面積佛國の三倍餘なり、海岸に沿うて、山脈連走し、高地最も多し、全國一半は森林を以て蔽はる、斜面四あり、河流東西南北の四方に流る、フィッロイ(Fitzroy)及びバーネキン(Burdekin)河は其大なるものなり、人口五十万あり

(産業) 主要の産業を牧羊業農業及鑛業と爲す、玉蜀黍の産出最も多く、砂糖の培養逐時盛大に向へり、輸出の重なるものを羊毛金及び砂糖とし、輸入の重なるものを鐵及び木綿と爲す、鐵道の延長殆二千哩、電線九千哩に達す。

(都府) 首府ブリスベーン(Brisbane)は人口八万あり、其他人口一万以上のもの二、

ロックハンプトン(Rockhampton)及びメーリーボロー(Maryborough)是なり。

(南濠斯太刺利亞) 濠洲第二の大殖民地なれども、殖民せられたる處は、僅に其小部分に過ぎず、長さ二千哩、幅八百哩、面積凡そ百万方哩、人口三十五万、皆南部に住居す、フリンダース(Flinders)は主要の山脈にして、フィンククリーク(Finke Creek)は主要の河流なり。

(産業) 此國ハ濠洲第一の小麥生産國なり、農業に次で盛なる産業を鑛業牧羊業及び葡萄酒製造と爲す、羊毛小麦銅は輸出品の重なるものにして、鐵木綿毛布器械等は輸入品の重なるものなり、鐵道の延長千八百哩、電線六千哩あり。

(都府) 都府の肝要なるもの唯一あり、アデレード(Adelaide)と曰ふ、首府にして、人口七万を有す。

(西濠斯太刺利亞) 此殖民地は全大陸の三分一を占むる大地方なれども、概ね砂漠にして、海岸に於る三小部の殖民せらるゝものあるのみ、人口總計僅に五万に過ぎず、羊毛及び鉛は、主要の輸出品なり、首府をパース(Perth)と曰ふ、スワン(Swan)河に臨む、鐵道の延長五百哩、電線三千哩あり。

(タスマニヤ) タスマニヤは殆んど蘇格蘭(其附屬島嶼を除く)の大きさを有し、海岸線頗る長く、凸凹甚しく、良港多し、島の中央に高地あり、之を圍みて山脈峰嶺高く聳え、四斜面之より出づ。デルウェント(Darwent)及びタマール(Tamar)の二大河南及び北に走る、其他小流多く、河邊の風色は極めて明媚なり、中央高地には湖水甚だ多し、全島の氣候、濠洲に比して、涼冷清適なるを以て、此島は一の保養地となれり、首府をホバート(Hobart)と曰ひ、要港をローンセストン(Launceston)と曰ふ、ホバートは、人口三万あり、輸出の主要なるものを羊毛、錫、菓實材木及び金と爲す、全島の人口十四万に過ぎず。

(ニュージーランド) 濠斯太刺利亞を離る、こと殆んど千二百哩、南緯卅七度より四十七度間に擴り、全く温帶圖中に在る一群の島嶼を稱してニュージーランドと曰ふ、此群島は、北島南島の二大島とステアート(Stewart)の一小島より或る、二大島合して、英蘭(威勒士を除く)の二倍より少しく大あり、其表面山岳頗る多く、一大山脈長く、兩島を貫いて南北に走る、河湖多く、全島善く濕へり、海岸線長く、良港亦少からず、兩大島を分つものをクック(Cook)海峡と爲す。

(地勢) 兩島共に山多くして崎嶇たり、唯西方に狭き平原、東方に少しく廣き平野あり、南島は北島より山嶽多く、高山脈西岸に沿うて走る、之を南方アルプスと稱す、クック山は其最高峯にして、高さ一万二千三百五十呎あり、北島に於て最高の山脈は、東海岸に近き所にあり、皆火山なり、其最も高き峯をエグモン(Edgmont)山と爲す、高さ八千二百七十呎あり、トローポ(Taupo)湖はニュージーランド第一の大湖にして、北島にあり、ウーカト(Waikato)河之より出づ、平野の最も廣きものは、南島の東側に在り、カンターベリー平原(Canterbury plain)と稱す。

(氣候植物等) ニュージーランドの氣候は温暖にして、均一なりとす、海軟風夏熱を和げ、冬時温暖を増す、西北風常に雨氣を帯びて大洋より吹き來るを以て、西海岸は東岸に比して降雨多しとす、此國に産する材木は、主に松柏類にして、其、ユーリ松は、最も有價なるものなりとす、穀類菓實は元來此地に産せざりしが、今は殖民者之を輸入せり、ニュージーランドの動物は、頗る奇なり、有袋獸は毫もなし、此地固有の鳥を、アンタリックスと稱し、羽翼短くして、地を走る。

(産業) 主要の産業を牧羊業、農業及び鑛業と爲す、最も大なる輸出は羊毛にして、

金穀物凍氷肉及び、コリー護謨之に次く、濠斯太刺利亞との貿易頗る盛なり。

- 一、兩島合して、鐵道の延長殆んど二千哩電線殆んど五千哩あり。
- 二、千八百五十七年以來此島より出でたる金の總額四千五百万磅以上に達せりと云ふ、銅の礦山亦多し。

(都府) ニージーランドには、人口二万以上の都府四あり、即ち北島にてはオークランド (Auckland) ウェリントン (Wellington) 南島にてはデニヂン (Dunedin) 及びクリストチャーチ (Christchurch) 是なり。オークランドは、最も大なるものにして、ホーラキ (Hauraki) 海邊に立つ。人口六万あり、首府をウェリントン(三万)となす。

ニージーランドの人口、殆んど六十万あり、其中四万許は「マオリ」種屬なりとす。此人種は土族に非ず、ポリネシアに於る或る島嶼より渡來したるものなり。

マレイシヤ

(緒説) マレイシヤ即ち東印度諸島は、亞細亞の東南に位し、赤道に跨り、經緯度殆ど三十度に擴がる。

- 一、イカッサン海峽 (Macassar) よりマロロンボック二小島の間、一線を劃し、此線より以西の諸島は動植物共に亞細亞的なり、以東の諸島は動植物共に濠洲的なり。
- 二、此群島は火山に富み、又世界第一の沃地なりとす。

(區劃) 此大群島は、分ちて三と爲す、大サランダ諸島、小サランダ諸島、モラツカ諸島 (Moluccas) 及びフィリピン諸島是なり。

- 一、スマトラ、動物の大なるものを産するを以て名あり(即ち象の如き犀の如き、猿の如き、猛々の如き是なり)。此島は、又胡椒及び、ラッフレシア「世界第一の大花を以て有名な」。
- 二、ジャバ (Java) は最良の藍、及烟草樹を産し、又珈琲砂糖米茶等を産すること夥し。
- 三、ボルネオ (Borneo) は金、金剛石其他の寶石を産するを以て名あり。
- 四、スマタ (Banda) は世界に於て、最も多く錫を産する所あり。
- 五、アンボイナ (Amboyna) は香料、セラム (Ceram) は四穀米、フィリピン諸島は烟草の本國と稱す。

六、マラッカ海峡は、マレー半島とスマトラ島の間に在るものにして、サンダ海峡はスマトラ島のロイヤルマシを分ち、マカッサル海峡はボルネオとセレベス(Celebes)を分ち。

(氣候及び植物) 大洋の風、幾分か熱帯の酷熱を和ぐるを以て、濕潤なる地方を除くの外概ね其氣候は健康を害せず、而して其風は大抵雨氣を帯び、且此群島は赤道降雨帯に在るを以て、植物は夥多なりとす。高地は深林之を蔽ひ、低地は頗る豊饒なり、胡桃、甘蔗及び西穀米樹等を著名なる樹木とし、香料、砂糖、珈琲及米を主要の農産物となす。

(人民) 此群島に於て最も多く、又最も重要なものを馬來人種と爲す。群島の人口殆ど四百万あり。

馬來人は伶俐ある水夫にして、頗る活潑なる貿易者なれども、群島に於る貿易は大概英人、蘭人、支那人及び米人の手に在り。

(商業) 此群島と亞細亞、歐羅巴、亞米利加との間には、頗る活潑盛大なる貿易行はる。而して歐人の中、主として此貿易に従事するものを英人及蘭人と爲す。亞米利加人は數多の貿易場を有し、支那人は殆ど亞細亞との貿易を掌握せり。

一、歐洲及亞米利加に輸出するものは、主に香料、烟草、珈琲、糖、米、砂糖、薑、甲西穀米及マニラ麻あり。

二、支那に輸出するものは、主として食用に供する鳥菜及海産あり。

(政治上の區劃) 和蘭及西班牙は、此群島に於て、大なる地方を領するものにして、英國は主としてボルネオに其基礎を有す。然れども尙土人の手に屬する土地は多しとす。

英國は新嘉坡、ラフアン(Lahuan)を有し、又ボルネオの二大部分は、其保護の下に在り。

(蘭領) マレー群島に於て、蘭領の主要なるものは、ジャバ、モラッカ諸島、スマトラ、ボルネオ及セレベスなり。

一、ジャバは狭長なる島嶼にして、人口二千五百万あり。一の長き山脈國の中央を貫走す。此山脈に四十六の高峻ある火山あり、其中高さ一万呎以上のもの八あり。地味は頗る豊饒とす。首府をバタビヤ(Batavia)人口十五万と曰ふ。但しスマラバヤ(Surabaya)を以て最大都府とす。輸出品の主要なるものは、砂糖、珈琲、茶、米、藍、シニコナ(煙草)及錫にして、其五分

四は和蘭に至る。鐵道、馬車線路、及び電信線、現時島内に設けらる。

二、モラッカ諸島はセレベスとニユーギニアの間に横はれる群島にして、ギロロ(Gilolo)

島其最も大なるものなり、此諸島には植物の種類多く、殊に丁子の本園として知らる。群島中最も重要なるものをアンボイナ(Ambon)と爲す、商業盛なるアンボイナ(二万)府は則ち此島に在り。

三、スマトラは長き大島にして、一大山脈島を貫走し、五火山及其他数多の火山を有す。其最も高きものをタランガ(Talang)とす、高さ一万二百五十呎なり。スマトラは甚だ破物に富み、石炭硫黄鐵及金等次第に發見せらる。此島の一半以上は和蘭に屬す、全島の人口百万、最大都府をパタンパ(Padang)と曰ふ。

四、ボルネオは世界第二の大島なり、山岳丘陵頗る多く、平原及び濕潤なる低海岸亦た廣し。最高の山をキニマロー(Kini-Balou)と曰ふ、高さ一万三千呎あり、火山一もなし。此島は石炭、アンチモニー、水銀、黄金及金剛石に富む。和蘭は島の大半を領し、唯サラワンク(Sarawak)及北ボルネオ商會の地方は英國保護の下に立てり。頗る良好の石炭夥多を有するラブアン島は、英領なりとす。ボルネオの貿易品は、主として西穀米、糖、胡椒、海參及龜甲なり、最大都府をブルニ(Bruni)とす。

五、セレンベスは其形状奇なる島嶼にして、殆どK字を爲せり。其中島は昔山脈を以て貫き、火山多し、多量の金を産出す。此島の北中部は、和蘭に屬し、南中部は九個の回教土人國とす、マカッサラ府は貿易の中心なり。

(西班牙領) 西班牙はフィリッピン群島を領す、其群島の最大なるものをルソン(Luzon)と曰ふ、之に次で大なるものをミンダナオ(Mindanao)と曰ふ、ルソンの首府はマニラ(Manila)なり、人口廿八万あり、商業頗る繁盛なる海港にして、砂糖、米、麻布及烟草を輸出す。

- 一、この群島の人民は、馬來及「ネグリト」の二人種より成る。
- 二、支那人は、此島に於て主要なる商人にして、又主要の商店主なり。
- 三、群島の北部は、屢々暴風起る、千八百五十六年には、非常の暴風ありて、マニラに於て一万余の家屋を破壊せり云ふ。

ポリネシア

(緒説) 太平洋に散布せる島嶼を總稱して、普通ポリネシアと曰ふ、然れども太平洋島嶼は、之をメラネシア、マイクロネシア及びポリネシアの三に分つを以て至當

となす。

一、ポリネシアの諸島は、火山のものに非ざれば、珊瑚島にして、又兩者相合して成れるものあり。珊瑚島最も多く、皆環礁より成り、大抵海上に隆起すること數呎に過ぎず、中に海水を包む。火山の島嶼は、往々珊瑚礁を周圍に有す。

二、サンディウィッチ諸島(Sandwich)フレンドリー(Friendly)及びソサイティー(Society)諸島は皆火山島にして、カロリン諸島(Carolines)マーシャル(Marshall)諸島及び低群島(Low Archipelago)は皆珊瑚島ありとす。

(主要の二群島) 太平洋中最も重要なる二群島を、北方に於てサンドウィッチ諸島北緯廿度南方に於てフィジー(三)諸島南緯廿度と爲す。兩者相離るゝと殆んど四百哩にして、共に亞細亞、米利加及び濠洲間を往來する英米汽船の寄泊處にして、將來太平洋貿易の中心となるべき處なり。

一、サンディウィッチ諸島は北回轉線の南に接せり、七島より成り、皆火山の島あり。其最も大なるものを布哇(Hawaii)を曰ひ、オアフ(Oahu)島之に次ぐ。布哇島に活火山四あり、其三はポリネシアに於て最も高きものにして、モウナキー(一万三千八百四十呎)及びモウナロア(一万三千六百五十呎)は、又其最も高きものあり。各島地味頗る豊饒にして、砂糖及米

を主要の收穫となす。首府をホノルル(Honolulu)を曰ふ。オアフ島に在り、頗る良港にして、港内水深く、大船巨舶を入るゝに足る。此群島に於て最も勢力あるものを、亞米利加と爲す。

二、フィジー諸島(英國に屬す)は南回轉線の北少許の處に在り。島數二百餘、中人民の住居するもの八十、其最も大なるものをビチヤン(Viti Levu)を曰ふ。ビチヤン(Yauna Levu)之に次ぐ、共に火山島にして、山岳頗る多し、樹木繁茂し、地味頗る豊饒あり。産物の主要なるものを砂糖及び甘蔗等と爲す。首府をメム(Suva)を曰ふ。ビチヤン島に在り。ニューヘーランド、豪斯太利亞、及び英國と此群島との間に、定期航海あり。

(メラネシア) モラッカ諸島及びフィジー諸島の間に横はれる群島を總稱してメラネシアと曰ふ。其住民は、パプア種に屬す。パプア(Papua)即ちニューギニヤ(New Guinea)は群島中最大のものにして、其他重要な諸島を擧ぐれば、ビスマーク(Bismark)諸島、ソロモン(Salomon)諸島、ニューヘブリッド(New Hebrides)、ニューカレドニア(New Caledonia)及びフィジー諸島なり。

一、ニューギニヤは世界の最大島にして、面積三十万方哩、赤道及びトリス海峡間に横はり、西にモラッカ(Molucca)諸島あり。此島山多く、中には一万八千呎に達するものあり。地

味頗る豊饒、深林亦多し。歐洲の三強國、此島を分割せり、和蘭は四半部を有し、獨逸は東北を領し、英國は東南を占む。

二、ビスマーク諸島は元々新銳利頓 (New Britain) と呼ばれたるものにして、就近獨逸之を占領し、此名を付せり。人民は食人種屬あり。

三、サロモン諸島は火山の群島にして、今獨逸に屬す、活火山一あり。

四、ニューヘブリッヅは東南に在り、又火山の群島にして、外方に少許の珊瑚島あり。

五、ニューカレドニヤハメラネシヤ諸島の最南に在り、山岳多く、金及び多量の白金を出す。此島は佛國に屬し、犯罪人の處所たり。

六、フィジー諸島は英國に屬す、前に説きたり。

(マイクロネシヤ) マイクロネシヤ群島は概ね珊瑚島なり、最東のものをギルバート (Gilbert) 及びマーシャル諸島を曰ひ、中央のものをカロリン (Caroline) 諸島となし、西北のものをマリアン (Mariane) 又はシーブス (Thieves) 諸島を曰ふ。

ギルバート諸島は十六島より成る、皆珊瑚環礁なり。其最も高きものは海面より廿呎に上る。収獲の主要なるものを椰子實と爲す、諸島皆人口稠密なること太平洋中第一にして、平均一方哩三百三十人に當る。

マーシャル群島も亦全く珊瑚質より成る、人口一万あり。

三、カロリン群島は海上殆ど二千哩に横がる一帯の群島にして、一島を除く外皆環礁なり。

四、マリアン群島は西班牙に屬す、活火山頗る多し。

(ポリネシヤ) ポリネシヤは南緯廿度及び北緯廿度の間に横はる。其最重要なる群島を舉ぐればトンガ即ちフレンドリー諸島サモア (Samoa) 群島サイチー諸島ポーモン (Pomoti) 群島マークエサス (Marquesas) 及びサントウ諸島なり、住民多くは褐色皮膚を有する「ポリネシヤ」人種に屬す。

一、フレンドリー諸島の最も大なるものをトンガタフ (Tongatabu)を曰ふ、濠洲、大別利亞及びニューギニア諸島に至る汽船は皆之に寄港す、群島活火山多し。

二、サモア群島は火山島にして、椰子實の輸出頗る大なり。

三、サイチー諸島は佛國に屬す、群島の中重なるものをタロナ (Tahiti)とす。全島流焼石より成る、檀及び椰子實は主要の産物にして、首府をパピート (Papeete)を曰ふ、輸出の重なるものを椰子實、真珠、木綿(英國に出す)、檀及び「トレバント」(支那に出す)と爲す。

四、ポーモン群島は又低群島と稱す、殆ど八十の島嶼より成り、皆珊瑚環礁ありとす、真珠を産するもの多し。

五、マーケエサスは、火山の群島にして珊瑚礁ふし。
六、サントウツチ諸島はポリネシア中、最北に位する群島なり、前に説きたり。

新撰萬國地理下巻終

明治二十六年四月十三日印刷
明治二十六年四月十四日出版

(新撰萬國地理奥附)

著述者

山口縣平民

山上萬次郎

東京神田區北神保町
十五番地寄留

著述者

嶋根縣士族

濱田俊三郎

東京神田區北神保町
十二番地寄留

發行者

東京府士族

小野英之助

北豊嶋郡南千住町元地方
橋場町千三百八十番地



發兌元

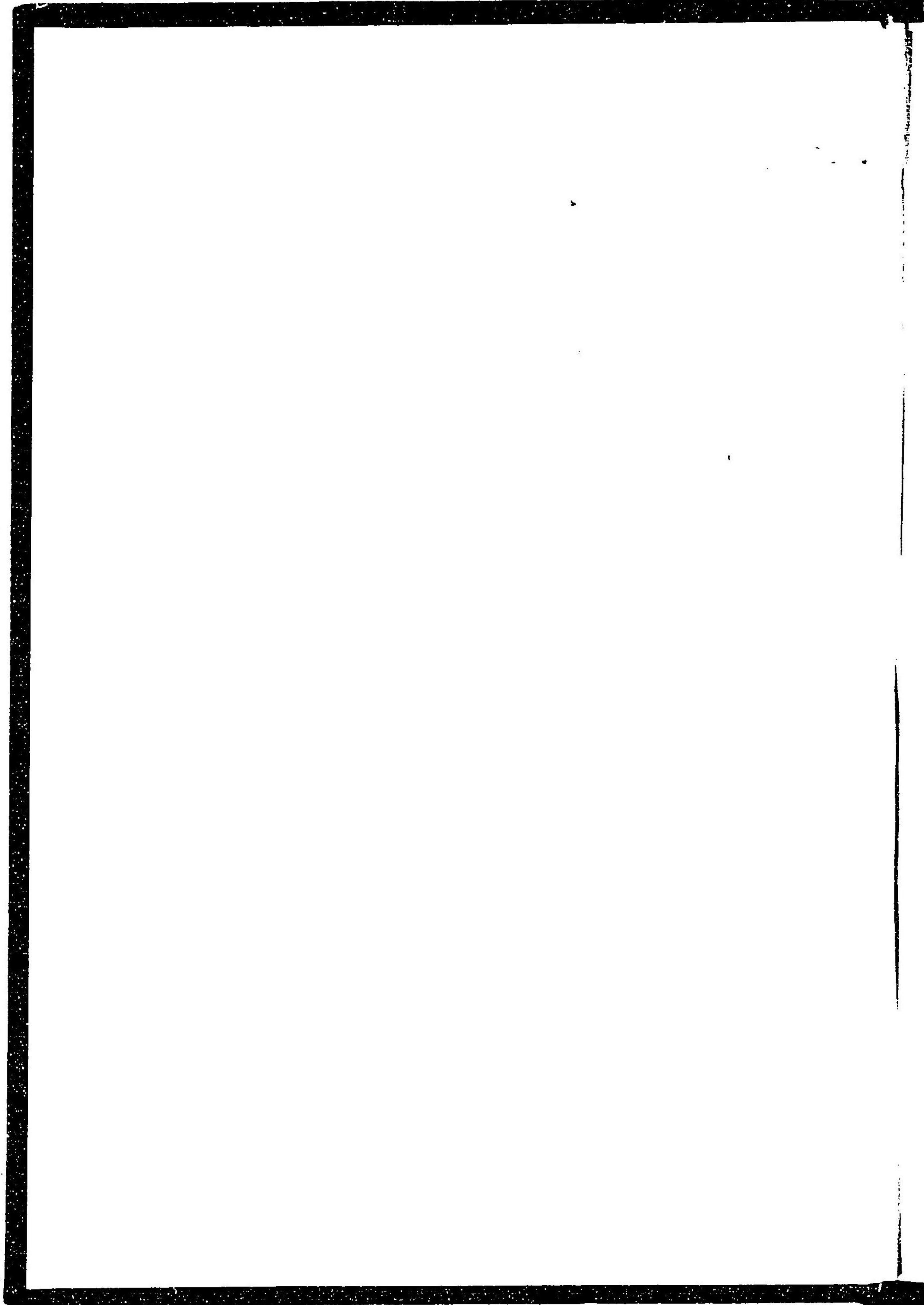
富山房書店

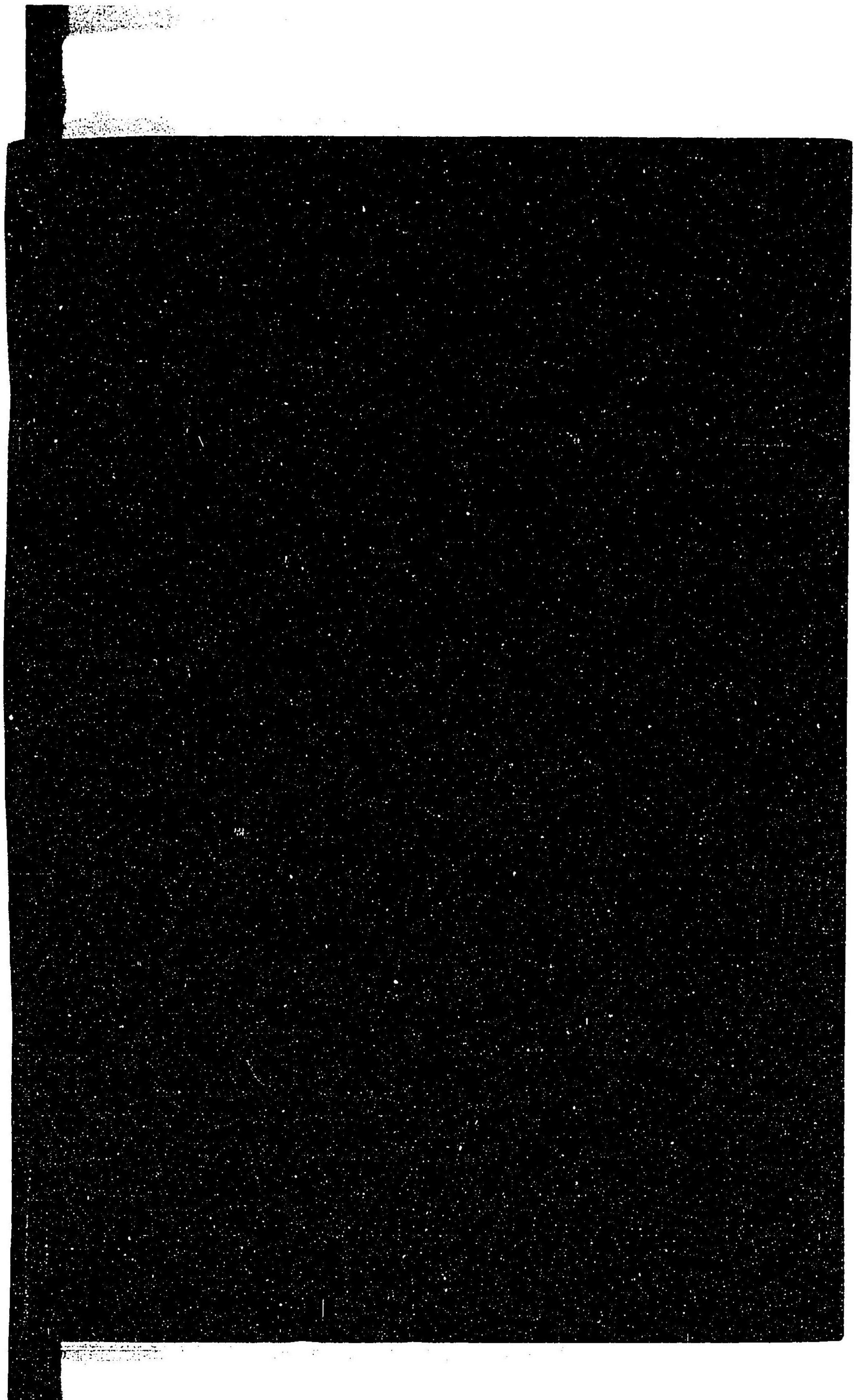
東京神田區裏神保町九番地
(電話番號 千〇六十二番)

印刷者

松本義保

東京々橋區弓町十三番地
(電話番號 千百四十八番)





43
237

022008-000-6

43-237

新撰万国地理

山上 万次郎

浜田 俊三郎 / 著

M26

ADA-0282



